

日南町国民健康保険 日南病院

# 年 報

(第2号)

平成17年度(2005)

発行 2006.11.10

## 巻 頭 言

年報第2号の発刊を全職員の皆様とともに慶びたいと思います。第1号の編集後記に「病院の業績を越える内容の年報は作れない」との至言がありましたが、その意味において第2号の内容は如何でしょうか。より充実した年報が発刊出来たことは皆様の努力の結果であり、心から敬意を表したと思います。

平成17年度も国をあげての行財政改革の嵐が吹き荒れた年でした。10月には介護保険制度の改正があり、5年ぶりの国勢調査は日本が人口減少社会に突入したことを示しました。平成の大合併はひとまず終了し、全国980の国保直診は930に統廃合されましたが、数はこれからも減少するでしょう。鳥取県の市町村数は10月の北栄町の誕生を最後に39市町村から19市町村に半減しました。もちろん単独自立を掲げる日南町にも大きな動きがありました。町営だった特別養護老人ホームと社会福祉協議会が運営していた2つのデイサービスセンターが、4月にスタートした社会福祉法人日南福祉会に委ねられ、同じく4月から日南病院には地方公営企業法が全部適用されることになりました。さらに日南町総合文化センターに11月から指定管理者制度が適用されるなど、「民に出来ることは民に」まかせ、町は「小さな役場」を追求した一年でしたが、その「小さな役場」が見舞われた最初の試練が年末の豪雪だった事は記憶に新しいところです。年度末には開設者でもある町長が3選を果たされ、18年度以降も多くの改革が進められることでしょう。

さて「小さな役場」に副うものとして、日南病院は地方公営企業法的全適という命題に、増改築と平行して全職員で取り組んで来ました。町も病院も自立が合い言葉になったのです。言うまでもなく全適の原則は企業体としての独立採算制にあります。社会保障費の抑制と交付税の削減が国の大方針である以上、過去の延長線上では自立も難しくなるに違いありません。44年間安全と安心のまちづくりに貢献して来た日南病院が今後も存続し続けるためには、「地方独立行政法人」化を検討する日が来るかも知れませんが、今は全適に職員の総力を結集する時であるという事にご理解とご協力を得られ本当に感謝しています。

お陰様で年度一杯かかって完成した増改築を含め、自立のための体制づくりが出来た一年でした。全適に伴う諸規定の整備、院是と基本方針の制定、活動の基本となる各種委員会の設立と活躍、役場から離れた独自の人事考課制度の導入、給与表改訂の検討、病院年報第1号の発刊、新しく常勤医師の確保と理学療法士の増員、看護職員の補充、多くの職員の積極的な院外活動、良好な収支決算など、皆様の労を多とする一年でした。

年報はこれらの全てを記録に残して開示し、私達は情報を共有して次年度の活動の糧にするためのものです。編纂に当たられた情報図書管理委員会の皆様にあらためて感謝し巻頭の言葉といたします。

平成18年初秋

日南町病院事業管理者

安 東 良 博

# 目 次

タイトルをクリックして頂くと該当頁にジャンプします。

	頁
巻頭言	2
. 概要	
院是・基本方針等	5
沿革	7
組織図	8
施設の状況	9
職員の状況	10
経営の状況	11
施設・設備等整備状況	12
委員名簿	13
主な出来事	14
増改築事業の概要	16
. 統計	
患者統計	20
疾病統計	29
手術室	53
薬剤科	54
検査科	55
放射線科	57
リハビリテーション科	58
栄養管理科	59
健診	60
内視鏡	61
医療事故	62
. 業績	
学会・研修会・誌上発表	64
院内研修会	66
看護部	67
リハビリテーション利用者意識調査	68
誌上発表等の内容	76
編集後記	102

# . 概 要

## 院是(当院のモットー)

「町は大きなホスピタル」

## 日南病院の基本テーマ

地域住民の健康維持・増進を図り、地域の発展に貢献するとともに、地域住民、医療・保健・福祉の関係者、行政のトップと一体となって、生活自立障害を持った住民を総力を挙げて地域で支えることを使命とします。

## 日南病院の基本方針

- (1)地域医療の確保  
日南病院は、住民のニーズに対応した適正な医療を地域に提供します。
- (2)医療水準の向上  
日南病院は、先駆的な地域医療を行い、地域の医療水準の向上に努めます。
- (3)患者さま中心の医療の確立  
日南病院は、患者さまと医療スタッフがよく話し合い、患者さまが最良の医療を受けられることを目指します。
- (4)安全管理の徹底  
日南病院は、安心して医療を受けられる環境を整備し、職員への安全教育を推進します。
- (5)健全経営の確保  
日南病院は、公共性を確保するとともに、健全で自立した経営基盤を確立します。

## 職員の職業倫理

- (1)住民への約束  
住民の方を向いた、住民のための職務を行い、住民全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を遂行し、決して住民の利益を損なわないことを誓います。
- (2)病院への約束  
住民の病院への信頼を傷つけないように職務を遂行することを誓います。
- (3)同僚への約束  
同僚と良い人間関係を持ち、組織の能力が最大限に発揮されるように努めることを誓います。
- (4)奉仕の精神  
患者さまの人格と価値観を尊重して職務を遂行し、奉仕の精神で信頼を得るように努めます。
- (5)守秘義務  
患者さまのプライバシーを尊重し、職務上の守秘義務を厳守することを誓います。

## 患者さまの権利と義務

### (患者さまの権利)

- (1) 平等で良質な医療を受けることができます。
- (2) 人格や価値観が尊重された医療を受けることができます。
- (3) プライバシーが保護された医療を受けることができます。
- (4) 診療について、分かりやすい言葉で十分な説明と情報提供を受けることができます。
- (5) 治療方法について、選択・拒否することができます。
- (6) 必要に応じて診療情報の開示を求めることができます。

### (患者さまに守っていただくこと)

- (1) ご自分の健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただきます。
- (2) 医師等の行う診療行為に協力していただきます。
- (3) ご自分の病気を治すため、療養に専念していただきます。
- (4) 医療内容の説明を受け、納得のうえ選択していただきます。
- (5) 病院が決めた規則を守っていただきます。
- (6) 他の患者さまの治療に支障を与えないよう配慮していただきます。
- (7) 医療費を支払っていただきます。

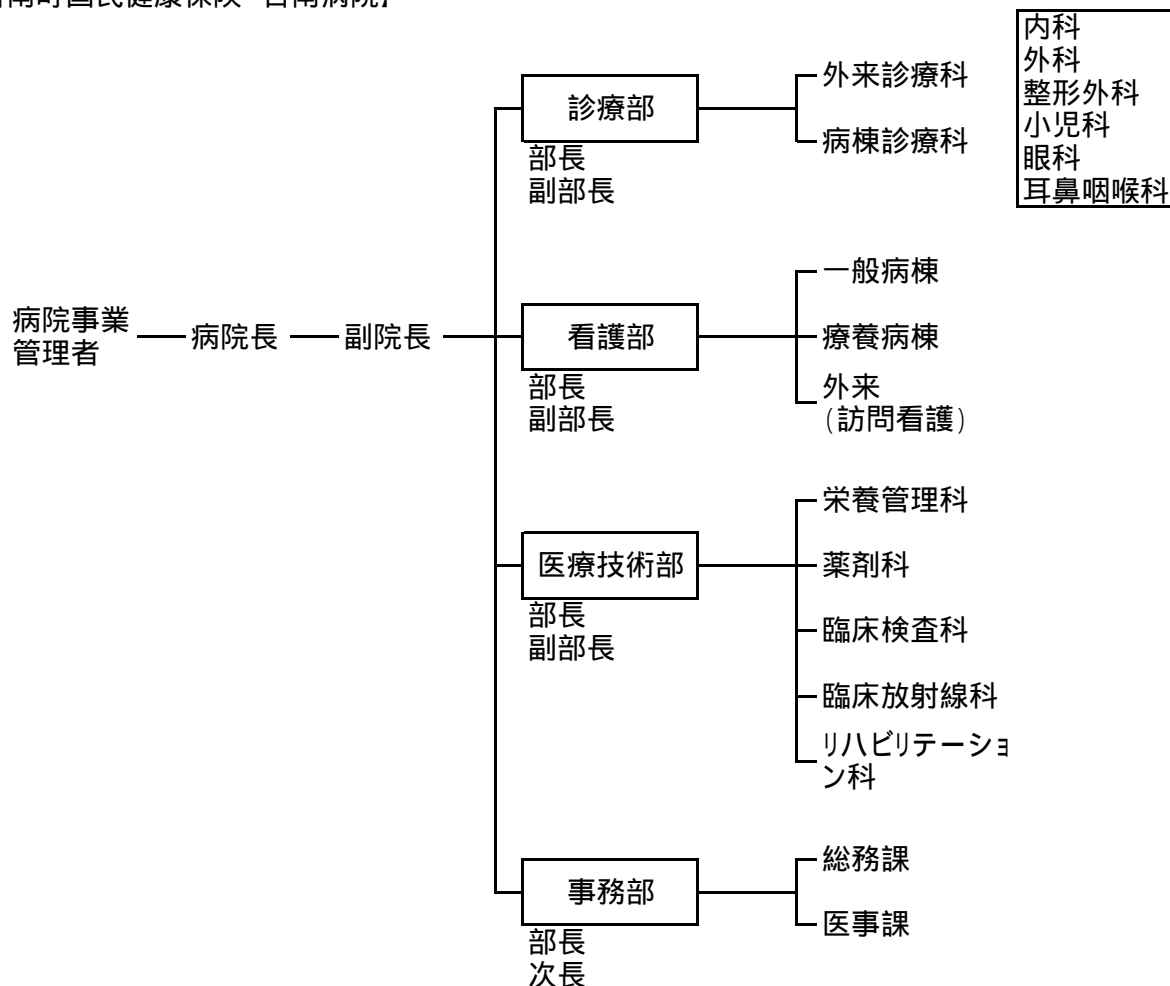
## 沿 革

昭和37年 4月 1日	日南町国民健康保険生山診療所を廃止し、日南町国民健康保険日南病院を開設、診療開始する。(診療科:内科、外科、産婦人科 病床数:一般病床27床)
昭和38年 4月 1日	病床数:一般病床37床に増床。
昭和43年 4月 1日	地方公営企業法を一部適用し企業会計となる。
昭和47年10月20日	病院の全面改築事業着手、2カ年の継続事業とする。小児科開設。
昭和48年10月30日	病院改築事業を完了。一般病床50床、歯科開設。
昭和52年 3月31日	産婦人科の廃止。
昭和54年 5月28日	日南町保健センター(隣接)開設。
昭和56年 2月 1日	県立日南特別養護老人ホーム(石霞苑)完成。
昭和56年 5月 1日	歯科の廃止。
昭和56年10月12日	病院医師住宅(2棟)完成。
昭和58年 1月25日	医事コンピュータ導入。
昭和59年 4月 1日	訪問看護開始。
昭和60年12月24日	医師住宅(1棟)完成。
昭和62年 5月11日	病院増改築工事着手。
昭和63年 2月25日	CTスキャナ(全身用)導入。
昭和63年 3月22日	病院増改築工事竣工。一般病床80床。
昭和63年 4月 1日	眼科及び耳鼻咽喉科開設。売店及び食堂営業開始(委託)。
昭和63年10月 1日	リハビリ業務開始。
平成 4年 3月20日	職員宿舍新築竣工。(医師住宅2棟、職員宿舍1棟4世帯用)
平成 4年 5月20日	自治体立優良病院 自治大臣表彰授賞。
平成 4年 8月 1日	外来土曜休診(週休2日制)
平成 5年 9月17日	医局増築工事竣工。
平成 6年 4月 1日	鳥大医学部第一外科より平岡副院長就任。
平成 6年10月 1日	鳥大小児科より小児科医常勤となる。
平成 7年 4月 1日	新看護3:1(A)看補10:1承認。
平成 7年 6月 1日	入院時食事療養、特別管理承認。
平成 7年12月 1日	新看護2.5:1(A)看補13:1承認。
平成 9年 4月 1日	安東院長退職(名誉院長就任)、高見院長就任、小児科竹茂副院長就任)
平成 9年11月 1日	再来自動受付、カルテ検索システム稼働
平成 9年12月15日	増築工事竣工(リハビリ室、詰所、事務所他)
平成10年 4月 1日	給食業務外部委託(株)メフォス
平成10年度	療養型病棟基本・実施設計施行、用地等取得(H11繰越)
平成12年 2月25日	療養病棟新館竣工。一般病床50床、療養病床49床
平成12年 4月 1日	療養病棟開設許可(介護保険対応型39床、医療型10床)
平成13年 2月 1日	病床種別一部変更(一般59床、療養40床(うち介護型31床))
平成13年 5月 1日	病後児保育事業開始
平成13年 5月 7日	ドクターカー(救急車医師同乗システム)開始
平成13年 6月 5日	整形外科開設(鳥大医師派遣)1日/週
平成15年 5月22日	総務大臣表彰(自治体立優良病院/全国で10病院)
平成16年 9月 9日	厚生労働大臣表彰(救急医療/全国で8医療機関)
平成17年 3月 1日	岡山県神郷町新郷・高瀬診療所への医師派遣(高見院長)開始。
平成17年 4月 1日	地方公営企業法全部適用(安東事業管理者就任)
平成17年 4月 1日	新医師臨床研修に参画(鳥大附属病院他病院の協力型医療施設「地域医療」として)
平成17年12月20日	医師住宅12号新築工事竣工
平成18年 3月27日	増改築工事竣工(給食施設、検査、薬局、病棟、医局等の増改築ほか)

# 組 織 図

平成18年3月31日現在

【日南町国民健康保険 日南病院】



【日南病院居宅介護支援事業所】

管理者  
(病院長兼務)

介護支援専門員  
(外来看護職員兼務)



# 施設の状況

平成18年 3月31日現在

## 日南町国民健康保険 日南病院

所在地	〒689-5211 鳥取県日野郡日南町生山511-7
	TEL:0859-82-1235(代) FAX:82-1341
	E-mail:S4100@town.nichinan.tottori.jp
	URL:http://nichi-hp.town.nichinan.tottori.jp
開設者	日南町長
開設日	昭和37年4月1日
法適用関係	地方公営企業法 全部適用 管理者設置
病床数	一般病床59床、療養病床40床(うち介護型31床、医療型9床) 計99床
診療科目	内科、外科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科
看護単位	2単位(一般病棟:59床、療養病棟40床)
病院の性格	救急告示病院

## 日南病院居宅介護支援事業所

所在地	〒689-5211 鳥取県日野郡日南町生山511-7
管理責任者	病院長
開設日	平成11年12月15日

## 施設基準届出項目一覧表

平成18年3月31日現在

種別1	種別2	施設基準名	届出受理年月日	備考	
医療	病床種別	病床種別届出	平成15年8月1日	一般59床、療養40床	
		一般病棟入院基本料 群2	平成14年10月1日	平在日28日以内、看護2.5:1	
		一般病棟看護補助加算	平成14年10月1日	10:1	
		療養病棟入院基本料1	平成14年2月1日	看護5:1、看護補4:1	
		夜勤看護加算	平成14年2月1日	一般3、療養4	
		重症者等療養環境特別加算	平成14年2月1日	1床(10号室)	
		褥瘡患者管理加算	平成16年4月1日	褥瘡管理体制	
		亜急性期入院医療管理	平成16年6月1日	10床(20,23,25号室)	
		診療録管理体制加算	平成16年10月1日		
		褥瘡対策の基準	平成14年10月1日	実施(減算なし)	
		医療安全管理体制の基準	平成14年10月1日	実施(減算なし)	
		特掲診療料	検体検査管理加算	平成14年4月1日	
			理学療法	平成14年10月1日	
	食事療養	入院時食事療養			
		特別管理加算			
	特定療養費	特別の療養環境提供	平成14年2月1日	一般10室、医療療養1室	
180日を超える入院料		平成14年4月27日			
介護	療養型医療施設(短期入所療養介護共通)	人員配置区分、減算型	平成15年4月1日	看護6:1看護補4:1	
		夜間看護加算	平成15年4月1日		
		差額ベッド	平成12年4月1日	3室(101,102,112号室)	
		感染対策指導管理	平成12年4月1日		
		褥瘡対策指導加算	平成12年4月1日		
		栄養ケアマネジメント加算	平成17年10月1日		
	短期入所療養介護	送迎加算			
	介護訪問看護	緊急時訪問看護加算	平成12年5月1日		
		特別管理加算	平成12年5月1日		
	介護訪問リハビリテーション		平成12年5月1日		
	居宅療養管理指導	医師による	平成12年4月1日		
居宅介護支援		平成11年12月15日			
介護予防各事業		平成18年3月27日	予防給付開始による		

# 職員の状況

## 1. 職種別職員数

H18.3.31現在

区分	常勤職員		非常勤職員		計	
	うち嘱託	うち臨時		換算後		
医師	5			2.6	7.6	
看護部門	看護師	34			34.0	
	准看護師	8	2	2	1.2	9.2
	看護補助者	18	16	2		18.0
薬剤部門	薬剤師	1		1	0.8	1.8
	薬局助手	2	2			2.0
放射線部門	診療放射線技師	2				2.0
検査部門	臨床検査技師	3	1			3.0
リハビリ部門	理学療法士	2				2.0
	リハビリ助手			1	0.8	0.8
栄養部門	管理栄養士	1				1.0
事務部門	医療事務担当職員	7	5			7.0
	一般事務担当職員	4				4.0
運転手	1	1				1.0
合計	88	27	4	4	5.4	93.4

## 2. 年度別職種別職員数

区分	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	
医師	7.9	8.1	8.1	8.3	8.3	7.6	
看護部門	看護師	25.7	29.0	29.0	31.0	33.0	34.0
	准看護師	10.5	10.5	11.5	9.5	7.5	9.2
	看護補助者	14.8	15.8	17.0	16.0	16.0	18.0
薬剤部門	薬剤師	2.8	2.8	2.8	2.8	1.8	1.8
	薬局助手	2.5	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0
放射線部門	診療放射線技師	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
検査部門	臨床検査技師	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	検査助手	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
リハビリ部門	理学療法士	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	2.0
	リハビリ助手	0.0	0.0	1.0	0.8	0.8	0.8
栄養部門	管理栄養士	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
事務部門	医事事務担当職員	6.2	7.0	8.0	6.8	7.0	7.0
	一般事務担当職員	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
運転手	0.5	0.5	1.0	0.8	1.0	1.0	
合計	80.9	85.7	90.9	88.5	88.4	93.4	

## 3. 職員表彰(外部)

被表彰者	表彰名	表彰者	表彰理由	表彰期日
高見 徹	自治功労表彰	全国町村会長	永年勤続(12年)	H18.1.27
高見 徹	国保中央会功労表彰	国保中央会長	永年勤続(12年)	H17.10.3
山川美末	自治功労表彰	全国町村会長	永年勤続(30年)	H18.1.27
倉光伸也	自治功労表彰	全国町村会長	永年勤続(30年)	H18.1.27
田辺妙子	自治功労表彰	鳥取県町村会長	永年勤続(25年)	H17.6.6
木下順久	自治功労表彰	鳥取県町村会長	永年勤続(25年)	H17.6.6

## 経営の状況

【損益計算書（消費税抜き後）】

（金額は千円、構成率は医業収益に対する百分率）

区 分		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
		金額	構成率	金額	構成率	金額	構成率
収	医業収益	1,080,825	87.1	1,100,153	88.1	1,185,026	89.1
	入院収益	433,056	34.9	465,576	37.3	514,713	38.7
	外来収益	530,534	42.7	518,664	41.5	552,918	41.6
	介護サービス収益	160,673	12.9	149,298	11.9	144,381	10.9
	施設介護収益	106,585	8.6	84,029	6.7	81,703	6.1
	居宅介護収益	45,362	3.7	56,400	4.5	50,788	3.8
	医業・介護収益計	1,241,498	100.0	1,249,451	100.0	1,329,407	100.0
益	医業外収益	68,594		64,960		61,194	
	負担金、補助金	59,916	4.8	57,736	4.6	54,069	4.1
	合 計	1,310,092		1,314,411		1,390,601	
費	医業・介護費用	1,218,974	98.2	1,172,296	93.8	1,255,819	94.5
	給与費	639,899	51.5	617,171	49.4	628,541	47.3
	材料費	338,239	27.2	334,676	26.8	360,452	27.1
	うち薬品費	308,768	24.9	303,026	24.3	325,949	24.5
	経費	149,671	12.1	140,549	11.2	152,660	11.5
	減価償却費	87,312	7.0	73,825	5.9	74,754	5.6
	研究研修費	3,172	0.3	3,150	0.3	2,910	0.2
	医業外費用	49,784		49,061		50,131	
	企業債利息	23,884	1.9	23,135	1.9	22,538	1.7
	合 計	1,268,758		1,221,357		1,305,950	
医業・介護収支		22,524		77,155		73,588	
経常利益		41,334		93,054		84,651	
当年度純利益		41,334		93,054		84,651	
一般会計繰入金（総収益比率）		133,617	10.2	128,795	9.8	119,584	8.6

【貸借対照表】（平成18年3月31日現在）

（単位：千円）

勘定区分	金額
(1)有形固定資産	1,839,231
イ．土地	93,901
ロ．償却資産	2,876,747
ハ．償却累計額	1,131,417
ニ．建設仮勘定	0
(2)無形固定資産	652
(3)投資	135,786
1．固定資産合計	1,975,669
(1)現金預金	1,562,765
(2)未収金	480,962
(3)貯蔵品	15,716
(4)その他流動資産	501
2．流動資産合計	2,059,944
(1)控除対象外消費税額	58,413
3．繰延勘定合計	58,413
資産合計	4,094,026

勘定区分	金額
4．固定負債	0
(1)未払金	293,196
(2)その他流動負債	500
5．流動負債	293,696
負債合計	293,696
(1)自己資本金	837,957
(2)借入資本金	1,342,058
イ．企業債	1,342,058
6．資本金合計	2,180,015
(1)資本剰余金	279,693
イ．受贈財産評価額	798
ロ．補助金	278,895
(2)利益剰余金	1,255,971
イ．減債積立金	64,207
ロ．当年度未処分利益剰余金	1,191,764
7．剰余金合計	1,535,664
資本合計	3,715,679
当年度純利益	84,651
負債資本合計	4,094,026

## 施設等整備状況

### 【施設工事関係】

日南病院増改築工事  
 日南病院医師住宅新築工事  
 日南病院駐車場整備(舗装)工事(H16繰越)  
 日南病院自家発電機修繕工事  
 日南病院病室医療ガス追加工事

### 【器械備品関係】

器械備品名	購入種別
高周波手術装置 1台	更新
厨房機器備品(一式)	更新
電動診察台	更新
ファイリングキャビネット 2台	更新
電動ベッド 7台	更新
車椅子 3台	更新
輸液ポンプ 3台	更新
厨房機器備品(冷凍冷蔵庫 1台)	更新
水圧マッサージヘッド 1台	新規
骨格模型 1体	新規
乾燥機 1台	新規
ストレッチャー 1台	更新
特殊浴槽 1台	新規
超音波ネブライザー 2台	更新
車椅子用体重計	新規
与薬車 1台	更新
バイオハザード対策用キャビネット	新規
増築備品その1(管理者室家具等一式)	新規
電話機器(一式)	更新
増築備品その2(検査室実験台6台)	更新
無散瞳眼底カメラ 1台	更新
増築備品その3(外来レストラン家具等一式)	更新
増築備品その7(ファイリングキャビネット他一式)	更新
増築備品その4(事務用備品一式)	更新
増築備品その5(カルテラック2台)	新規
外来待合い用コインロッカー	新規
医局用パソコン 1台	更新
自動乾燥洗濯機 1台	新規
増築備品その6(パソコン他一式)	更新・新規
作業療法室備品 一式	新規
人事・給与システム 一式	新規
救急カート 1台	更新

購入金額10万円以上のもの

# 院内委員会名簿

平成18年3月31日現在

名称	委員長	委員				書記
管理会議 (兼倫理委員会、職員表彰委員会)	安東良博	高見 徹 山川美末	平岡 裕 木下順久	竹茂幸人	榎尾光子	倉光伸也
医療安全管理委員会 (兼医療ガス委員会)	平岡 裕	高見 徹 加藤久美子 木山圭吾	榎尾光子 飛田君恵 田辺美加代	倉光伸也 花房和夫 田辺大起	浅田真紀子 青戸俊輔 花倉幸江	木下順久
院内感染対策委員会	山脇美香	高見 徹 田中美恵香 木山圭吾	岸本八恵子 飛田君恵 田辺美加代	久代恵子 青木良人 北垣祐輔	長谷川木の実 浅野博美	坪倉好栄
防災委員会	倉光伸也	高見 徹 山川美末	平岡 裕 長崎司朗	竹茂幸人	榎尾光子	青木良人
安全衛生委員会 (総括衛生管理者)	倉光伸也	高見 徹 加藤久美子 田辺妙子	榎尾光子 田中美恵香 北垣祐輔	青木智宏 日下美恵子	青戸俊輔 三好博子	山川美末
看護委員会	榎尾光子	山川美末 飛田君恵	稲田洋子 加藤久美子	岸本八恵子	田辺妙子	
薬事委員会	竹茂幸人	高見 徹 山脇美香	平岡 裕 花倉幸江	青木智宏	青木美由紀	木山圭吾
検査適正化委員会	高見 徹	平岡 裕 山中信江	青戸俊輔 坪倉好栄	坪倉敬子 高柴博昭	古都由利子	浅野博美
研修委員会	榎尾光子	平岡 裕 河上千草 花房和夫	坪倉さつき 足羽泉枝 倉光伸也	黒田育子 山中信江	三好博子 七瀬さおり	長崎司朗
診療情報管理委員会 (兼 診療情報開示委員会、個人情報保護委員会)	平岡 裕	高見 徹 稲田洋子 高柴博昭	青木美由紀 青戸俊輔	榎尾光子 花房和夫	山川美末 花倉幸江	木下 順久
診療材料等購入委員会	青木美由紀	榎尾光子 青木良人	山川美末 小泉美香子	稲田洋子 木山圭吾	飛田君恵	坪倉好栄
身体拘束廃止委員会	山脇美香	田辺妙子 古都由利子	加納晴美 深田能子	面田由美子	河上千草	藤原歩美 加藤久美子
褥瘡対策委員会	青木智宏	高見 徹 加藤真寿美 浅野博美	山川美末 中嶋由美 木山圭吾	浅田真紀子 矢田貝双美 田辺美加代	北垣麻規子 青木良人 北垣祐輔	高柴博昭
栄養管理委員会	青木智宏	加藤真寿美 浅野博美	山川美末 中嶋由美 木山圭吾	浅田真紀子 矢田貝双美 田辺美加代	北垣麻規子 青木良人 北垣祐輔	高柴博昭
NST委員会	青木智宏	高見 徹 加藤真寿美 浅野博美	山川美末 中嶋由美 木山圭吾	浅田真紀子 矢田貝双美 田辺美加代	北垣麻規子 青木良人 北垣祐輔	高柴博昭
業務改善委員会 (電子カルテ、病院機能評価検討を含む)	木下順久	高見 徹 稲田洋子 田辺美加代	青木智宏 木山圭吾 北垣祐輔	榎尾光子 花房和夫	山川美末 青戸俊輔	花倉幸江
情報・図書管理委員会 (兼年報編集委員会)	竹茂幸人	倉光伸也 中村千恵美 北垣祐輔	青木美由紀 河上千草 花房和夫	林 弘子 白根悦子 木下順久	小竹康子 日下美恵子 高柴博昭	長崎司朗
病院運営会議		安東良博 青木智宏 山川美末 浅野博美 木下順久	高見 徹 青木美由紀 稲田洋子 木山圭吾 花倉幸江	平岡 裕 山脇美香 青木良人 北垣祐輔	竹茂幸人 榎尾光子 田辺美加代 倉光伸也	

## 主な出来事

### 4月

- 1日 地方公営企業法全部適用(病院事業管理者 安東良博就任)
- 1日 年度初め式、辞令交付式
- 14日 院内個人情報保護研修会
- 22日 増改築計画、議会全員協議会説明
- 26日 増改築工事現場説明会



年度初め式(管理者ほか採用職員)

### 5月

- 12日 増改築工事入札
- 18日 看護の日イベント
- 30日 千代田中央病院より医療事務研修受入(2名)



看護の日イベント(抹茶サービス)

### 6月

- 8日 増改築工事現場、議会教育民生常任委員現地説明
- 23日 町執行部との懇談会
- 26日 100kmマラソン大会(救護部ボランティア参加)



100kmマラソン救護部ボランティア

### 7月

- 1日 100kmマラソン救護部反省会
- 11、14日 人事考課制度職員説明会
- 15日 医師住宅新築工事現場説明会
- 20日 人事考課制度考課者説明会
- 26日 医師住宅新築工事入札
- 30日 国保病院親善球技大会(当番智頭病院/用瀬町)



国保病院親善球技大会

### 8月

- 1日 平成16年度決算監査(町監査員)
- 11日 自治医科大学学生夏期研修受入(2名)
- 17~30日 専門学校生医療事務研修受入(1名)
- 23日 院内研修会(研修委員会:管理者)

### 9月

- 3、4日 増改築一部竣工による薬局の移転
- 5~7日 岩美病院医師地域医療研修受入(1名)
- 8~10日 全国国保学会(北海道)参加 3名
- 12日 米子啓成地区保健推進員視察受入(25名)
- 13日 増改築一部竣工による厨房の移転営業開始
- 13日 施設基準届出事項実地調査(鳥取社会保険事務局)
- 13~16日 町職域バレーボール大会参加(男・女)
- 13~15日 日南中学校職場体験学習(わくわくにちなん)受入4名
- 25日 人事考課考課者研修(日本経営)
- 29日 医療監視



本館増改築工事



## 10月

- 1日 医師臨床研修受入(労災病院より池田医師)1ヶ月間
- 22～23日 にちなんふるさとまつり(健康相談に病院職員参加)
- 26日 院内接遇研修会(第1回)



日南町ふるさとまつり 骨密度測定

## 11月

- 4日 鳥取県医務薬事課来院
- 10日 岡山県備前市議会視察受入(13名)
- 14日 緑の募金植樹事業(病院周辺)
- 14日 町執行部との懇談会
- 17日 火災避難訓練
- 29日 院内研修会(褥瘡対策委員会、医療安全管理委員会合同)



緑の募金記念植樹(病院周辺)

## 12月

- 2日 増改築一部竣工による医局の移転
- 3日 西部自治体病院看護部研究発表会
- 13日 平成18年度予算要求院内査定会
- 15日 町執行部との懇談会
- 16日 院内接遇研修(第2回)
- 17日 病院忘年会(於:米子市)
- 21日 医師住宅竣工検査
- 29日 仕事納め式



西部自治体病院看護研究会(会場:日南病院)

## 1月

- 5日 仕事初め式
- 16日 兵庫県相生市議会、市民病院視察研修受入



院内研究発表会

## 2月

- 9日 増改築一部竣工による病室の使用開始
- 13日 増改築一部竣工によるレストラン、売店の営業開始
- 14日 増改築一部竣工による検査室の移転
- 15日 院内研究発表会
- 16日 町執行部との懇談会
- 21-3月30日 鳥取大学医学部学生臨床実習生受入(在宅医療:15名)
- 23日 診療報酬改定勉強会
- 27日 セクシャルハラスメント研修会(町主催)
- 28日 医療安全研修会(血液製剤の適正使用について)



接遇研修会(第3回)

## 3月

- 1日 火災通報連絡網訓練(夜間:全職員)
- 6日 兵庫県新温泉町議会視察研修受入
- 6日 防火研修会(防災委員会主催)
- 10日 西部広域(消防)との救急活動連絡協議会
- 14日 院内接遇研修(第3回)
- 16日 町執行部との懇談会
- 26日 職員歓送迎会
- 27日 病院増改築工事竣工引渡
- 29日 退職職員を送る会



退職職員を送る会

## 病院増改築事業の概要

日南病院は昭和48年度の本館改築以降主な増改築として、62年度（本館増築）、平成9年度（リハ、病棟詰所等）、平成11年度（療養病棟増築、健康福祉センター合築）を実施し、病院機能の向上に努めて参りました。

この度、平成17年度に4度目の増改築を計画・実施し、より質の高い診療環境及び療養環境を整備いたしました。

### 主な整備項目として

1. 患者用給食施設・・・老朽化に係る移転改築（電化厨房、効率的機械化）
2. 投薬・検査等施設の充実  
薬局、検査・・・移転改築（機械化による不足面積の確保、製剤室の整備等）  
リハビリテーション・・・作業療法室の確保  
内視鏡ほか検査・・・検査環境の整備（不足面積の確保など）  
外来レストラン・売店・・・1階への移転による利用者へのサービス向上
3. 療養環境の整備  
病室の新設及び既設全病室改修・・・5人部屋を4人部屋に改良ほか改修  
介助浴室の新設、一般浴室の増強及び改修・・・要介助者の入浴環境整備  
デイルームの新設・・・利用者の療養環境整備
4. 各種設備の改修  
空調設備熱源、給湯設備の更新及び移転  
電気室の改修及び移転  
医療ガス設備移転
5. その他  
医局の増築、管理者室の新設  
外構の改修、階段通路の改修

### 事業規模

既存延べ面積	6,494 m <sup>2</sup>
撤去面積	87 m <sup>2</sup>
増築面積	757 m <sup>2</sup>
増築後面積	7,164 m <sup>2</sup>

### 事業費

工事	金520,738千円	施工	鹿島建設(株)広島支店
設計監理	金22,260千円	受託	白兔設計事務所米子事務所
厨房機器ほか	金41,796千円	納入	ホクサン厨機(株)ほか
合計	584,794千円		
財源内訳			
起債	494,500千円		
補助（アスベスト除去）	3,601千円		
一般財源	86,693千円		





増築後南西側全景



増築後東南側全景



外来待合いホール



外来トイレ



介助浴室



患者給食用電化厨房



内視鏡検査室



作業療法室



外来レストラン



売店



病院事業管理者室



医局

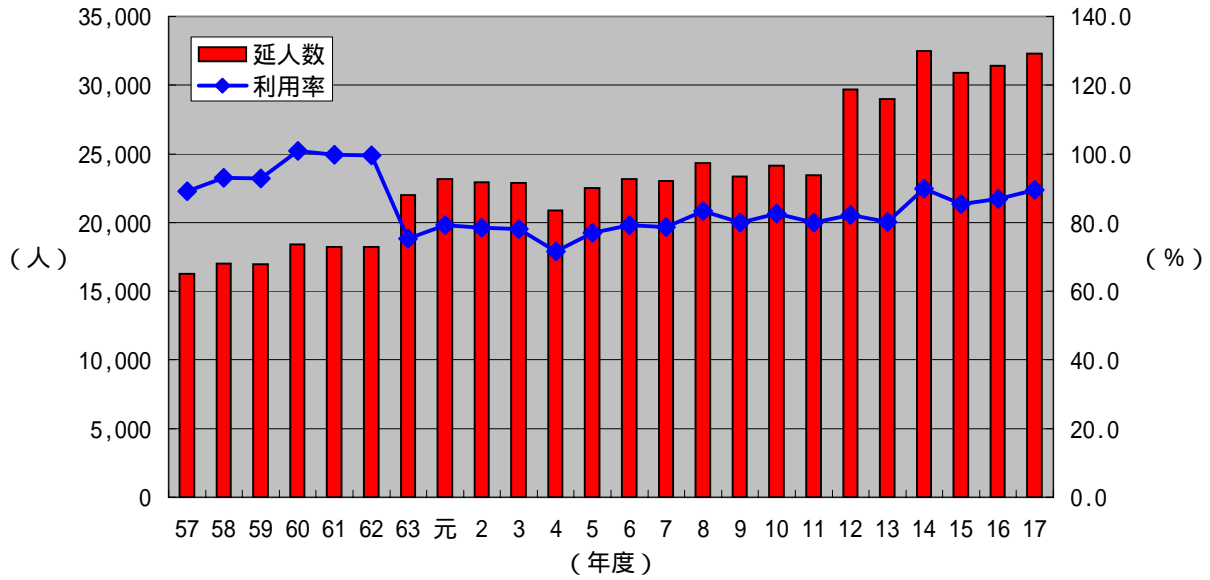
# . 統計

1. 年度別患者数等の状況

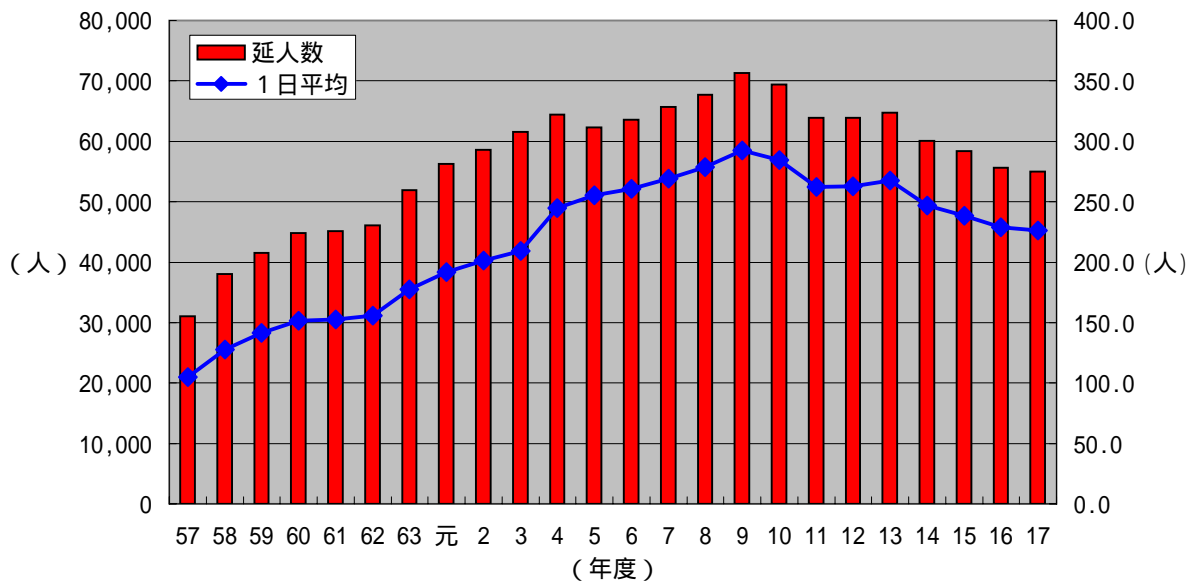
区 分		H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	
一般病棟	病 床 数 (床)	50 H14.2 ~ 59	59	59	59	59	
	入院延患者数 (人)	16,709	19,418	17,428	18,642	19,595	
	1日平均患者数 (人)	45.8	53.2	47.6	51.1	53.7	
	病 床 利 用 率 (%)	89.0	90.2	80.7	86.6	91.0	
	新入院患者数 (人)	1,055	992	846	797	968	
	退 院 患 者 数 (人)	1,062	981	860	781	981	
	平均在院日数 (日)	14.9	18.9	19.7	19.6	17.4	
療養病棟	医療型	病 床 数 (床)	10 H14.2 ~ 9	9	9	9	9
		入院延患者数 (人)	2,843	2,661	2,947	2,837	2,958
		1日平均患者数 (人)	7.8	7.3	8.1	7.8	8.1
		病 床 利 用 率 (%)	79.2	81.0	89.5	86.4	90.0
	介護型	病 床 数 (床)	39 H14.2 ~ 31	31	31	31	31
		入院延患者数 (人)	7,126	7,954	7,791	6,223	6,482
		1日平均患者数 (人)	19.5	21.8	21.3	17.0	17.8
		病 床 利 用 率 (%)	51.8	70.3	68.7	55.0	57.3
	短期入所	入院延患者数 (人)	2,312	2,468	2,744	3,693	3,273
		1日平均患者数 (人)	6.3	6.8	7.5	10.1	9.0
	計	病 床 数 (床)	49 H14.2 ~ 40	40	40	40	40
		入院延患者数 (人)	12,281	13,083	13,482	12,753	12,713
		1日平均患者数 (人)	33.6	35.8	36.8	34.9	34.8
		病 床 利 用 率 (%)	70.8	89.6	92.1	87.3	87.1
		平均在院日数 (日)	71.6	67.9	96.3	70.9	53.4
入院合計	病 床 数 (床)	99	99	99	99	99	
	入院延患者数 (人)	28,990	32,501	30,910	31,395	32,308	
	1日平均患者数 (人)	79.4	89.0	84.5	86.0	88.5	
	病 床 利 用 率 (%)	80.2	89.9	85.3	86.9	89.4	
外来	延 患 者 数 (人)	64,787	60,039	58,352	55,647	54,965	
	1日平均患者数 (人)	267.7	247.1	238.2	229.0	226.2	
	診 療 日 数 (日)	242	243	245	243	243	
	新規外来患者数 (人)	7,179	7,355	7,126	7,823	7,854	
	平均通院回数 (回)	9.0	8.2	8.2	7.1	7.0	
外来入院患者比率 (%)		223.5	184.7	188.8	177.2	170.1	

# 患者統計

## 年度別入院延患者数

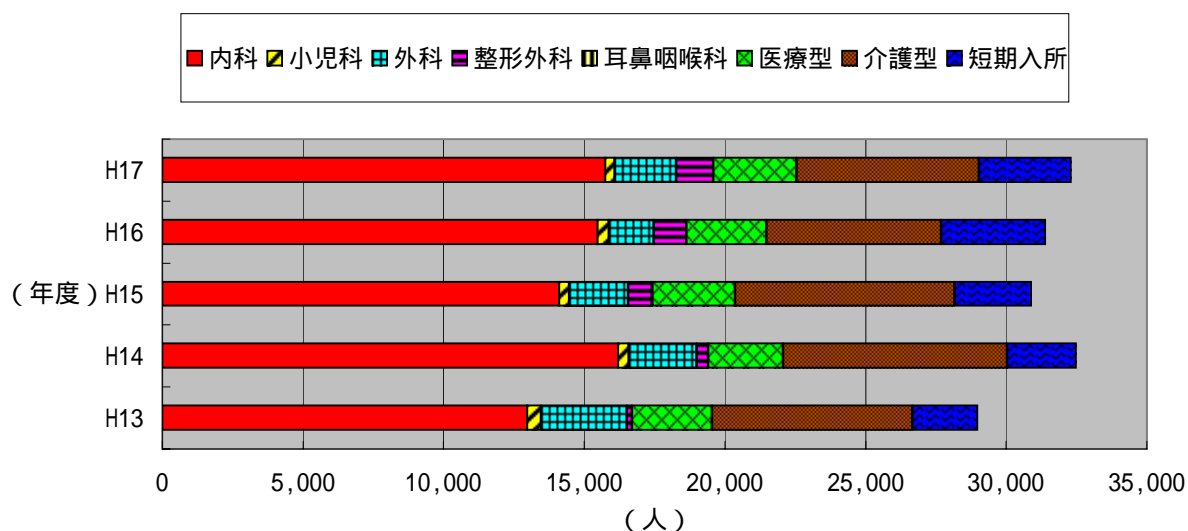


## 年度別外来患者数



## 2. 年度別診療科別入院患者数

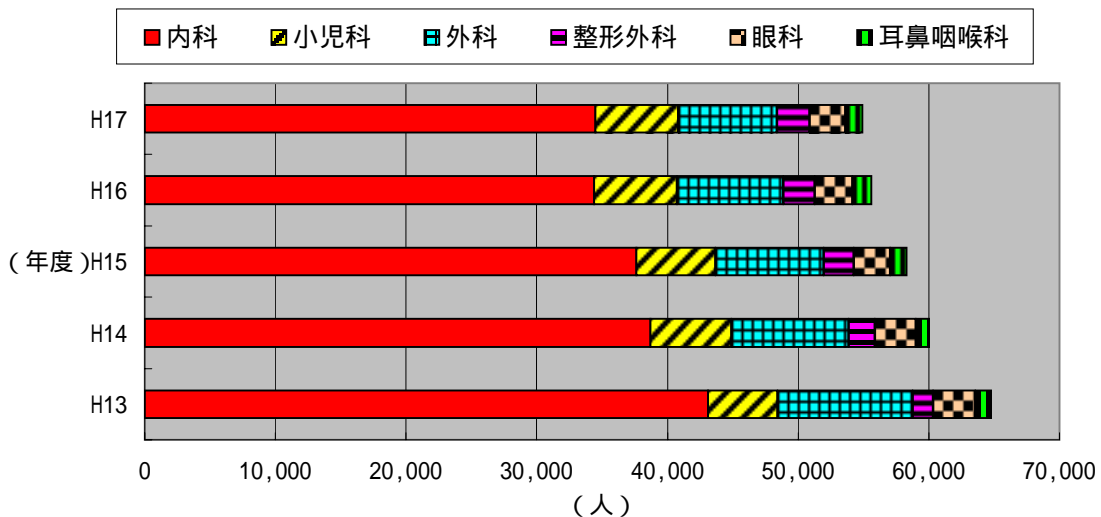
年度	一般病棟							療養病棟				合計
	内科	小児科	外科	整形外科	眼科	耳鼻咽喉科	計	医療型	介護型	短期入所	計	
S57	13,254	46	2,954				16,254					16,254
58	12,650	25	4,354				17,029					17,029
59	13,312	38	3,610				16,960					16,960
60	13,354	45	5,010				18,409					18,409
61	13,615	22	4,579				18,216					18,216
62	14,524	50	3,651				18,225					18,225
63	18,071	23	3,886		0	15	21,995					21,995
H元	18,867	35	4,237		0	8	23,147					23,147
2	19,154	93	3,677		0	0	22,924					22,924
3	19,027	121	3,717		0	14	22,879					22,879
4	17,765	39	3,017		0	56	20,877					20,877
5	19,441	29	3,021		0	0	22,491					22,491
6	19,943	220	2,949		0	41	23,153					23,153
7	18,962	613	3,405		0	30	23,010					23,010
8	20,083	1,032	3,196		0	0	24,311					24,311
9	19,389	1,018	2,928		0	20	23,355					23,355
10	20,586	754	2,782		0	7	24,129					24,129
11	20,687	595	2,113		0	42	23,437					23,437
12	14,339	461	2,638		0	13	17,451	2,460	8,543	1,256	12,259	29,710
13	12,971	503	3,053	182	0	0	16,709	2,843	7,126	2,312	12,281	28,990
14	16,192	391	2,416	411	0	8	19,418	2,661	7,954	2,468	13,083	32,501
15	14,110	373	2,074	861	0	10	17,428	2,947	7,791	2,744	13,482	30,910
16	15,484	389	1,602	1,165	0	2	18,642	2,837	6,223	3,693	12,753	31,395
17	15,738	352	2,187	1,318	0	0	19,595	2,958	6,482	3,273	12,713	32,308





### 3. 年度別診療科別外来患者数

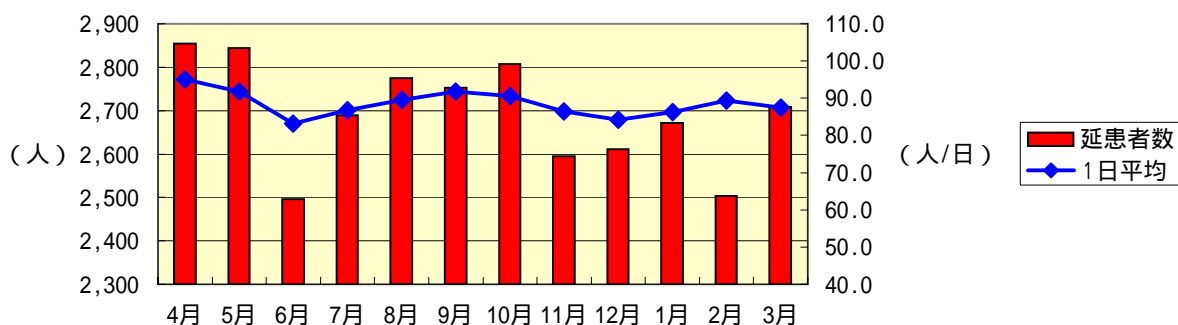
年度	内科	小児科	外科	整形外科	眼科	耳鼻咽喉科	合計
S57	21,694	1,790	7,565				31,049
58	26,232	1,917	9,847				37,996
59	28,015	1,972	11,596				41,583
60	30,400	1,943	12,434				44,777
61	29,961	2,368	12,761				45,090
62	30,947	2,644	12,454				46,045
63	33,088	2,746	12,262		1,599	2,271	51,966
H元	34,866	3,746	12,920		2,273	2,412	56,217
2	37,089	3,546	13,150		2,460	2,378	58,623
3	39,866	3,269	13,263		2,462	2,651	61,511
4	41,050	3,599	13,838		2,743	3,212	64,442
5	41,088	3,301	12,477		2,945	2,542	62,353
6	41,383	4,257	12,283		3,189	2,426	63,538
7	42,223	5,225	12,163		3,214	2,854	65,679
8	44,230	5,809	11,742		3,517	2,434	67,732
9	47,889	5,901	11,967		3,436	2,168	71,361
10	46,472	5,258	11,991		3,645	2,024	69,390
11	42,638	5,636	10,387		3,474	1,786	63,921
12	42,174	5,361	11,597		3,214	1,496	63,842
13	43,094	5,362	10,343	1,547	3,254	1,187	64,787
14	38,691	6,242	8,958	2,003	3,151	994	60,039
15	37,632	6,085	8,273	2,296	2,797	1,269	58,352
16	34,404	6,371	8,119	2,376	2,914	1,463	55,647
17	34,479	6,383	7,529	2,492	2,741	1,341	54,965



#### 4. 月別診療科別患者数

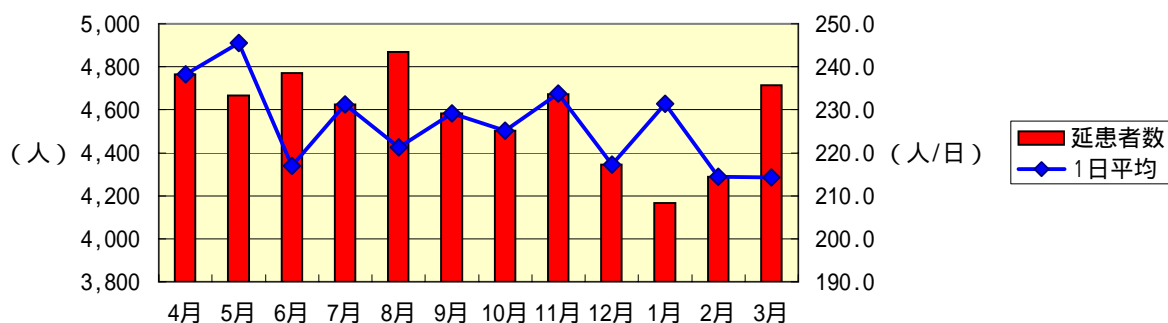
##### 入院

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
一般病棟	内科	1,460	1,430	1,294	1,408	1,364	1,233	1,295	1,213	1,242	1,343	1,170	1,286	15,738
	小児科	45	35	37	23	16	31	34	35	41	17	29	9	352
	外科	280	316	261	229	186	258	154	129	99	63	75	137	2,187
	整形外科	57	11	58	38	114	141	231	124	116	99	191	138	1,318
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,842	1,792	1,650	1,698	1,680	1,663	1,714	1,501	1,498	1,522	1,465	1,570	19,595
1日平均	61.4	57.8	55.0	54.8	54.2	55.5	55.3	50.0	48.3	49.1	52.3	50.7	53.7	
療養病棟	医療型	214	174	238	278	203	257	273	262	274	267	246	272	2,958
	介護型	477	552	388	456	606	509	473	517	597	679	593	635	6,482
	短期入所	321	326	220	257	285	324	347	315	242	204	200	232	3,273
	小計	1,012	1,052	846	991	1,094	1,090	1,093	1,094	1,113	1,150	1,039	1,139	12,713
1日平均	33.7	33.9	28.2	31.9	35.3	36.3	35.2	36.5	35.9	37.1	37.1	36.7	34.8	
合計	2,854	2,844	2,496	2,689	2,774	2,753	2,807	2,595	2,611	2,672	2,504	2,709	32,308	
1日平均	95.1	91.7	83.2	86.7	89.5	91.8	90.5	86.5	84.2	86.2	89.4	87.4	88.5	



##### 外来

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2,899	2,814	2,865	2,869	3,038	2,926	2,795	2,930	2,935	2,631	2,700	3,077	34,479
小児科	538	537	522	466	510	409	611	634	425	614	631	486	6,383
外科	680	766	762	673	735	684	626	562	551	453	517	520	7,529
整形外科	227	217	243	273	232	220	160	211	135	188	141	245	2,492
眼科	258	207	265	252	258	235	208	221	186	196	199	256	2,741
耳鼻咽喉科	164	125	114	91	96	109	103	115	112	84	99	129	1,341
合計	4,766	4,666	4,771	4,624	4,869	4,583	4,503	4,673	4,344	4,166	4,287	4,713	54,965
1日平均	238.3	245.6	216.9	231.2	221.3	229.2	225.2	233.7	217.2	231.4	214.4	214.2	226.2



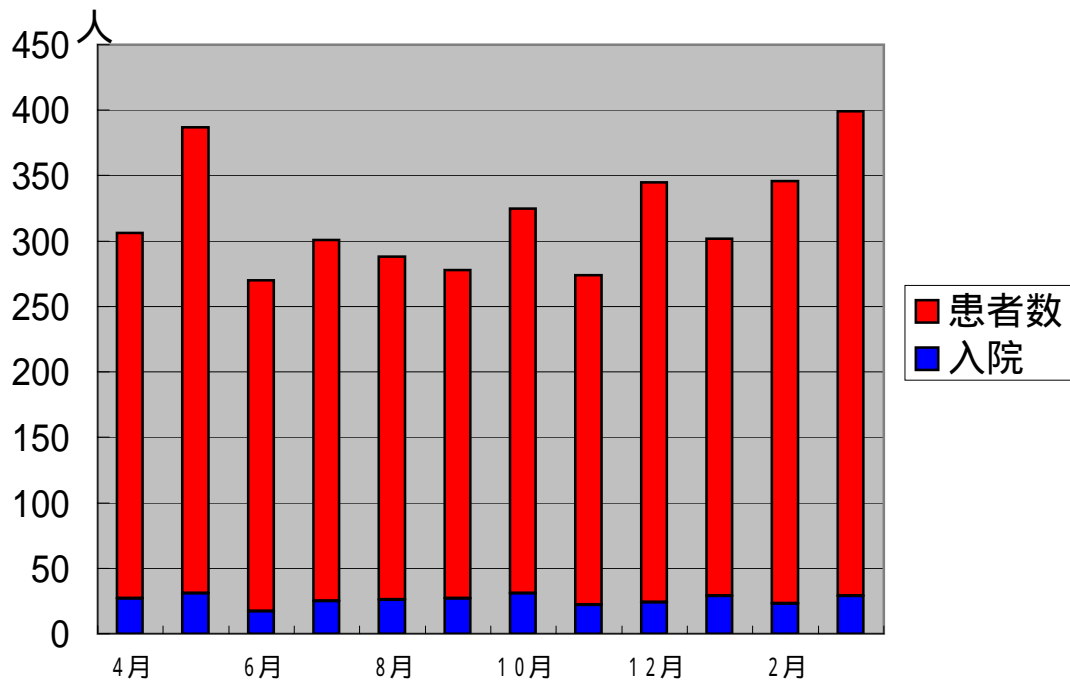


5. 科目別時間外外来患者数

外来日誌より延べ人数

下段は入院患者数(再掲)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	137	136	129	159	151	129	112	139	124	167	127	144	1,654
	21	20	20	12	33	15	18	17	11	24	15	24	230
外 科	67	76	42	37	60	58	41	30	27	23	25	29	515
	4	4	2	1	2	10	2	1	1	2	0	1	30
整形外科	3	7	5	5	4	3	5	2	5	4	4	2	49
	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3
小 児 科	116	135	89	94	103	75	126	186	159	141	101	77	1,402
	6	6	1	2	3	2	6	2	3	5	2	0	38
眼 科	4	3	2	1	0	2	1	1	0	0	0	3	17
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳 鼻 科	2	2	0	1	0	0	1	0	2	1	1	0	10
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	329	359	267	297	318	267	286	358	317	336	258	255	3,647
	31	30	24	15	38	27	26	20	15	32	18	25	301



6. 病院群輪番制病院

当番日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平日	4	3	5	4	4	5	4	3	5	4	4	5	50
土曜	1	0	1	1	1	1	0	0	2	0	1	2	10
日祝	1	2	1	0	1	1	2	2	0	2	1	0	13
合計	6	5	7	5	6	7	6	5	7	6	6	7	73

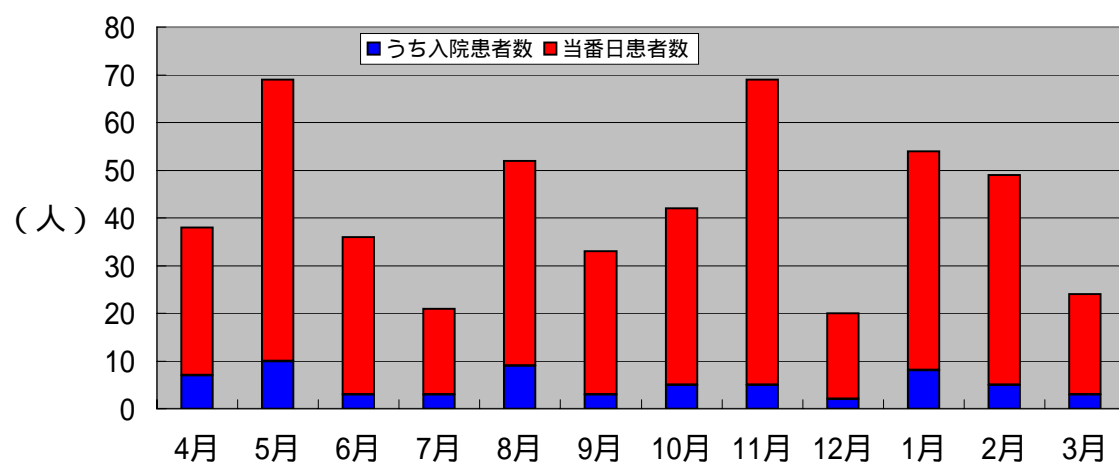
平日、土曜：18:00～翌朝8:00、日祝：8:00～翌朝8:00

当番日患者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	平日	14	10	13	11	14	6	9	11	9	8	17	7	129
		2	4	3	1	5	1	2	1	2	4	2	2	29
	土曜	2		1	3	1	1			1		3	4	16
		2			2							1	1	6
	日祝	5	21	5		16	8	7	18		14	10		104
		1	3			3	1	2	4		2	2		18
小児科	平日	3	4	4	6	8	6	6	10	4	3	5	7	66
			1				1							2
	土曜	3								1		2		6
														0
	日祝	6	23	5		7	3	12	27		21	10		114
		1	2					1			2			6
外科	平日	2	1	5	1	2	4			3	1	1	5	25
		1				1								2
	土曜											1	1	2
														0
	日祝	3	10	3		2	4	8	3		7			40
														0
整形外科	平日									2				2
														0
	土曜													0
														0
	日祝					2								2
														0
眼科	平日						1							1
														0
	土曜													0
														0
	日祝													0
														0
耳鼻咽喉科	平日													0
														0
	土曜													0
														0
	日祝													0
														0
合計	平日	19	15	22	18	24	17	15	21	18	12	23	19	223
		3	5	3	1	6	2	2	1	2	4	2	2	33
	土曜	5	0	1	3	1	1	0	0	2	0	6	5	24
		2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	6
	日祝	14	54	13	0	27	15	27	48	0	42	20	0	260
		2	5	0	0	3	1	3	4	0	4	2	0	24
	計	38	69	36	21	52	33	42	69	20	54	49	24	507
		7	10	3	3	9	3	5	5	2	8	5	3	63

下段は入院患者数(再掲)

### 月別当番日患者数



### 当番日救急車受入患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受入患者数	6	6	2	1	4		3	4		4	2	3	35
患者数	6	5	2	1	4		3	3		4	2	2	32

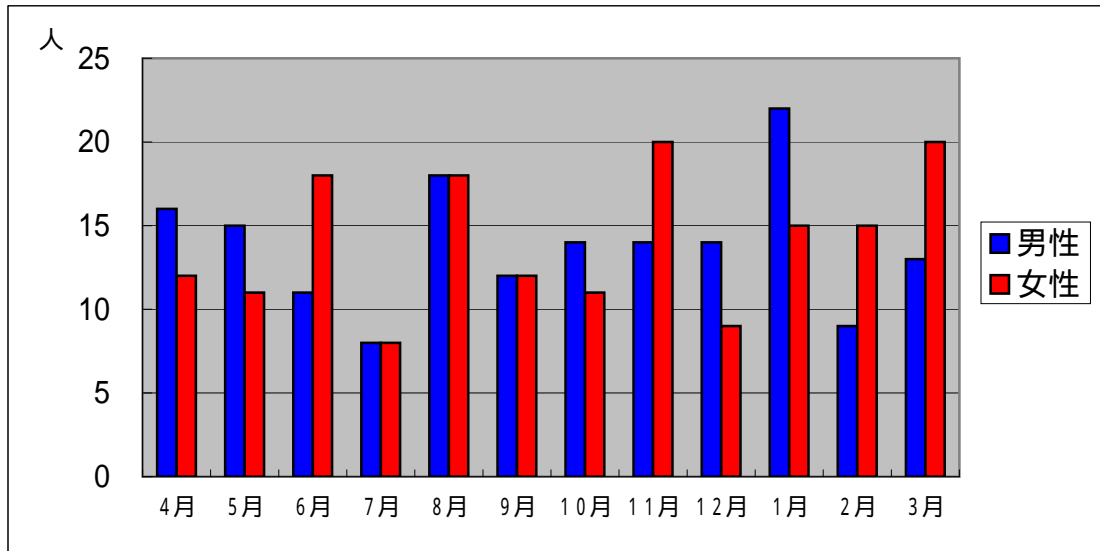
下段は入院患者数(再掲)

### 当番日市町村別患者数

市町村名	入院	外来	合計	備考
米子市		1	1	
境港市			0	
日吉津村			0	
大山町			0	
南部町		2	2	
伯耆町		3	3	
日南町	50	340	390	
日野町	2	48	50	
江府町	1	5	6	
ほか県内			0	
県外	10	108	118	岡山県新見市他
合計	63	507	570	

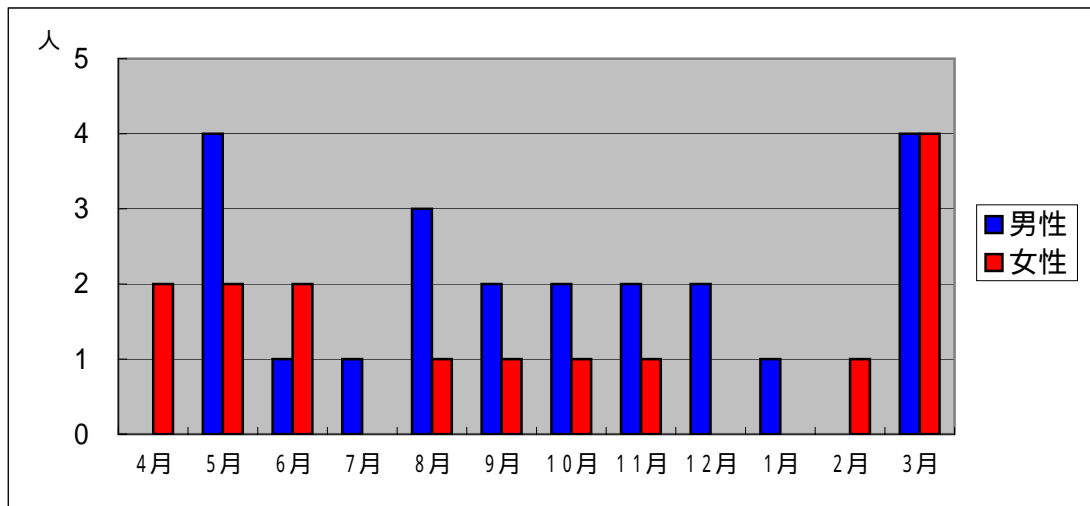
7. 救急車搬入件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	16	15	11	8	18	12	14	14	14	22	9	13	166
女性	12	11	18	8	18	12	11	20	9	15	15	20	169
合計	28	26	29	16	36	24	25	34	23	37	24	33	335



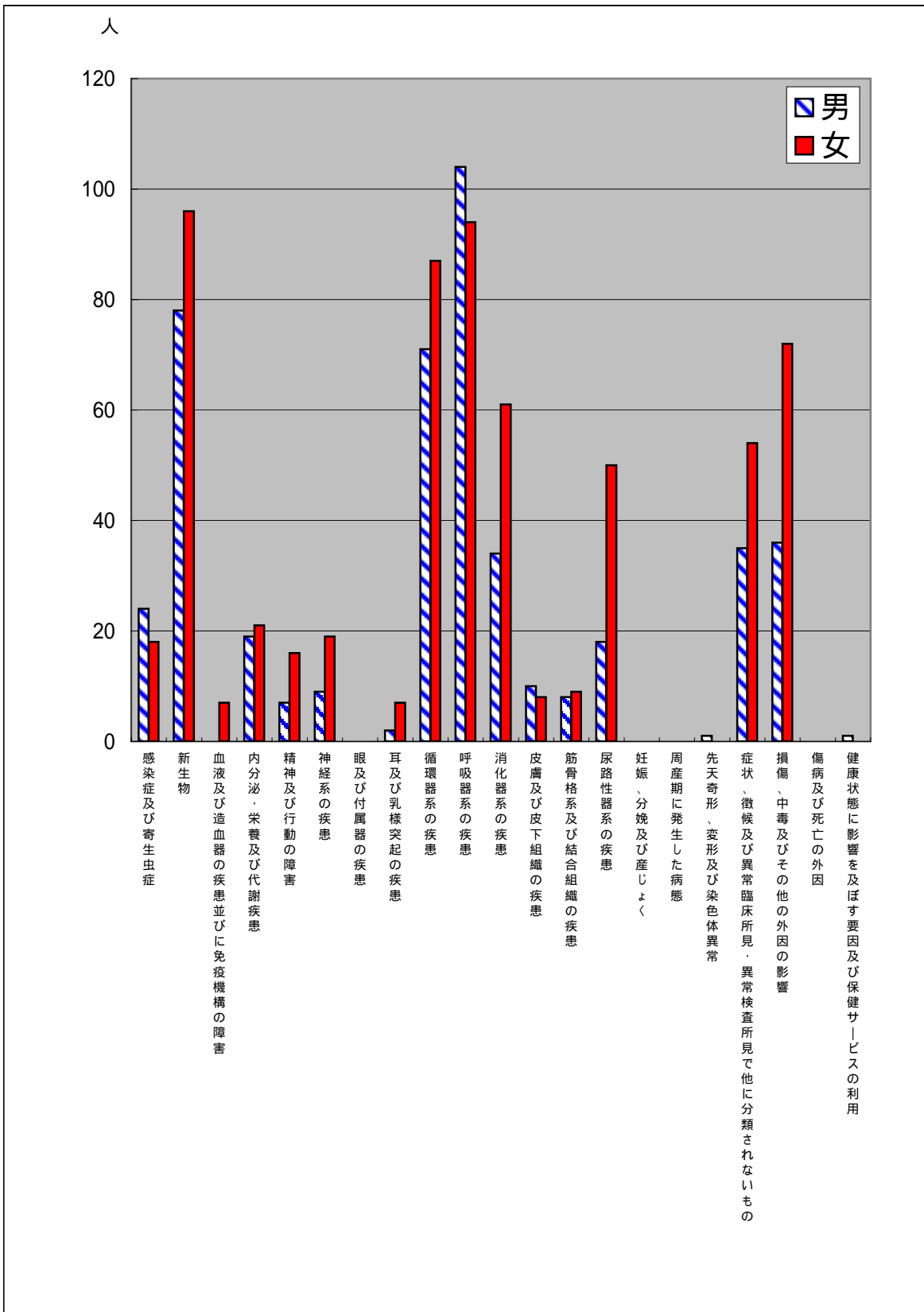
8. 救急車転送件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	0	4	1	1	3	2	2	2	2	1	0	4	22
女性	2	2	2	0	1	1	1	1	0	0	1	4	15
合計	2	6	3	1	4	3	3	3	2	1	1	8	37



# 疾病統計

## 1. 疾病別退院患者数



診療科別(大分類・中分類)  
(2005/04/01-2006/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	小児科	眼科	耳鼻科	整形外	死亡
総数	合計	1,076	100.0	823	99	106	0	0	48	84
	男	457	42.5	351	40	56	0	0	10	45
	女	619	57.5	472	59	50	0	0	38	39
構成比(%)	合計		100.0	76.5	9.2	9.9	0.0	0.0	4.5	7.8
	男		100.0	76.8	8.8	12.3	0.0	0.0	2.2	9.8
	女		100.0	76.3	9.5	8.1	0.0	0.0	6.1	6.3
感染症及び寄生虫症	合計	42	3.9	26	1	15	0	0	0	1
	男	24	5.3	13	0	11	0	0	0	1
	女	18	2.9	13	1	4	0	0	0	0
001 腸管感染症	合計	22	2.0	15	0	7	0	0	0	0
	男	12	2.6	7	0	5	0	0	0	0
	女	10	1.6	8	0	2	0	0	0	0
004 その他の細菌性疾患	合計	4	0.4	2	0	2	0	0	0	1
	男	3	0.7	2	0	1	0	0	0	1
	女	1	0.2	0	0	1	0	0	0	0
008 リケッチア症	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
011 皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	合計	11	1.0	4	1	6	0	0	0	0
	男	6	1.3	1	0	5	0	0	0	0
	女	5	0.8	3	1	1	0	0	0	0
012 ウイルス肝炎	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
015 真菌症	合計	3	0.3	3	0	0	0	0	0	0
	男	3	0.7	3	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
新生物	合計	174	16.2	163	10	0	0	0	1	25
	男	78	17.1	75	3	0	0	0	0	11
	女	96	15.5	88	7	0	0	0	1	14
023 消化器の悪性新生物	合計	86	8.0	78	8	0	0	0	0	17
	男	41	9.0	38	3	0	0	0	0	6
	女	45	7.3	40	5	0	0	0	0	11
024 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	合計	5	0.5	5	0	0	0	0	0	4
	男	4	0.9	4	0	0	0	0	0	3
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	1
029 女性性器の悪性新生物	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	1
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	1
030 男性性器の悪性新生物	合計	2	0.2	2	0	0	0	0	0	1
	男	2	0.4	2	0	0	0	0	0	1
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
032 眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	1
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	1
034 部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物	合計	2	0.2	2	0	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	2	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
035 リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	合計	2	0.2	2	0	0	0	0	0	1
	男	1	0.2	1	0	0	0	0	0	1
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
038 良性新生物	合計	57	5.3	57	0	0	0	0	0	0
	男	27	5.9	27	0	0	0	0	0	0
	女	30	4.8	30	0	0	0	0	0	0
039 性状不詳又は不明の新生物	合計	18	1.7	15	2	0	0	0	1	0
	男	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
	女	17	2.7	14	2	0	0	0	1	0
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	合計	7	0.7	7	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	7	1.1	7	0	0	0	0	0	0
040 栄養性貧血	合計	2	0.2	2	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	0.3	2	0	0	0	0	0	0
042 無形成性貧血及びその他の貧血	合計	5	0.5	5	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	5	0.8	5	0	0	0	0	0	0
内分泌、栄養及び代謝疾患	合計	40	3.7	40	0	0	0	0	0	0
	男	19	4.2	19	0	0	0	0	0	0
	女	21	3.4	21	0	0	0	0	0	0

診療科別(大分類・中分類)  
(2005/04/01-2006/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	小児科	眼科	耳鼻科	整形外	死亡
046 甲状腺障害	合計	2	0.2	2	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
047 糖尿病	合計	21	2.0	21	0	0	0	0	0	0
	男	11	2.4	11	0	0	0	0	0	0
	女	10	1.6	10	0	0	0	0	0	0
048 その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	合計	4	0.4	4	0	0	0	0	0	0
	男	3	0.7	3	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
049 その他の内分泌腺障害	合計	5	0.5	5	0	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	2	0	0	0	0	0	0
	女	3	0.5	3	0	0	0	0	0	0
053 代謝障害	合計	8	0.7	8	0	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	2	0	0	0	0	0	0
	女	6	1.0	6	0	0	0	0	0	0
精神及び行動の障害	合計	23	2.1	23	0	0	0	0	0	0
	男	7	1.5	7	0	0	0	0	0	0
	女	16	2.6	16	0	0	0	0	0	0
054 症状性を含む器質性精神障害	合計	7	0.7	7	0	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	2	0	0	0	0	0	0
	女	5	0.8	5	0	0	0	0	0	0
055 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	合計	2	0.2	2	0	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	2	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
056 精神分裂症、分裂病型障害及び妄想性障害	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
057 気分[感情]障害	合計	2	0.2	2	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
058 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	合計	8	0.7	8	0	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	2	0	0	0	0	0	0
	女	6	1.0	6	0	0	0	0	0	0
059 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	合計	3	0.3	3	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	0.5	3	0	0	0	0	0	0
神経系の疾患	合計	28	2.6	25	1	0	0	0	2	1
	男	9	2.0	9	0	0	0	0	0	0
	女	19	3.1	16	1	0	0	0	2	1
066 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	1
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	1
067 錐体外路障害及び異常運動	合計	4	0.4	4	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	0.6	4	0	0	0	0	0	0
068 神経系のその他の変性疾患	合計	4	0.4	4	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	0.6	4	0	0	0	0	0	0
070 挿間性及び発作性障害	合計	15	1.4	14	1	0	0	0	0	0
	男	9	2.0	9	0	0	0	0	0	0
	女	6	1.0	5	1	0	0	0	0	0
071 神経、神経根及び神経そと<叢>の障害	合計	3	0.3	1	0	0	0	0	2	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	0.5	1	0	0	0	0	2	0
075 神経系のその他の障害	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
眼及び付属器の疾患	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
耳及び乳様突起の疾患	合計	9	0.8	8	1	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	1	1	0	0	0	0	0
	女	7	1.1	7	0	0	0	0	0	0
089 内耳疾患	合計	9	0.8	8	1	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	1	1	0	0	0	0	0
	女	7	1.1	7	0	0	0	0	0	0
循環器系の疾患	合計	158	14.7	155	3	0	0	0	0	24
	男	71	15.5	71	0	0	0	0	0	14
	女	87	14.1	84	3	0	0	0	0	10

診療科別(大分類・中分類)  
(2005/04/01-2006/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	小児科	眼科	耳鼻科	整形外	死亡
093 高血圧性疾患	合計	8	0.7	8	0	0	0	0	0	0
	男	3	0.7	3	0	0	0	0	0	0
	女	5	0.8	5	0	0	0	0	0	0
094 虚血性心疾患	合計	26	2.4	26	0	0	0	0	0	9
	男	12	2.6	12	0	0	0	0	0	6
	女	14	2.3	14	0	0	0	0	0	3
095 肺性心疾患及び肺循環疾患	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	1
	男	1	0.2	1	0	0	0	0	0	1
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
096 その他の型の心疾患	合計	53	4.9	53	0	0	0	0	0	5
	男	19	4.2	19	0	0	0	0	0	3
	女	34	5.5	34	0	0	0	0	0	2
097 脳血管疾患	合計	64	5.9	63	1	0	0	0	0	7
	男	35	7.7	35	0	0	0	0	0	4
	女	29	4.7	28	1	0	0	0	0	3
098 動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	合計	4	0.4	2	2	0	0	0	0	2
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	0.6	2	2	0	0	0	0	2
099 静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
100 循環器系のその他及び詳細不明の障害	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器系の疾患	合計	198	18.4	118	2	77	0	0	1	20
	男	104	22.8	64	2	38	0	0	0	15
	女	94	15.2	54	0	39	0	0	1	5
101 急性上気道感染症	合計	17	1.6	12	0	5	0	0	0	0
	男	7	1.5	4	0	3	0	0	0	0
	女	10	1.6	8	0	2	0	0	0	0
102 インフルエンザ及び肺炎	合計	101	9.4	66	0	35	0	0	0	18
	男	53	11.6	38	0	15	0	0	0	13
	女	48	7.8	28	0	20	0	0	0	5
103 その他の急性下気道感染症	合計	38	3.5	16	1	20	0	0	1	0
	男	19	4.2	6	1	12	0	0	0	0
	女	19	3.1	10	0	8	0	0	1	0
105 慢性下気道疾患	合計	24	2.2	7	0	17	0	0	0	0
	男	14	3.1	6	0	8	0	0	0	0
	女	10	1.6	1	0	9	0	0	0	0
106 外的因子による肺疾患	合計	6	0.6	5	1	0	0	0	0	1
	男	2	0.4	1	1	0	0	0	0	1
	女	4	0.6	4	0	0	0	0	0	0
107 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	合計	2	0.2	2	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	0.3	2	0	0	0	0	0	0
108 下気道の化膿性及び<壊>死性病態	合計	3	0.3	3	0	0	0	0	0	0
	男	3	0.7	3	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
109 胸膜のその他の疾患	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
110 呼吸器系のその他の疾患	合計	6	0.6	6	0	0	0	0	0	1
	男	5	1.1	5	0	0	0	0	0	1
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
消化器系の疾患	合計	95	8.8	80	15	0	0	0	0	5
	男	34	7.4	26	8	0	0	0	0	1
	女	61	9.9	54	7	0	0	0	0	4
112 食道、胃及び十二指腸の疾患	合計	31	2.9	27	4	0	0	0	0	1
	男	12	2.6	10	2	0	0	0	0	0
	女	19	3.1	17	2	0	0	0	0	1
114 ヘルニア	合計	7	0.7	1	6	0	0	0	0	0
	男	4	0.9	1	3	0	0	0	0	0
	女	3	0.5	0	3	0	0	0	0	0
116 腸のその他の疾患	合計	20	1.9	19	1	0	0	0	0	0
	男	7	1.5	7	0	0	0	0	0	0
	女	13	2.1	12	1	0	0	0	0	0
118 肝疾患	合計	9	0.8	8	1	0	0	0	0	2
	男	4	0.9	3	1	0	0	0	0	1
	女	5	0.8	5	0	0	0	0	0	1



診療科別(大分類・中分類)  
(2005/04/01-2006/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	小児科	眼科	耳鼻科	整形外	死亡
119 胆のう<嚢>、胆管及び膵の障害	合計	20	1.9	20	0	0	0	0	0	1
	男	3	0.7	3	0	0	0	0	0	0
	女	17	2.7	17	0	0	0	0	0	1
120 消化器系のその他の疾患	合計	8	0.7	5	3	0	0	0	0	1
	男	4	0.9	2	2	0	0	0	0	0
	女	4	0.6	3	1	0	0	0	0	1
皮膚及び皮下組織の疾患	合計	18	1.7	11	5	2	0	0	0	1
	男	10	2.2	5	3	2	0	0	0	0
	女	8	1.3	6	2	0	0	0	0	1
121 皮膚及び皮下組織の感染症	合計	5	0.5	2	1	2	0	0	0	0
	男	3	0.7	1	0	2	0	0	0	0
	女	2	0.3	1	1	0	0	0	0	0
122 水疱症	合計	1	0.1	0	1	0	0	0	0	1
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	0	1	0	0	0	0	1
123 皮膚炎及び湿疹	合計	2	0.2	2	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
125 じんま<蕁麻>疹及び紅斑	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
127 皮膚付属器の障害	合計	1	0.1	0	1	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	0	1	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
128 皮膚及び皮下組織のその他の障害	合計	8	0.7	6	2	0	0	0	0	0
	男	5	1.1	3	2	0	0	0	0	0
	女	3	0.5	3	0	0	0	0	0	0
筋骨格系及び結合組織の疾患	合計	17	1.6	4	6	0	0	0	7	0
	男	8	1.8	2	2	0	0	0	4	0
	女	9	1.5	2	4	0	0	0	3	0
131 関節症	合計	2	0.2	0	0	0	0	0	2	0
	男	1	0.2	0	0	0	0	0	1	0
	女	1	0.2	0	0	0	0	0	1	0
132 その他の関節障害	合計	3	0.3	0	2	0	0	0	1	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	0.5	0	2	0	0	0	1	0
135 脊椎障害	合計	5	0.5	3	2	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	1	1	0	0	0	0	0
	女	3	0.5	2	1	0	0	0	0	0
136 その他の脊柱障害	合計	3	0.3	0	2	0	0	0	1	0
	男	1	0.2	0	1	0	0	0	0	0
	女	2	0.3	0	1	0	0	0	1	0
139 その他の軟部組織障害	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
141 その他の骨障害	合計	3	0.3	0	0	0	0	0	3	0
	男	3	0.7	0	0	0	0	0	3	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
尿路性器系の疾患	合計	68	6.3	60	8	0	0	0	0	4
	男	18	3.9	17	1	0	0	0	0	1
	女	50	8.1	43	7	0	0	0	0	3
145 腎尿細管間質性疾患	合計	54	5.0	46	8	0	0	0	0	4
	男	14	3.1	13	1	0	0	0	0	1
	女	40	6.5	33	7	0	0	0	0	3
146 腎不全	合計	2	0.2	2	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	0.3	2	0	0	0	0	0	0
147 尿路結石症	合計	3	0.3	3	0	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	2	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
149 尿路系のその他の疾患	合計	9	0.8	9	0	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	2	0	0	0	0	0	0
	女	7	1.1	7	0	0	0	0	0	0
妊娠、分娩及び産じょく<褥>	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
周産期に発生した病態	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0

診療科別(大分類・中分類)  
(2005/04/01-2006/03/31)

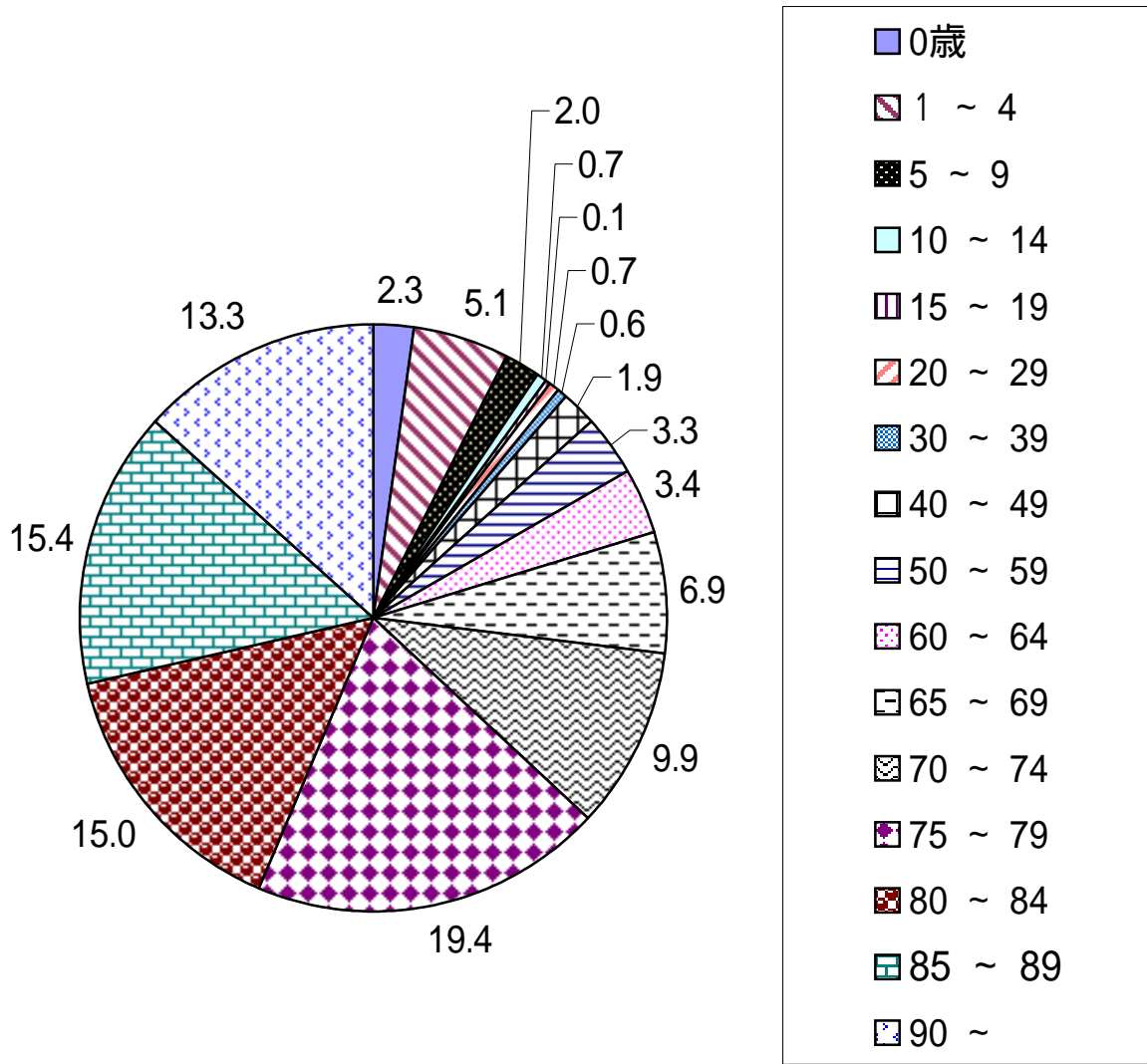
		総数	構成比(%)	内科	外科	小児科	眼科	耳鼻科	整形外	死亡
先天奇形、変形及び染色体異常	合計	1	0.1	0	1	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	0	1	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
178 消化器系のその他の先天奇形	合計	1	0.1	0	1	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	0	1	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	合計	89	8.3	72	5	12	0	0	0	1
	男	35	7.7	28	2	5	0	0	0	0
	女	54	8.7	44	3	7	0	0	0	1
184 循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	合計	11	1.0	8	3	0	0	0	0	0
	男	8	1.8	6	2	0	0	0	0	0
	女	3	0.5	2	1	0	0	0	0	0
185 消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	合計	15	1.4	9	0	6	0	0	0	0
	男	4	0.9	3	0	1	0	0	0	0
	女	11	1.8	6	0	5	0	0	0	0
187 神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
188 尿路系に関する症状及び徴候	合計	2	0.2	2	0	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	2	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
189 認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	合計	41	3.8	40	1	0	0	0	0	0
	男	12	2.6	12	0	0	0	0	0	0
	女	29	4.7	28	1	0	0	0	0	0
191 全身症状及び徴候	合計	18	1.7	11	1	6	0	0	0	1
	男	8	1.8	4	0	4	0	0	0	0
	女	10	1.6	7	1	2	0	0	0	1
195 画像診断及び機能検査における異常所見、診断名の記載がないもの	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
損傷、中毒及びその他の外因の影響	合計	108	10.0	31	40	0	0	0	37	2
	男	36	7.9	14	16	0	0	0	6	2
	女	72	11.6	17	24	0	0	0	31	0
197 頭部損傷	合計	12	1.1	3	9	0	0	0	0	1
	男	7	1.5	1	6	0	0	0	0	1
	女	5	0.8	2	3	0	0	0	0	0
198 頸部損傷	合計	2	0.2	1	0	0	0	0	1	0
	男	1	0.2	0	0	0	0	0	1	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
199 胸部<郭>損傷	合計	10	0.9	2	5	0	0	0	3	0
	男	3	0.7	1	2	0	0	0	0	0
	女	7	1.1	1	3	0	0	0	3	0
200 腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	合計	14	1.3	1	9	0	0	0	4	0
	男	2	0.4	1	1	0	0	0	0	0
	女	12	1.9	0	8	0	0	0	4	0
201 肩及び上腕の損傷	合計	6	0.6	0	2	0	0	0	4	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	6	1.0	0	2	0	0	0	4	0
202 肘及び前腕の損傷	合計	6	0.6	0	0	0	0	0	6	0
	男	1	0.2	0	0	0	0	0	1	0
	女	5	0.8	0	0	0	0	0	5	0
203 手首及び手の損傷	合計	2	0.2	0	0	0	0	0	2	0
	男	1	0.2	0	0	0	0	0	1	0
	女	1	0.2	0	0	0	0	0	1	0
204 股関節部及び大腿の損傷	合計	11	1.0	1	4	0	0	0	6	0
	男	1	0.2	0	1	0	0	0	0	0
	女	10	1.6	1	3	0	0	0	6	0
205 膝及び下腿の損傷	合計	15	1.4	0	6	0	0	0	9	0
	男	6	1.3	0	4	0	0	0	2	0
	女	9	1.5	0	2	0	0	0	7	0
206 足首及び足の損傷	合計	2	0.2	0	0	0	0	0	2	0
	男	1	0.2	0	0	0	0	0	1	0
	女	1	0.2	0	0	0	0	0	1	0
209 自然開口部からの異物侵入の作用	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
210 体表の熱傷及び腐食、明示された部位	合計	1	0.1	0	1	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	0	1	0	0	0	0	0

診療科別(大分類・中分類)  
(2005/04/01-2006/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	小児科	眼科	耳鼻科	整形外	死亡
214 薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	合計	9	0.8	9	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
	女	8	1.3	8	0	0	0	0	0	0
215 薬用を主としない物質の毒作用	合計	8	0.7	4	4	0	0	0	0	1
	男	6	1.3	4	2	0	0	0	0	1
	女	2	0.3	0	2	0	0	0	0	0
216 外因のその他及び詳細不明の作用	合計	7	0.7	7	0	0	0	0	0	0
	男	5	1.1	5	0	0	0	0	0	0
	女	2	0.3	2	0	0	0	0	0	0
218 外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
219 損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	合計	1	0.1	1	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0.2	1	0	0	0	0	0	0
傷病及び死亡の外因	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	合計	1	0.1	0	1	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	0	1	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
226 家族歴、既往歴及び健康状態に影響を及ぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	合計	1	0.1	0	1	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	0	1	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0

. 年齢階層別

年齢階層別退院患者数比率



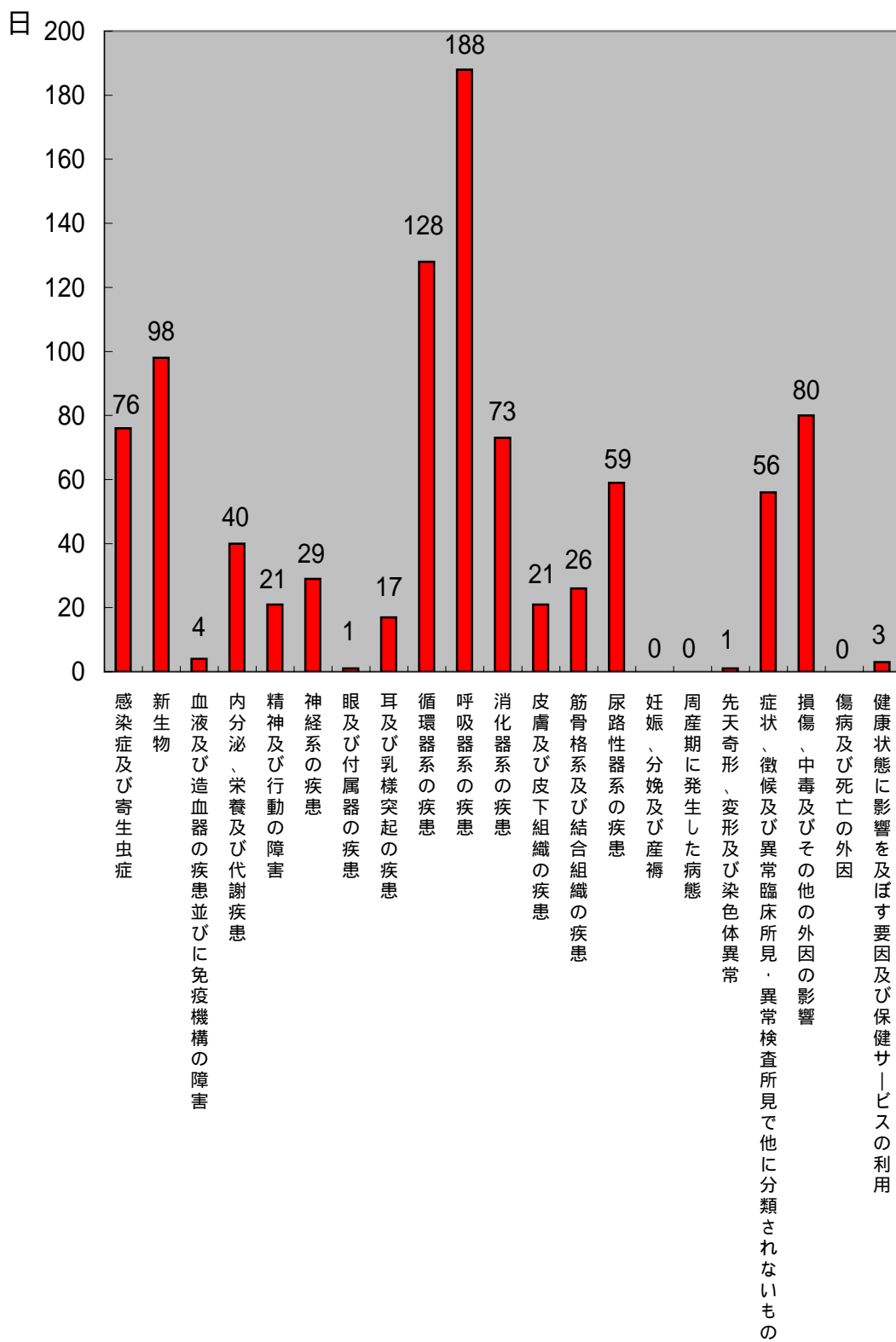
年齢階層別

(2005/04/01 - 2006/03/31)

		総数	構成比 (%)	平均年齢	0歳	1歳	5歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳
					4	9	14	19	29	39	49	59	64	69	74	79	84	89		
総数	合計	1,076	100.0	70.4	25	55	21	8	1	8	6	20	36	37	74	106	209	161	166	143
	男	457	42.5	65.5	15	30	10	2	0	7	1	13	20	24	40	55	92	76	37	35
	女	619	57.5	74.0	10	25	11	6	1	1	5	7	16	13	34	51	117	85	129	108
構成比 (%)	合計		100.0		2.3	5.1	2.0	0.7	0.1	0.7	0.6	1.9	3.3	3.4	6.9	9.9	19.4	15.0	15.4	13.3
	男		100.0		3.3	6.6	2.2	0.4	0.0	1.5	0.2	2.8	4.4	5.3	8.8	12.0	20.1	16.6	8.1	7.7
	女		100.0		1.6	4.0	1.8	1.0	0.2	0.2	0.8	1.1	2.6	2.1	5.5	8.2	18.9	13.7	20.8	17.4
感染症及び寄生虫症	合計	42	3.9	49.7	8	4	2	1	0	0	0	0	3	0	3	5	5	5	3	3
	男	24	5.3	41.4	7	2	2	0	0	0	0	0	1	0	1	4	2	4	1	0
	女	18	2.9	60.8	1	2	0	1	0	0	0	0	2	0	2	1	3	1	2	3
新生物	合計	174	16.2	75.9	0	0	0	0	0	0	0	2	4	12	16	40	55	18	14	13
	男	78	17.1	74.6	0	0	0	0	0	0	0	2	2	10	7	23	16	9	6	5
	女	96	15.5	77.0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	9	17	39	9	8	8
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	合計	7	0.7	80.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	2
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	7	1.1	80.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	2
内分泌、栄養及び代謝疾患	合計	40	3.7	75.6	0	0	0	0	0	0	0	5	4	2	7	8	4	6	4	1
	男	19	4.2	72.6	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	3	2	2	2	4	1
	女	21	3.4	78.3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	4	6	2	2	3	3
精神及び行動の障害	合計	23	2.1	75.9	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	2	1	5	2	4	5
	男	7	1.5	70.3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	2
	女	16	2.6	78.3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	4	1	4	3
神経系の疾患	合計	28	2.6	76.2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	2	9	7	2	3
	男	9	2.0	76.1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4	1	0	2
	女	19	3.1	76.2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	5	6	2	1
眼及び付属器の疾患	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳及び乳様突起の疾患	合計	9	0.8	71.3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	1	2	2	0	0
	男	2	0.4	68.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	女	7	1.1	72.3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	2	2	0	0
循環器系の疾患	合計	158	14.7	81.8	0	0	0	0	0	0	0	1	2	7	13	10	20	34	35	36
	男	71	15.5	78.2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	8	9	15	16	8	10
	女	87	14.1	84.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	1	5	18	27	26
呼吸器系の疾患	合計	198	18.4	50.4	14	43	16	4	1	1	1	3	1	0	2	10	27	33	17	25
	男	104	22.8	50.3	8	22	7	1	0	1	1	3	0	0	2	5	19	20	9	6
	女	94	15.2	50.4	6	21	9	3	1	0	0	0	1	0	0	5	8	13	8	19
消化器系の疾患	合計	95	8.8	76.3	0	0	1	0	0	0	2	4	7	2	9	7	11	17	22	13
	男	34	7.4	71.9	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	6	2	5	7	2	4
	女	61	9.9	78.7	0	0	1	0	0	0	2	0	4	1	3	5	6	10	20	9
皮膚及び皮下組織の疾患	合計	18	1.7	73.9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	2	5	4
	男	10	2.2	62.9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	1
	女	8	1.3	87.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	3
筋骨格系及び結合組織の疾患	合計	17	1.6	79.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	7	3	1	3
	男	8	1.8	77.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	2	0	1
	女	9	1.5	81.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	1	2
尿路器系の疾患	合計	68	6.3	83.9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	13	11	21	16
	男	18	3.9	78.8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	8	5	2	1
	女	50	8.1	85.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	5	6	19	15
妊娠、分娩及び産後<褥>	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周産期に発生した病態	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天奇形、変形及び染色体異常	合計	1	0.1	87.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	87.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	合計	89	8.3	66.0	3	6	2	2	0	1	0	3	3	4	6	6	16	16	19	2
	男	35	7.7	60.9	0	4	1	0	0	1	0	2	2	2	4	4	7	6	2	0
	女	54	8.7	69.2	3	2	1	2	0	0	0	1	1	2	2	2	9	10	17	2
損傷、中毒及びその他の外因の影響	合計	108	10.0	72.5	0	0	0	1	0	5	2	4	7	5	11	10	26	7	16	14
	男	36	7.9	62.6	0	0	0	1	0	4	0	3	3	4	5	4	8	1	1	2
	女	72	11.6	77.4	0	0	0	0	0	1	2	1	4	1	6	6	18	6	15	12
傷病及び死亡の外因	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	合計	1	0.1	68.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	68.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・在院期間別

平均日数



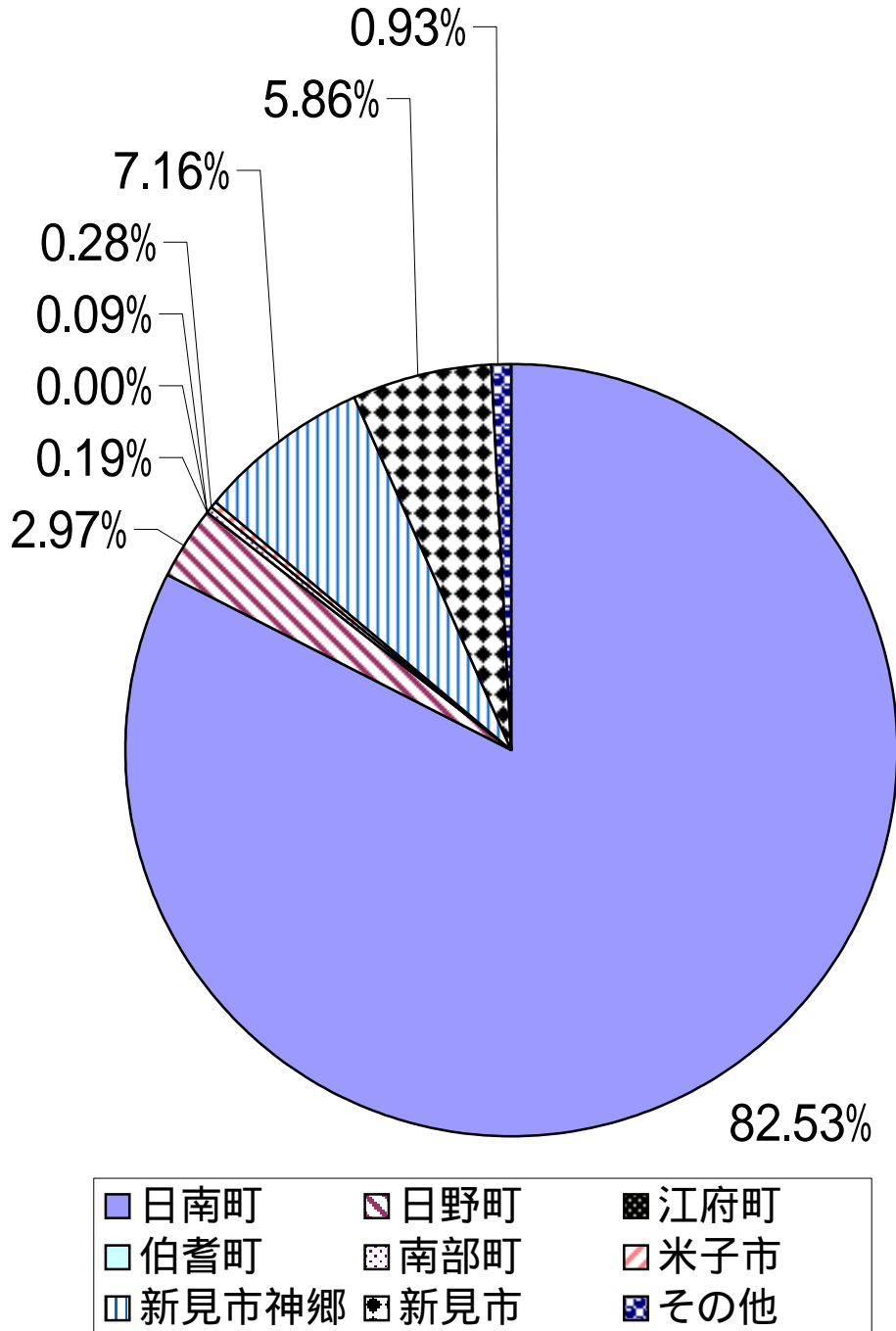
# 在院期間別

(2005/04/01-2006/03/31)

		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
総数	合計	1,076	100.0	22,320	20.7	562	191	102	59	80	37	28	15	2	0
	男	457	42.5	9,832	21.5	245	76	42	28	29	14	13	9	1	0
	女	619	57.5	12,488	20.2	317	115	60	31	51	23	15	6	1	0
構成比 (%)	合計		100.0			52.2	17.8	9.5	5.5	7.4	3.4	2.6	1.4	0.2	0.0
	男		100.0			53.6	16.6	9.2	6.1	6.3	3.1	2.8	2.0	0.2	0.0
	女		100.0			51.2	18.6	9.7	5.0	8.2	3.7	2.4	1.0	0.2	0.0
感染症及び寄生虫症	合計	42	3.9	555	13.2	24	6	3	4	4	1	0	0	0	0
	男	24	5.3	309	12.9	17	2	0	2	2	1	0	0	0	0
	女	18	2.9	246	13.7	7	4	3	2	2	0	0	0	0	0
新生物	合計	174	16.2	2,525	14.5	125	15	10	8	6	5	2	3	0	0
	男	78	17.1	1,103	14.1	56	7	5	5	2	1	0	2	0	0
	女	96	15.5	1,422	14.8	69	8	5	3	4	4	2	1	0	0
血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	合計	7	0.7	75	10.7	4	1	1	0	1	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	7	1.1	75	10.7	4	1	1	0	1	0	0	0	0	0
内分泌、栄養及び代謝疾患	合計	40	3.7	913	22.8	9	15	5	4	3	3	1	0	0	0
	男	19	4.2	394	20.7	5	3	5	3	2	1	0	0	0	0
	女	21	3.4	519	24.7	4	12	0	1	1	2	1	0	0	0
精神及び行動の障害	合計	23	2.1	526	22.9	11	3	3	0	4	1	1	0	0	0
	男	7	1.5	205	29.3	3	1	1	0	1	0	1	0	0	0
	女	16	2.6	321	20.1	8	2	2	0	3	1	0	0	0	0
神経系の疾患	合計	28	2.6	866	30.9	13	3	3	2	4	1	1	1	0	0
	男	9	2.0	55	6.1	7	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	女	19	3.1	811	42.7	6	2	2	2	4	1	1	1	0	0
眼及び付属器の疾患	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳及び乳様突起の疾患	合計	9	0.8	83	9.2	6	2	0	1	0	0	0	0	0	0
	男	2	0.4	44	22.0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	女	7	1.1	39	5.6	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器系の疾患	合計	158	14.7	4,682	29.6	65	25	23	8	20	10	3	3	1	0
	男	71	15.5	2,026	28.5	27	12	12	3	8	5	2	2	0	0
	女	87	14.1	2,656	30.5	38	13	11	5	12	5	1	1	1	0
呼吸器系の疾患	合計	198	18.4	4,350	22.0	112	33	15	8	10	6	10	4	0	0
	男	104	22.8	2,758	26.5	54	16	8	6	7	4	6	3	0	0
	女	94	15.2	1,592	16.9	58	17	7	2	3	2	4	1	0	0
消化器系の疾患	合計	95	8.8	1,517	16.0	39	30	8	7	7	2	2	0	0	0
	男	34	7.4	543	16.0	13	13	3	1	2	1	1	0	0	0
	女	61	9.9	974	16.0	26	17	5	6	5	1	1	0	0	0
皮膚及び皮下組織の疾患	合計	18	1.7	677	37.6	7	4	3	1	1	0	1	1	0	0
	男	10	2.2	460	46.0	4	2	1	1	1	0	0	1	0	0
	女	8	1.3	217	27.1	3	2	2	0	0	0	1	0	0	0
筋骨格系及び結合組織の疾患	合計	17	1.6	252	14.8	8	3	3	1	2	0	0	0	0	0
	男	8	1.8	139	17.4	3	3	0	1	1	0	0	0	0	0
	女	9	1.5	113	12.6	5	0	3	0	1	0	0	0	0	0
泌尿器系の疾患	合計	68	6.3	1,000	14.7	30	23	6	3	3	2	1	0	0	0
	男	18	3.9	263	14.6	8	5	3	1	0	1	0	0	0	0
	女	50	8.1	737	14.7	22	18	3	2	3	1	1	0	0	0
妊娠、分娩及び産じょく<褥>	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周産期に発生した病態	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天奇形、変形及び染色体異常	合計	1	0.1	11	11.0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	11	11.0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	合計	89	8.3	1,027	11.5	61	11	6	4	5	0	2	0	0	0
	男	35	7.7	529	15.1	23	4	1	3	2	0	2	0	0	0
	女	54	8.7	498	9.2	38	7	5	1	3	0	0	0	0	0
損傷、中毒及びその他の外因の影響	合計	108	10.0	3,222	29.8	48	16	13	8	9	6	4	3	1	0
	男	36	7.9	954	26.5	25	5	2	1	0	0	1	1	1	0
	女	72	11.6	2,268	31.5	23	11	11	7	9	6	3	2	0	0
傷病及び死亡の外因	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	合計	1	0.1	39	39.0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	39	39.0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地域別患者数

地域別入院患者比率





疾病大分類別・診療圏別  
(2005/04/01-2006/03/31)

		総数	構成比 (%)	河上	宮内	矢戸	三栄	丸山	霞	生山	茶屋	笠木	福万来	佐木谷	福寿実	阿毘縁	下阿毘縁	折渡	印賀	宝谷	菅沢
総数	合計	1,076	100.0	16	18	17	27	14	45	49	35	35	12	6	18	36	26	11	30	9	7
	男	457	42.5	4	4	5	15	7	15	29	10	15	4	3	7	15	10	4	10	5	2
	女	619	57.5	12	14	12	12	7	30	20	25	20	8	3	11	21	16	7	20	4	5
構成比 (%)	合計		100.0	1.5	1.7	1.6	2.5	1.3	4.2	4.6	3.3	3.3	1.1	0.6	1.7	3.3	2.4	1.0	2.8	0.8	0.7
	男		100.0	0.9	0.9	1.1	3.3	1.5	3.3	6.3	2.2	3.3	0.9	0.7	1.5	3.3	2.2	0.9	2.2	1.1	0.4
	女		100.0	1.9	2.3	1.9	1.9	1.1	4.8	3.2	4.0	3.2	1.3	0.5	1.8	3.4	2.6	1.1	3.2	0.6	0.8
感染症及び寄生虫症	合計	42	3.9	1	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0
	男	24	5.3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
	女	18	2.9	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
新生物	合計	174	16.2	2	2	1	1	6	9	6	2	8	3	2	4	10	11	1	6	1	2
	男	78	17.1	0	0	1	1	4	3	3	0	6	2	2	1	4	4	0	2	1	1
	女	96	15.5	2	2	0	0	2	6	3	2	2	1	0	3	6	7	1	4	0	1
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	合計	7	0.7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	7	1.1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
内分泌、栄養及び代謝疾患	合計	40	3.7	4	1	1	2	1	2	3	3	0	1	1	0	2	0	0	0	1	0
	男	19	4.2	0	1	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	女	21	3.4	4	0	0	0	0	2	3	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0
精神及び行動の障害	合計	23	2.1	0	0	3	0	0	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	男	7	1.5	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	女	16	2.6	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経系の疾患	合計	28	2.6	0	0	1	1	0	2	2	3	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0
	男	9	2.0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	女	19	3.1	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0
眼及び付属器の疾患	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳及び乳様突起の疾患	合計	9	0.8	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	男	2	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	7	1.1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
循環器系の疾患	合計	158	14.7	3	2	3	1	2	7	10	2	5	1	1	1	8	5	0	3	1	1
	男	71	15.5	2	0	0	0	1	3	7	1	4	0	0	1	4	2	0	1	1	1
	女	87	14.1	1	2	3	1	1	4	3	1	1	1	1	0	4	3	0	2	0	0
呼吸器系の疾患	合計	198	18.4	3	2	3	10	1	9	17	5	3	0	1	4	1	2	1	7	1	2
	男	104	22.8	1	1	3	7	1	2	11	1	2	0	1	2	0	2	1	2	0	0
	女	94	15.2	2	1	0	3	0	7	6	4	1	0	0	2	1	0	0	5	1	2
消化器系の疾患	合計	95	8.8	0	5	2	2	0	2	2	5	4	3	0	3	2	1	1	2	3	0
	男	34	7.4	0	2	0	2	0	0	0	3	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0
	女	61	9.9	0	3	2	0	0	2	2	2	4	2	0	3	1	0	1	2	2	0
皮膚及び皮下組織の疾患	合計	18	1.7	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0
	男	10	2.2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	8	1.3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0
筋骨格系及び結合組織の疾患	合計	17	1.6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	0	0
	男	8	1.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0
	女	9	1.5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
尿路性器系の疾患	合計	68	6.3	0	0	1	1	0	2	0	3	7	0	0	0	6	0	2	1	0	1
	男	18	3.9	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	女	50	8.1	0	0	1	1	0	1	0	3	5	0	0	0	5	0	1	1	0	1
妊娠、分娩及び産じょく<褥>	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周産期に発生した病態	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天奇形、変形及び染色体異常	合計	1	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	合計	89	8.3	0	2	1	5	2	2	3	9	2	0	0	0	0	4	1	0	1	0
	男	35	7.7	0	0	0	1	0	1	3	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0
	女	54	8.7	0	2	1	4	2	1	0	9	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0
損傷、中毒及びその他の外因の影響	合計	108	10.0	2	4	1	4	1	3	3	2	2	3	1	0	2	2	3	5	1	1
	男	36	7.9	0	0	0	2	0	0	3	1	0	1	0	0	1	0	1	2	0	0
	女	72	11.6	2	4	1	2	1	3	0	1	2	2	1	0	1	2	2	3	1	1
傷病及び死亡の外因	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	合計	1	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	1	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

疾病大分類別・診療圏別  
(2005/04/01-2006/03/31)

		多里	湯河	新屋	萩原	上萩山	花口	神戸上	上石見	中石見	下石見	三吉	福塚	神福	豊栄	日野町	江府町	伯耆町	南部町	米子市	新見市神郷	新見市	その他	
総数	合計	27	22	27	21	12	20	40	39	34	120	16	38	40	21	32	2	0	1	3	77	63	10	
	男	14	5	13	8	10	9	18	13	12	35	7	19	26	9	10	0	0	0	2	43	37	3	
	女	13	17	14	13	2	11	22	26	22	85	9	19	14	12	22	2	0	1	1	34	26	7	
構成比(%)	合計	2.5	2.0	2.5	2.0	1.1	1.9	3.7	3.6	3.2	11.2	1.5	3.5	3.7	2.0	3.0	0.2	0.0	0.1	0.3	7.2	5.9	0.9	
	男	3.1	1.1	2.8	1.8	2.2	2.0	3.9	2.8	2.6	7.7	1.5	4.2	5.7	2.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.4	9.4	8.1	0.7	
	女	2.1	2.7	2.3	2.1	0.3	1.8	3.6	4.2	3.6	13.7	1.5	3.1	2.3	1.9	3.6	0.3	0.0	0.2	0.2	5.5	4.2	1.1	
感染症及び寄生虫症	合計	0	1	2	0	1	0	2	0	1	3	0	0	2	1	4	0	0	0	0	6	8	1	
	男	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3	7	1
	女	0	1	1	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	1	3	0	0	0	0	3	1	0	
新生物	合計	5	1	3	2	1	5	12	18	4	12	4	8	5	6	4	0	0	0	0	6	0	1	
	男	1	1	1	1	1	4	6	4	1	6	1	5	3	2	1	0	0	0	0	5	0	0	
	女	4	0	2	1	0	1	6	14	3	6	3	3	2	4	3	0	0	0	0	1	0	1	
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	合計	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
内分泌、栄養及び代謝疾患	合計	1	1	3	0	0	1	0	1	2	3	0	0	3	0	1	0	0	0	0	2	0	0	
	男	1	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	2	0	0	
	女	0	1	1	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
精神及び行動の障害	合計	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	2	3	2	0	0	0	0	2	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	
	女	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	
神経系の疾患	合計	2	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
	男	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
眼及び付属器の疾患	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
耳及び乳様突起の疾患	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
循環器系の疾患	合計	7	4	2	7	4	2	8	5	6	16	3	9	5	3	3	0	0	0	0	17	0	1	
	男	5	0	1	3	3	1	4	2	0	4	3	4	2	1	2	0	0	0	0	8	0	0	
	女	2	4	1	4	1	1	4	3	6	12	0	5	3	2	1	0	0	0	0	9	0	1	
呼吸器系の疾患	合計	4	1	6	2	1	1	4	3	7	21	0	2	9	2	8	0	0	0	0	10	44	1	
	男	3	0	3	0	1	1	2	2	6	11	0	2	5	2	1	0	0	0	0	5	23	0	
	女	1	1	3	2	0	0	2	1	1	10	0	0	4	0	7	0	0	0	0	5	21	1	
消化器系の疾患	合計	4	0	4	4	1	1	1	3	1	15	2	3	3	2	3	0	0	0	1	9	1	0	
	男	3	0	1	2	1	0	0	2	0	1	1	2	3	1	0	0	0	0	0	5	1	0	
	女	1	0	3	2	0	1	1	1	1	14	1	1	0	1	3	0	0	0	1	4	0	0	
皮膚及び皮下組織の疾患	合計	0	0	0	1	0	0	1	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	
	男	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
筋骨格系及び結合組織の疾患	合計	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	
	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	女	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
尿路性器系の疾患	合計	0	5	3	0	1	1	3	1	4	17	1	0	1	1	1	0	0	0	0	5	0	0	
	男	0	2	2	0	1	0	0	0	0	5	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
	女	0	3	1	0	0	1	3	1	4	12	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	
妊娠、分娩及び産じょく<褥>	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
周産期に発生した病態	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
先天奇形、変形及び染色体異常	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	合計	3	3	0	4	1	5	4	0	3	10	1	4	1	1	2	1	0	0	1	6	7	0	
	男	0	2	0	1	1	1	2	0	3	2	1	2	0	1	1	0	0	0	1	4	4	0	
	女	3	1	0	3	0	4	2	0	0	8	0	2	1	0	1	1	0	0	0	2	3	0	
損傷、中毒及びその他の外因の影響	合計	1	4	3	0	1	1	4	5	6	13	2	5	2	2	3	0	0	1	1	8	0	6	
	男	0	0	2	0	1	0	2	0	2	2	0	2	2	2	1	0	0	0	1	6	0	2	
	女	1	4	1	0	0	1	2	5	4	11	2	3	0	0	2	0	0	1	1	2	0	4	
傷病及び死亡の外因	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 疾病中分類別・上位疾病別・病名数

(2005/04/01-2006/03/31)

番号	順位	コード	分類名	男	女	計
1	1	102	インフルエンザ及び肺炎	53	48	101
2	2	023	消化器の悪性新生物	41	45	86
3	3	097	脳血管疾患	35	29	64
4	4	038	良性新生物	27	30	57
5	5	145	腎尿細管間質性疾患	14	40	54
6	6	096	その他の型の心疾患	19	34	53
7	7	189	認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	12	29	41
8	8	103	その他の急性下気道感染症	19	19	38
9	9	112	食道、胃及び十二指腸の疾患	12	19	31
10	10	094	虚血性心疾患	12	14	26
11	11	105	慢性下気道疾患	14	10	24
12	12	001	腸管感染症	12	10	22
13	13	047	糖尿病	11	10	21
14	14	116	腸のその他の疾患	7	13	20
15	14	119	胆のう<嚢>、胆管及び膵の障害	3	17	20
16	16	039	性状不詳又は不明の新生物	1	17	18
17	16	191	全身症状及び徴候	8	10	18
18	18	101	急性上気道感染症	7	10	17
19	19	070	挿間性及び発作性障害	9	6	15
20	19	185	消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	4	11	15
21	19	205	膝及び下腿の損傷	6	9	15
22	22	200	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	2	12	14
23	23	197	頭部損傷	7	5	12
24	24	011	皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	6	5	11
25	24	184	循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	8	3	11
26	24	204	股関節部及び大腿の損傷	1	10	11
27	27	199	胸部<郭>損傷	3	7	10
28	28	089	内耳疾患	2	7	9
29	28	118	肝疾患	4	5	9

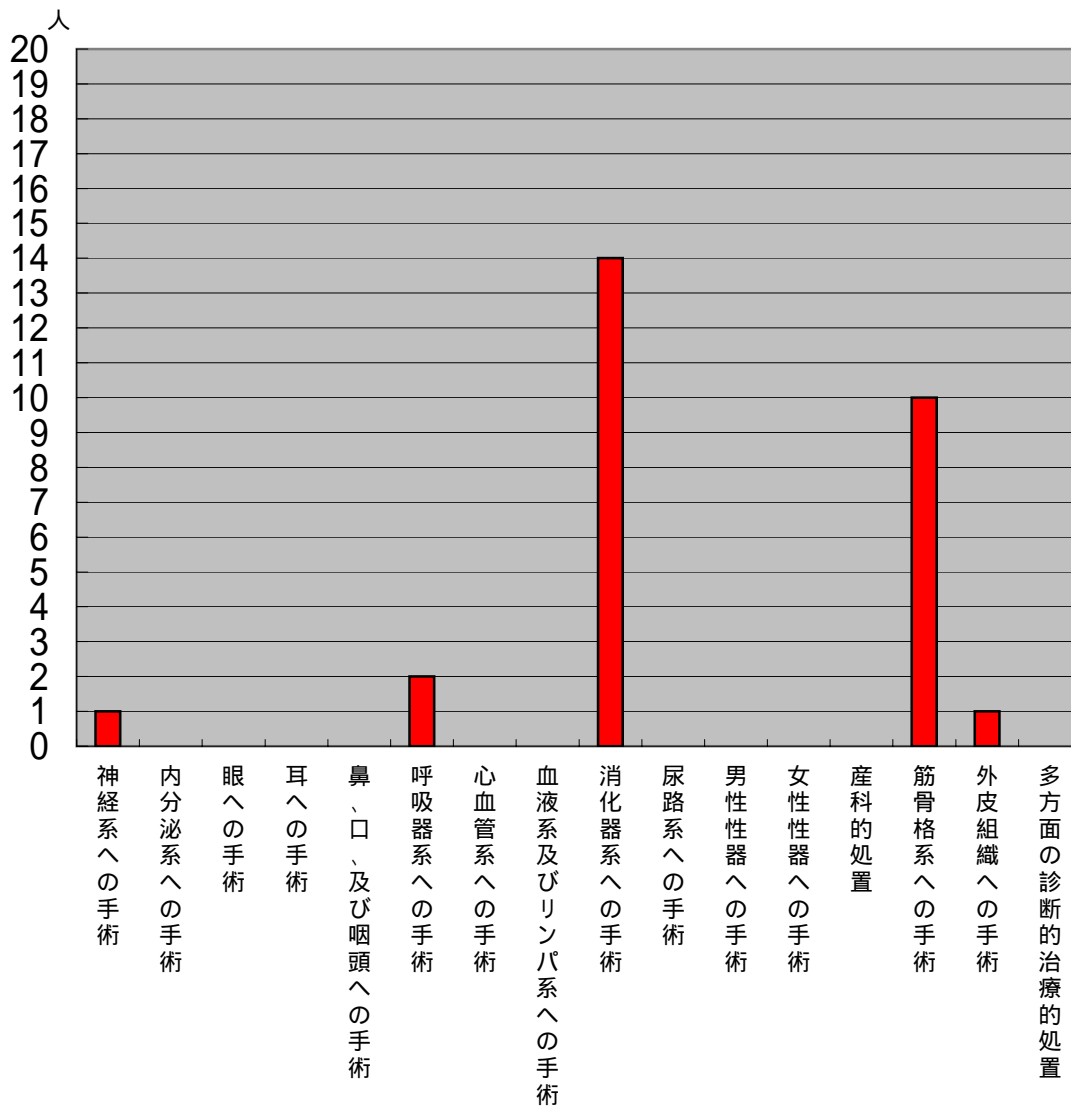
## 2. 科別死亡患者集計

診療科	死亡患者数			在院日数		剖検数		
	合計	男	女	延べ日数	平均日数	合計	男	女
合計	84	45	39	5,589	67	0	0	0
内科	77	42	35	4,976	65	0	0	0
外科	7	3	4	613	88	0	0	0
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0

### . 上記7位死亡疾病

順位	コード	中分類	男	女	計
1	J10-J18	インフルエンザ及び肺炎	13	5	18
2	C15-C26	消化器の悪性新生物	6	11	17
3	I20-I25	虚血性心疾患	6	3	9
4	I60-I69	脳血管疾患	4	3	7
5	I30-I52	その他の型の心疾患	3	2	5
6	C30-C39	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	3	1	4
6	N10-N16	腎尿細管間質性疾患	1	3	4
7	I80-I89	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	0	2	2
7	K70-K77	肝疾患	1	1	2

### 3. 手術別退院患者数

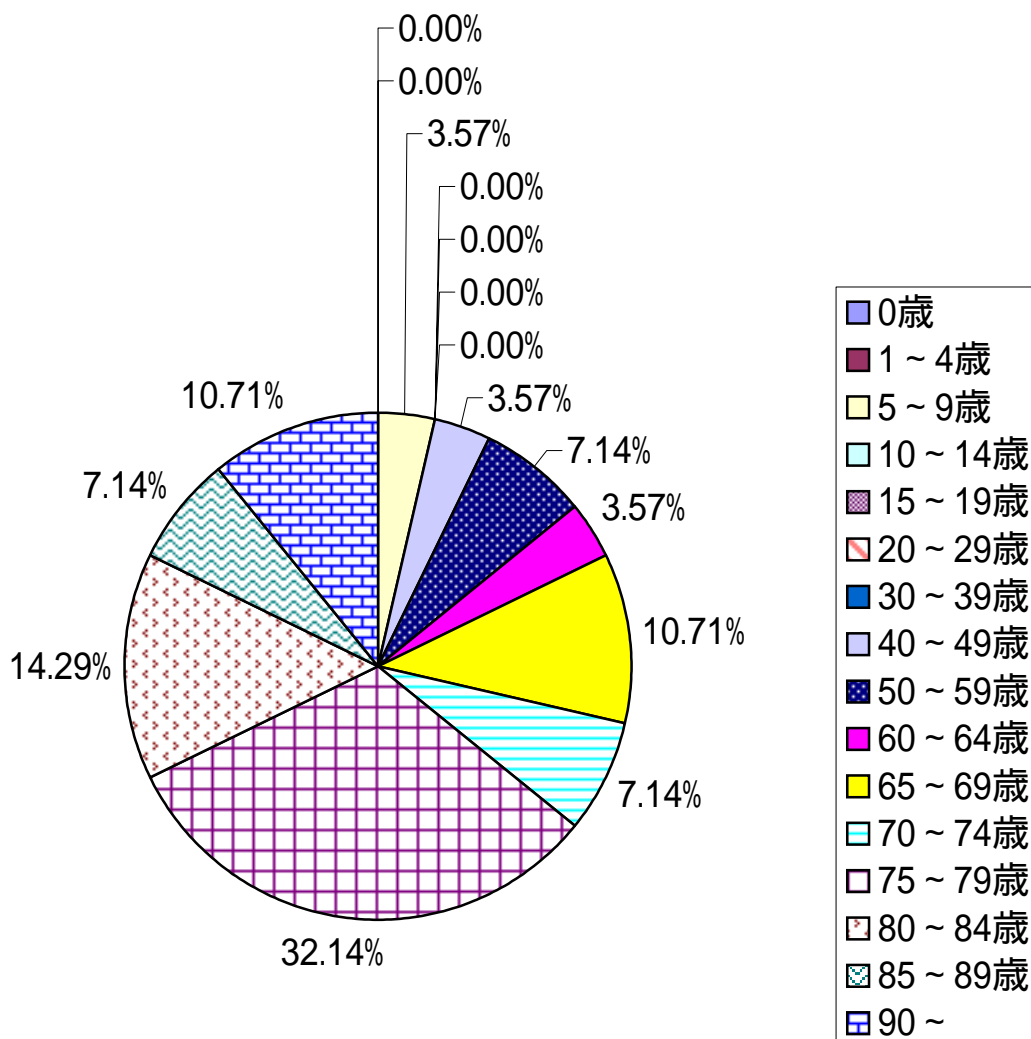


# 診療科別・手術数

(2005/04/01-2006/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	小児科	眼科	耳鼻科	整形外
総数	合計	28	100.0	7	10	0	0	0	11
	男	6	21.4	4	2	0	0	0	0
	女	22	78.6	3	8	0	0	0	11
構成比(%)	合計		100.0	25.0	35.7	0.0	0.0	0.0	39.3
	男		100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	女		100.0	13.6	36.4	0.0	0.0	0.0	50.0
神経系への手術	合計	1	3.6	0	0	0	0	0	1
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	1	4.5	0	0	0	0	0	1
内分泌系への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0
眼への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0
耳への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0
鼻、口、及び咽頭への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0
呼吸器系への手術	合計	2	7.1	2	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	2	9.1	2	0	0	0	0	0
心血管系への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0
血液系及びリンパ系への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0
消化器系への手術	合計	14	50.0	5	9	0	0	0	0
	男	6	100.0	4	2	0	0	0	0
	女	8	36.4	1	7	0	0	0	0
尿路系への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0
男性性器への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0
女性性器への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0
産科的処置	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0
筋骨格系への手術	合計	10	35.7	0	0	0	0	0	10
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	10	45.5	0	0	0	0	0	10
外皮組織への手術	合計	1	3.6	0	1	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	1	4.5	0	1	0	0	0	0
多方面の診断的治療的処置	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0

年齡階層別



年齢階層別・手術数

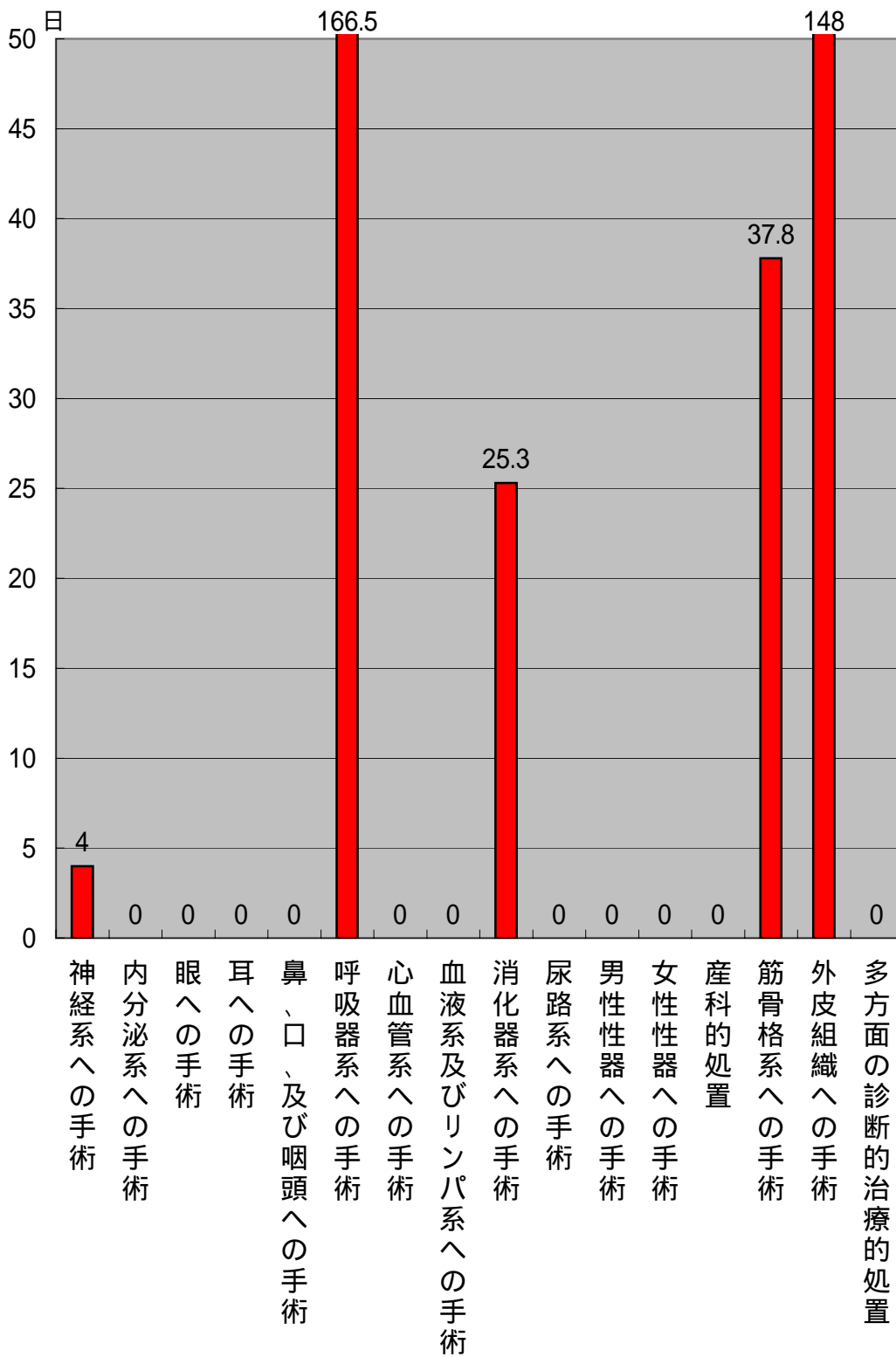
(2005/04/01-2006/03/31)

		総数	構成比 (%)	平均年齢	0歳	1	5	10	15	20	30	40	50	60	65	70	75	80	85	90
					歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
総数	合計	28	100.0	73.4	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	3	2	9	4	2	3
	男	6	21.4	66.2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3	0	0	0
	女	22	78.6	75.4	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	2	6	4	2	3
構成比 (%)	合計		100.0		0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	7.1	3.6	10.7	7.1	32.1	14.3	7.1	10.7
	男		100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	女		100.0		0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	9.1	9.1	27.3	18.2	9.1	13.6
神経系への手術	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内分泌系への手術	合計	1	3.6	75.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	4.5	75.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
眼への手術	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳への手術	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻、口、及び咽頭への手術	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器系への手術	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心血管系への手術	合計	2	7.1	90.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	9.1	90.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
血液系及びリンパ系への手術	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器系への手術	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尿路系への手術	合計	14	50.0	68.1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	4	2	2	0
	男	6	100.0	66.2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3	0	0	0
	女	8	36.4	69.6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	2	0
男性性器への手術	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性性器への手術	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産科的処置	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筋骨格系への手術	合計	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外皮組織への手術	合計	10	35.7	75.2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	4	1	0	1
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	10	45.5	75.2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	4	1	0	1
多方面の診断的治療的処置	合計	1	3.6	94.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	男	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	4.5	94.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1



・在院期間別

平均日数

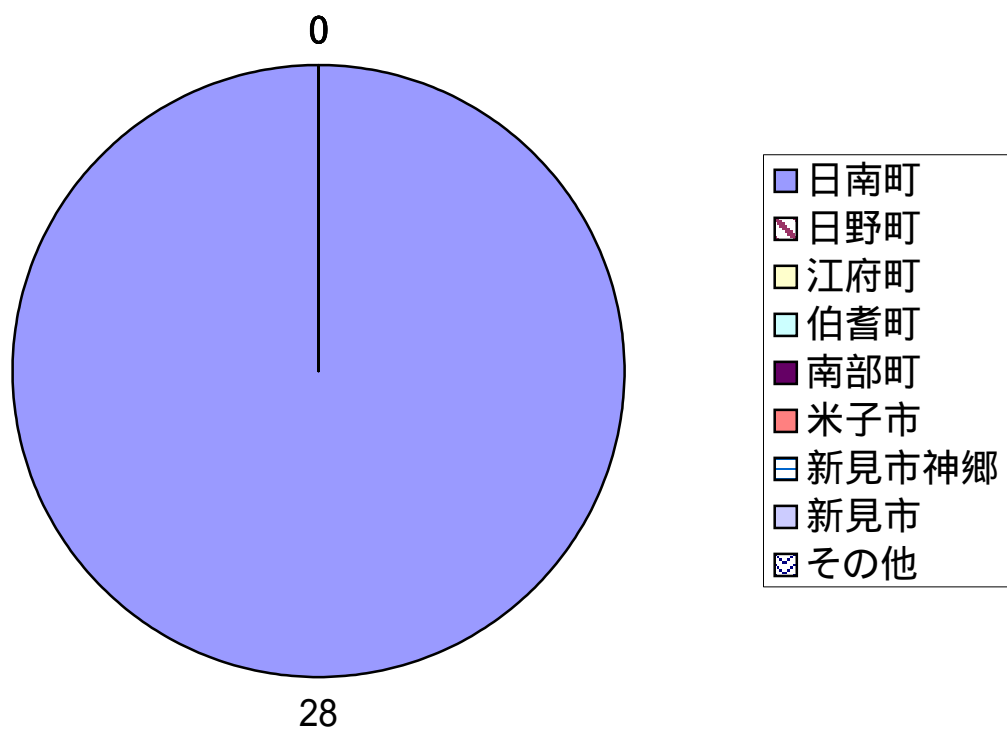


在院期間別・手術数

(2005/04/01-2006/03/31)

		総数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
総数	合計	28	100.0	1,217	43.5	5	6	2	5	3	4	2	1	0	0
	男	6	21.4	191	31.8	0	3	1	0	0	2	0	0	0	0
	女	22	78.6	1,026	46.6	5	3	1	5	3	2	2	1	0	0
構成比 (%)	合計		100.0			17.9	21.4	7.1	17.9	10.7	14.3	7.1	3.6	0.0	0.0
	男		100.0			0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	女		100.0			22.7	13.6	4.5	22.7	13.6	9.1	9.1	4.5	0.0	0.0
神経系への手術	合計	1	3.6	4	4.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	4.5	4	4.0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内分泌系への手術	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼への手術	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳への手術	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻、口、及び咽頭への手術	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器系への手術	合計	2	7.1	333	166.5	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	9.1	333	166.5	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
心血管系への手術	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液系及びリンパ系への手術	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器系への手術	合計	14	50.0	354	25.3	1	6	2	1	2	2	0	0	0	0
	男	6	100.0	191	31.8	0	3	1	0	0	2	0	0	0	0
	女	8	36.4	163	20.4	1	3	1	1	2	0	0	0	0	0
尿路系への手術	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性性器への手術	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性性器への手術	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産科的処置	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筋骨格系への手術	合計	10	35.7	378	37.8	3	0	0	3	1	2	1	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	10	45.5	378	37.8	3	0	0	3	1	2	1	0	0	0
外皮組織への手術	合計	1	3.6	148	148.0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	4.5	148	148.0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
多方面の診断的治療的処置	合計	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

. 地域別患者数



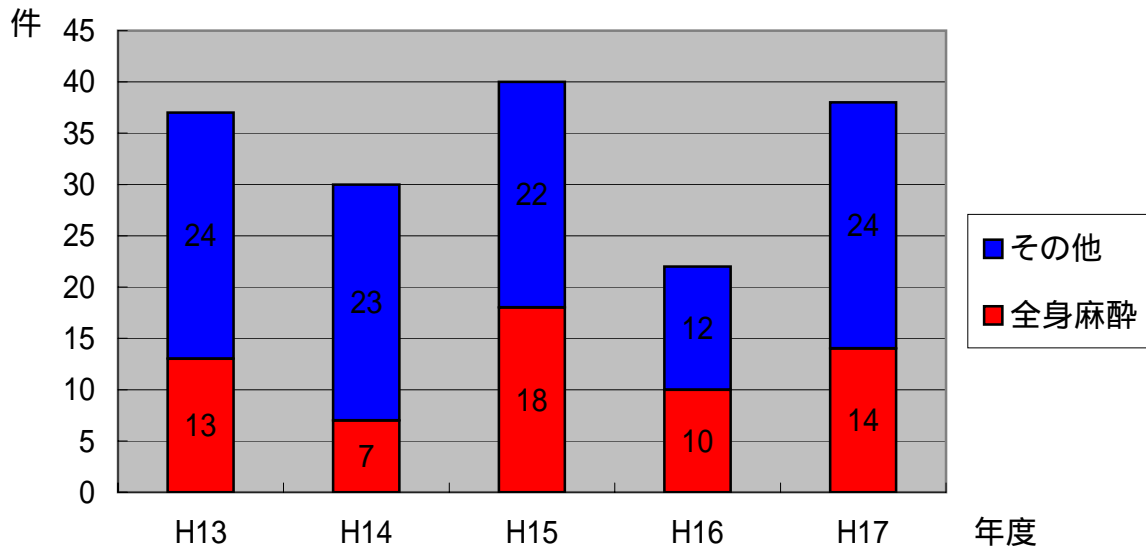
# 地域別・手術数

(2005/04/01-2006/03/31)

		総数	構成比 (%)	日野上	山上	阿毘縁	大宮	多里	石見	福栄	日野町	江府町	伯耆町	南部町	米子市	新見市神郷	新見市	その他
総数	合計	28	100.0	7	4	4	2	1	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	6	21.4	0	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	22	78.6	7	3	2	1	0	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0
構成比 (%)	合計		100.0	25.0	14.3	14.3	7.1	3.6	21.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男		100.0	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女		100.0	31.8	13.6	9.1	4.5	0.0	27.3	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
神経系への手術	合計	3	10.7	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	13.6	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内分泌系への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻、口、及び咽頭への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器系への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心血管系への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液系及びリンパ系への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器系への手術	合計	14	50.0	3	3	3	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	6	100.0	0	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	8	36.4	3	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
尿路系への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男性性器への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性性器への手術	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産科的処置	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筋骨格系への手術	合計	10	35.7	2	0	0	1	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	10	45.5	2	0	0	1	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0
外皮組織への手術	合計	1	3.6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	4.5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多方面の診断的治療的処置	合計	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

# 手術室

## 1. 年度別手術件数



## 2. 月別手術件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	4	4	3	2	3	2	5	0	3	2	4	6	38
	3	4	1	2	1	0	1	0	0	0	1	1	14

## 3. 麻酔別手術件数

	全身麻酔	脊椎麻酔	局所麻酔	腰椎麻酔	その他	合計
件数	14	0	9	11	4	38

# 薬 剤 科

## 1. 平成17年度月別処方箋枚数及び調剤件数 (Rp数)

外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
枚数	3,775	3,642	3,712	3,641	3,861	3,608	3,559	3,829	3,586	3,433	3,430	3,785	43,861
件数	9,444	9,105	9,388	9,390	10,196	9,631	9,610	10,385	10,017	9,253	9,329	10,341	116,089

入院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
枚数	490	492	515	631	612	490	516	534	447	429	474	516	6,146
件数	1,160	1,214	1,300	1,323	1,658	1,507	1,372	1,428	1,352	1,048	1,301	1,455	16,118

麻薬処方箋枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
内服薬	3	4	5	7	11	5	18	13	5	3	3	0	77
外用薬	1	3	8	11	8	4	9	12	13	2	4	12	87
注射薬	1	5	10	25	3	0	1	1	0	6	0	0	52
合計	5	12	23	43	22	9	28	26	18	11	7	12	216

入院注射処方箋枚数及び調剤件数 (Rp数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
枚数	743	619	767	783	708	614	675	677	816	653	660	797	8,512
件数	2,893	2,497	2,970	2,629	1,892	1,815	2,072	2,198	3,075	2,476	2,361	2,762	29,640

## 2. 当院採用薬の状況 (平成18年3月31日現在)

	全薬品数	後発品数	後発品採用率
内服薬	383	31	8.09%
外用薬	183	12	6.56%
注射薬	258	13	5.04%
合計	824	56	6.80%

## 3. 月別薬剤管理指導件数

算定基準に達しておらず、休止中

# 臨床検査科

## 1. 年度別輸血用血液製剤使用実績

(単位)

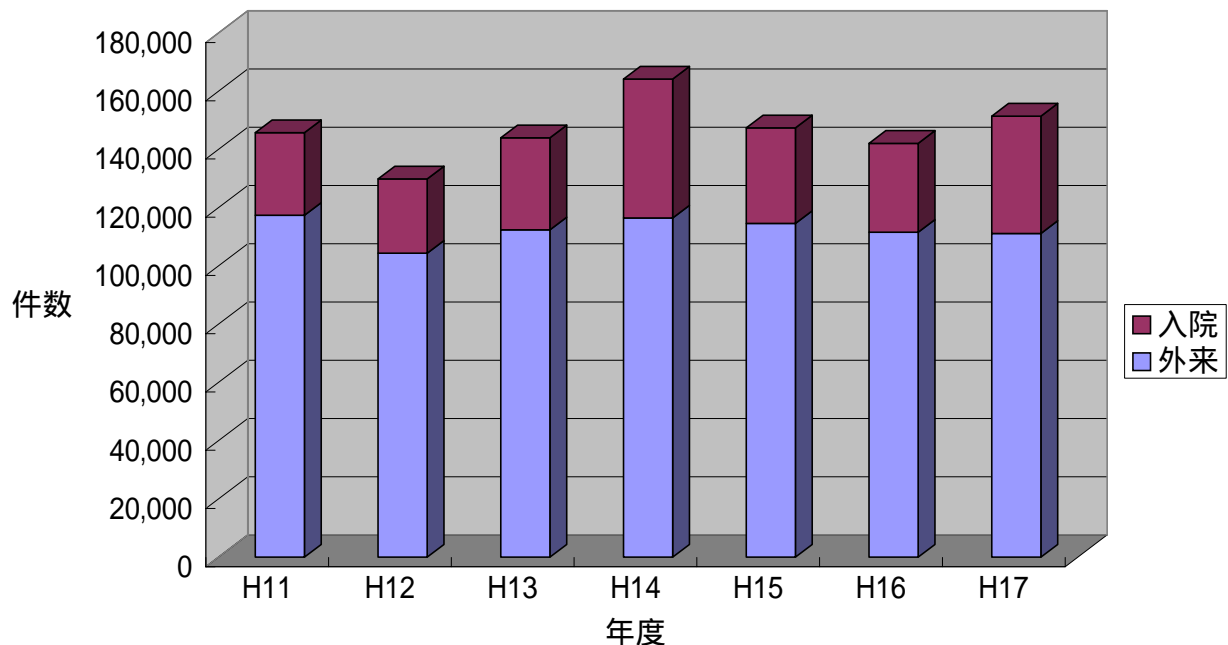
	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	合計
赤血球MAP血	46	41	22	0	0	0	0	109
照射赤血球MAP血	63	120	162	80	104	52	107	688
照射洗浄赤血球	2	0	0	0	0	0	0	2
凍結血漿	59	8	102	32	0	0	14	215
濃厚血小板	20	0	0	0	0	0	0	20
照射濃厚血小板	0	20	30	90	10	0	0	150
合計	190	189	316	202	114	52	121	1,184

## 2. 年度別検査件数および診療報酬

		一般	細菌	生化学	血液	血清免疫	生理	外部委託			受託検査	合計
								右記以外	病理	ホルター		
平成11年度	外来	13,422	1,677	79,228	8,761	2,520	5,126	378	235	38	6,005	117,390
	入院	911	499	21,158	2,196	2,176	1,040	286	98	6	0	28,370
	合計	14,333	2,176	100,386	10,957	4,696	6,166	664	333	44	6,005	145,760
平成12年度	外来	12,137	1,407	68,880	7,414	2,147	5,198	460	123	18	6,584	104,368
	入院	688	693	18,137	2,338	2,144	932	442	109	18	0	25,501
	合計	12,825	2,100	87,017	9,752	4,291	6,130	902	232	36	6,584	129,869
平成13年度	外来	12,631	1,274	75,187	8,256	3,334	5,076	408	147	20	6,056	112,389
	入院	900	659	23,362	2,848	2,619	753	303	142	22	0	31,608
	合計	13,531	1,933	98,549	11,104	5,953	5,829	711	289	42	6,056	143,997
平成14年度	外来	13,213	467	79,170	8,440	3,769	5,176	337	317	54	5,527	116,470
	入院	1,402	738	35,812	4,330	3,643	1,237	318	182	21	0	47,683
	合計	14,615	1,205	114,982	12,770	7,412	6,413	655	499	75	5,527	164,153
平成15年度	外来	13,036	295	78,388	7,969	3,627	2,965	481	195	28	7,615	114,599
	入院	612	299	25,948	2,680	2,410	568	203	76	3	0	32,799
	合計	13,648	594	104,336	10,649	6,037	3,533	684	271	31	7,615	147,398
平成16年度	外来	11,579	336	76,472	7,913	3,570	3,010	921	209	25	7,543	111,578
	入院	1,085	831	21,676	2,969	2,599	855	376	133	8	0	30,532
	合計	12,664	1,167	98,148	10,882	6,169	3,865	1,297	342	33	7,543	142,110
平成17年度	外来	7,932	190	79,610	7,458	3,932	2,920	2,016	250	38	6,821	111,167
	入院	252,969	11,958	1,048,069	195,003	274,067	367,714	310,302	190,440	57,000	608,972	3,316,494
	合計	260,901	12,148	1,127,679	202,461	278,000	370,634	312,318	190,690	57,038	615,793	3,427,661
	外来	18,390	44,507	355,178	73,267	83,964	107,272	160,830	124,600	16,500	0	984,508
	合計	8,632	677	110,802	10,353	6,831	3,784	3,090	402	50	6,821	151,442
合計	271,359	56,465	1,403,247	268,270	358,031	474,986	471,132	315,040	73,500	608,972	4,301,002	

(平成17年度 上段:件数 下段:診療報酬点数)

### 年度別検査件数

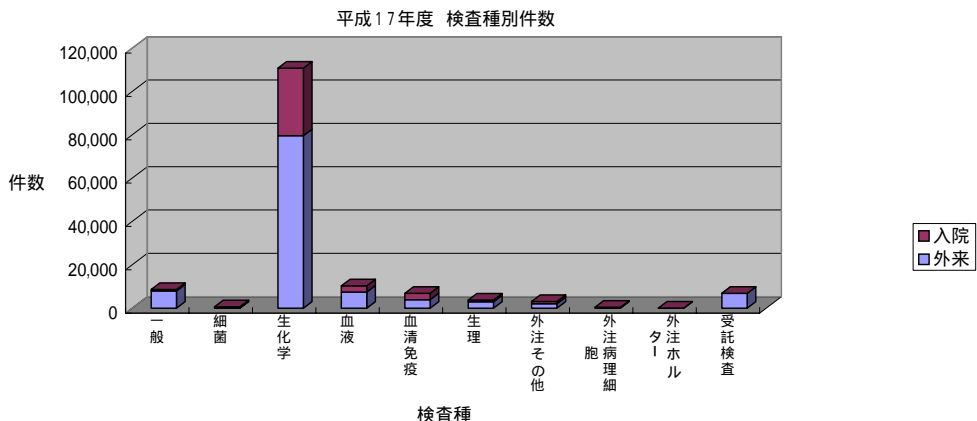


### 3. 当年度月別輸血用血液製剤使用

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
照射赤血球MAP血	34	4	10	8	6	12	4	6	4	2	8	9	107
凍結血漿	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
照射濃厚血小板	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	48	4	10	8	6	12	4	6	4	2	8	9	121

### 4. 当年度月別検査件数及び診療報酬点数

		一般	細菌	生化学	血液	血清免疫	生理	外部委託検査			受託検査	合計
								右記以外	病理・細胞診	ホルター		
4月	外来	1,009	23	7,557	705	279	237	193	15	3	370	10,391
	入院	26,399	1,568	101,252	18,507	14,803	34,423	32,639	10,440	4,500	43,124	287,655
	合計	27,408	1,591	108,809	19,212	15,582	35,100	33,832	10,455	4,503	43,494	297,046
5月	外来	888	51	6,547	618	297	320	146	14	5	706	9,592
	入院	23,465	3,910	86,412	16,212	19,272	38,675	24,068	10,250	7,500	59,252	289,016
	合計	24,353	3,961	92,959	17,830	20,569	40,045	24,733	10,264	7,505	60,958	300,608
6月	外来	841	28	7,212	685	332	307	222	19	1	653	10,300
	入院	27,253	2,117	95,418	17,885	19,817	37,125	35,591	14,650	1,500	55,164	306,520
	合計	28,094	2,145	102,630	18,570	20,149	37,432	36,812	14,669	1,501	56,818	316,820
7月	外来	737	26	7,507	697	341	280	198	19	1	1,227	11,033
	入院	22,173	2,070	96,842	18,308	18,723	36,003	33,140	15,340	1,500	115,896	359,995
	合計	22,910	2,096	104,349	19,005	19,464	36,283	33,338	15,359	1,501	117,123	371,028
8月	外来	650	42	7,176	661	318	240	162	39	2	1,346	10,636
	入院	22,083	1,030	90,848	17,346	18,866	29,172	23,172	27,420	3,000	123,819	356,756
	合計	22,733	1,072	98,024	18,007	19,184	29,412	23,334	27,459	3,002	125,165	367,392
9月	外来	592	0	6,256	588	277	225	199	23	5	919	9,084
	入院	22,237	0	81,803	15,234	16,262	27,394	27,130	18,170	7,500	84,030	299,760
	合計	22,829	0	88,059	15,822	16,540	27,619	27,329	18,193	7,505	84,960	308,844
10月	外来	599	0	6,396	579	281	211	181	26	3	1,305	9,581
	入院	22,812	0	86,306	15,178	19,508	25,810	25,131	20,810	4,500	100,924	320,979
	合計	23,411	0	92,702	15,756	20,016	26,021	25,312	20,836	4,503	102,228	330,560
11月	外来	643	0	7,046	656	269	293	164	33	5	2	9,111
	入院	21,960	0	93,240	17,284	16,530	37,224	23,934	26,280	7,500	396	244,348
	合計	22,603	0	100,286	17,940	17,164	38,118	24,168	26,313	7,505	398	253,466
12月	外来	463	0	5,462	517	227	153	119	19	5	2	6,967
	入院	16,079	0	71,278	13,473	13,184	20,290	17,199	12,580	7,500	396	171,979
	合計	16,542	0	76,740	13,990	13,368	20,443	17,318	12,599	7,505	398	178,946
1月	外来	454	0	5,555	518	228	178	111	0	0	71	7,457
	入院	13,470	0	73,965	13,255	62,199	27,969	10,323	8,990	0	4,641	215,082
	合計	13,924	0	79,520	13,773	62,427	28,148	10,496	8,990	0	4,712	222,539
2月	外来	463	0	5,595	529	393	192	148	16	4	218	7,558
	入院	14,357	0	74,817	13,789	34,874	24,146	26,395	14,080	6,000	20,934	229,392
	合計	14,820	0	80,412	14,312	35,267	24,338	26,587	14,100	6,004	21,152	236,950
3月	外来	593	20	7,301	705	376	234	206	16	4	2	9,457
	入院	20,681	1,263	95,888	18,262	20,029	29,483	31,580	11,430	6,000	396	235,012
	合計	21,274	1,283	103,189	18,967	20,405	29,717	31,786	11,446	6,004	398	244,469
合計	外来	7,932	190	79,610	7,458	3,932	2,920	2,016	250	38	6,821	111,167
	入院	252,969	11,958	1,048,069	195,003	274,067	367,714	310,302	190,440	57,000	608,972	3,316,494
	合計	260,901	12,148	1,127,679	202,461	278,000	370,634	312,318	190,890	57,038	615,793	3,427,661

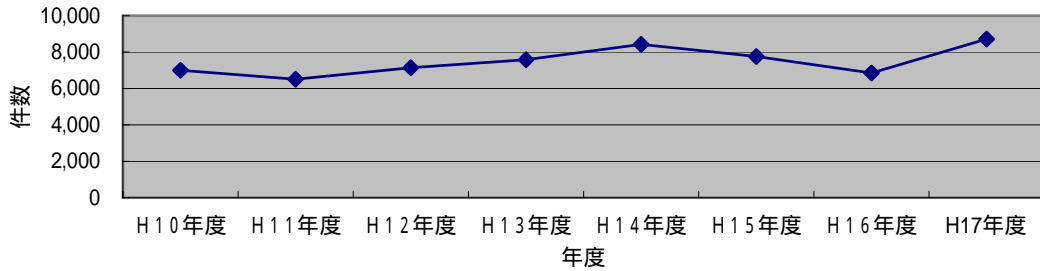




# 診療放射線科

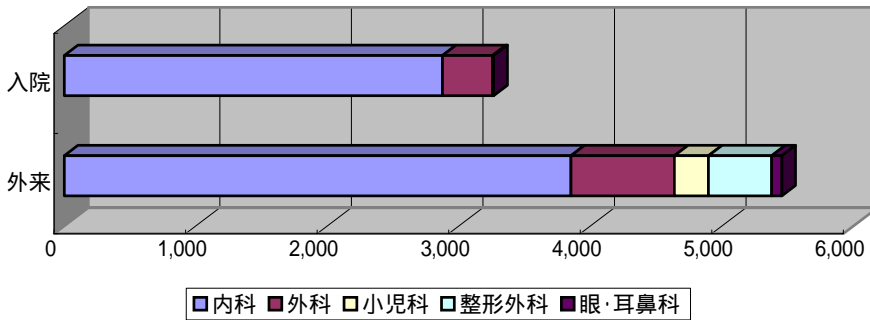
## 1. 放射線撮影件数推移

H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
6,997	6,511	7,145	7,581	8,422	7,759	6,852	8,718



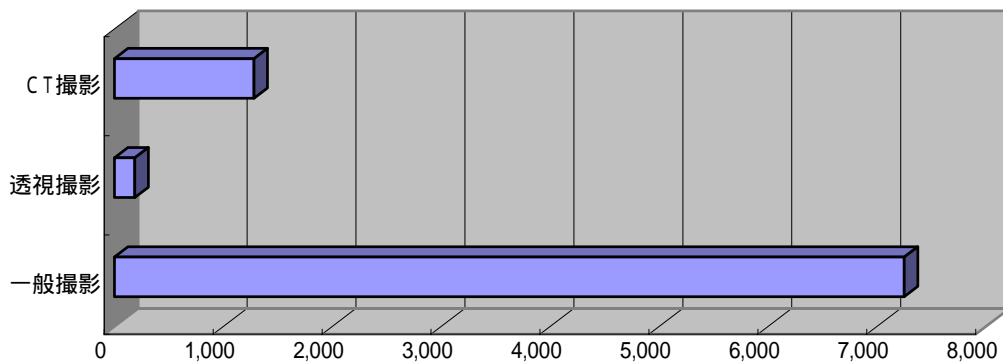
## 2. 科別撮影件数

	内科	外科	小児科	整形外科	眼・耳鼻科	合計
外来	3,851	786	259	481	77	5,454
入院	2,874	381	6	0	3	3,264



## 3. 種別月別撮影件数

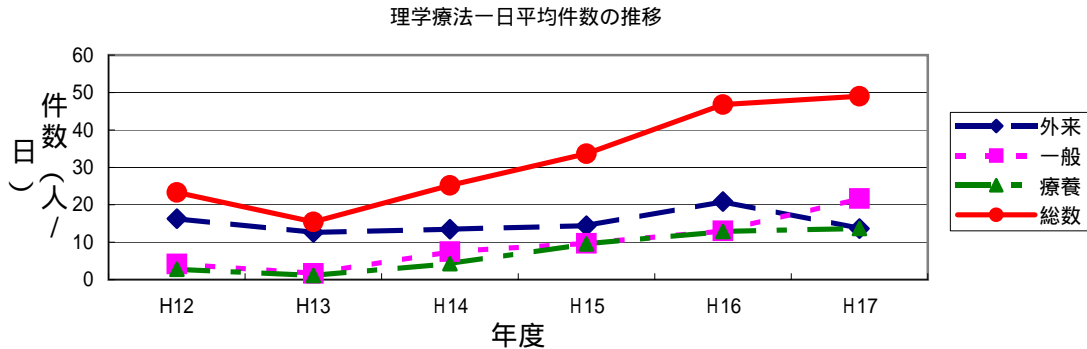
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
一般撮影	657	658	624	639	573	576	
透視撮影	17	18	20	15	23	11	
C T撮影	120	105	117	135	145	104	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
一般撮影	617	617	440	516	643	690	7,250
透視撮影	14	17	16	13	12	11	187
C T撮影	107	136	92	90	96	34	1,281



# リハビリテーション科

## 1. リハビリテーション件数の推移(1日平均)

	H12	H13	H14	H15	H16	H17
外来	16.30	12.62	13.46	14.40	20.85	13.63
一般	4.20	1.67	7.48	9.71	13.06	21.69
療養	2.79	1.13	4.27	9.53	12.86	13.67
総数	23.29	15.42	25.21	33.64	46.77	48.99



## 2. 理学療法単位数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
診療日数		21	19	22	21	22	20	20	20	20	18	20	21	204	
理学療法	集団療法	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	個別療法	外来	17	23	44	36	39	29	18	15	18	17	6	7	229
		入院	0	14	38	13	5	29	20	43	22	16	15	18	219
	早期加算	14日	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9
		30日	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10
90日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ADL加算		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
老人理学療法	集団療法	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	個別療法	外来	73	80	90	98	94	91	111	95	69	78	91	98	915
		入院	449	467	516	406	367	313	335	291	424	394	489	465	4000
	早期加算	14日	2	7	8	10	4	0	0	0	15	2	0	3	42
		30日	11	14	21	15	16	0	0	0	5	16	0	0	73
90日		25	27	47	46	13	0	0	0	0	14	15	0	135	
ADL加算		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退院前訪問指導料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退院前訪問指導料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
個別合計		539	584	688	553	505	462	484	444	533	505	601	588	5363	

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
介護理学療法	個別療法	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		入院	154	160	155	167	249	199	184	222	215	199	280	318	2188
	ADL加算		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リハビリ計画加算		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ADL訓練指導加算		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退院後訪問指導料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時リハビリ指導料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

延べ個別単位数	693	744	843	720	754	661	668	666	748	704	881	906	7551
---------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

一日平均単位数	33.0	39.2	38.3	34.3	34.3	33.1	33.4	33.3	37.4	39.1	44.1	43.1	37.0
---------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

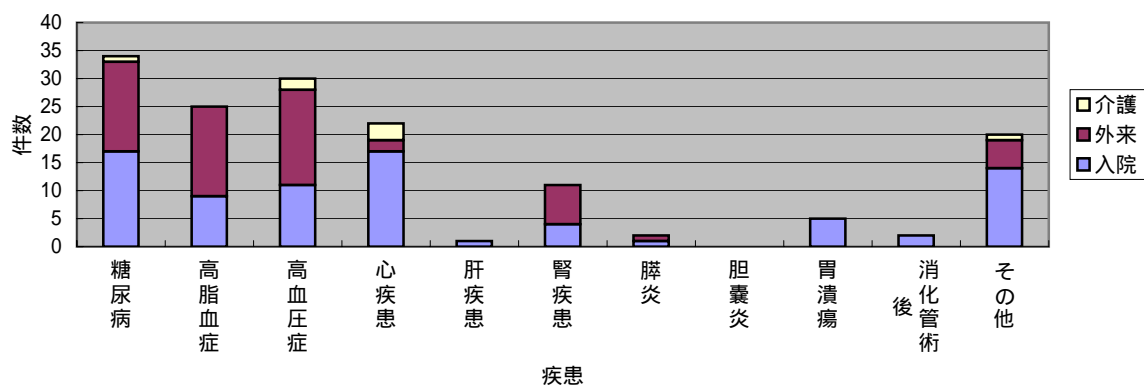
# 栄養管理科

## 1. 平成17年度栄養指導状況(延べ件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病	入院	2	0	2	3	3	0	2	1	1	1	0	2	17
	外来	2	0	0	0	1	2	0	1	3	3	1	3	16
	介護	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
高脂血症	入院	1	0	1	2	2	1	1	0	0	0	0	1	9
	外来	4	0	1	0	1	1	1	3	2	2	0	1	16
	介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高血圧症	入院	2	0	2	1	2	1	2	0	0	1	0	0	11
	外来	4	0	1	0	1	0	2	2	2	3	0	2	17
	介護	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
心疾患	入院	2	2	2	2	2	1	2	2	1	1	0	0	17
	外来	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	介護	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
肝疾患	入院	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎疾患	入院	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	4
	外来	0	0	0	0	0	1	0	1	3	1	0	1	7
	介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
膵炎	入院	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	外来	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胆嚢炎	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胃潰瘍	入院	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	5
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化管術後	入院	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	入院	4	2	2	0	3	0	1	2	0	0	0	0	14
	外来	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1	0	0	5
	介護	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計		21	5	12	14	18	8	16	14	17	15	1	11	152

内入院	81
内外来	64
内介護	7

疾患別栄養指導の状況



## 2. 平成17年度食数(延べ)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	(普通食)	1,376	1,280	997	1,333	1,265	814	972	814	600	692	872	664	11,679
	(特別食)	3,495	3,320	2,997	3,155	2,865	3,256	3,165	2,831	2,973	2,987	2,836	3,260	37,140
療養介護 介護療養入所	(普通食)	341	331	274	280	286	264	259	69	0	0	90	240	2,434
	(特別食)	1,055	1,279	869	1,015	1,489	1,227	1,127	1,461	1,753	2,008	1,658	1,630	16,571
短期入所		865	831	599	707	777	887	936	819	624	547	568	591	8,751
合計		7,132	7,041	5,736	6,490	6,682	6,448	6,459	5,994	5,950	6,234	6,024	6,385	76,575

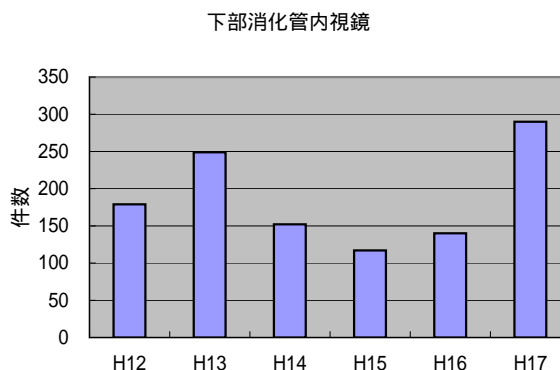
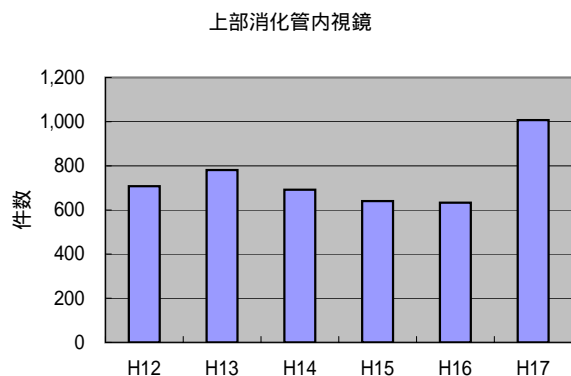
## 健 診

		平成16年度(延べ人数)	平成17年度
人 間 ド ッ ク ( 国 保 )		104	110
人 間 ド ッ ク ( 共 済 )		44	39
事 業 所 健 診		19	125
乳 児 検 診 ( 院 内 実 施 )		18	27
個 人 健 診		84	131
職 員 健 診		157	158
合 計		426	590
予 防 接 種	麻 疹	59	57
	三 種 混 合	226	207
	風 疹	65	114
	日 本 脳 炎	264	40
	二 種 混 合	38	10
	ツ ベ リ ク リ ン	13	0
	B C G	13	19
	イ ン フ ル エ ン ザ	2,246	3,096
	合 計	2,924	3,543
総 合 計		3,350	4,133

# 内 視 鏡

## 1. 内視鏡検査件数推移

区分	年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
上部消化管内視鏡		708	781	692	640	633	1,007
下部消化管内視鏡		179	249	152	117	140	290
内視鏡の逆行性膵胆管造影検査		1	3	0	0	0	3
気管支鏡		0	6	0	0	1	把握不可



## 2. 内視鏡検査処置別比較

処置項目	年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
上部消化管	生検	122	160	277	187	169	216
	ウレアーゼテスト	26	63	73	29	73	43
	胃EMR	11	17	5	2	0	5
	胃ESD						3
	胃ろう造設	10	16	5	5	8	29
	胃潰瘍出血の止血術	10	5	12	7	7	9
	食道・胃拡張術(ステント)	1	1	0	0	0	0
	EVL	0	1	0	0	0	0
	胃ろう交換	3	10	15	8	5	34
	異物除去	5	2	0	1	1	0
	イレウス管・経鼻経管チューブ挿入	0	1	1	1	0	7

処置項目	年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
下部消化管	大腸EMR	51	56	53	20	54	106(34)
	止血処置	0	1	0	0	0	29
	生検(ホットバイオプシーを含む)	12	35	34	20	55	29
	S状結腸捻転解除						4
	直腸狭窄ブジー						2

( )内は早期大腸癌

処置項目	年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
膵胆管造影	造影のみ	1	1				2
	EST		1				0
	バルーン拡張術		0				1
	載石術		2				1
	ステント		0				0

## 3. 平成17年度内視鏡癌発見数

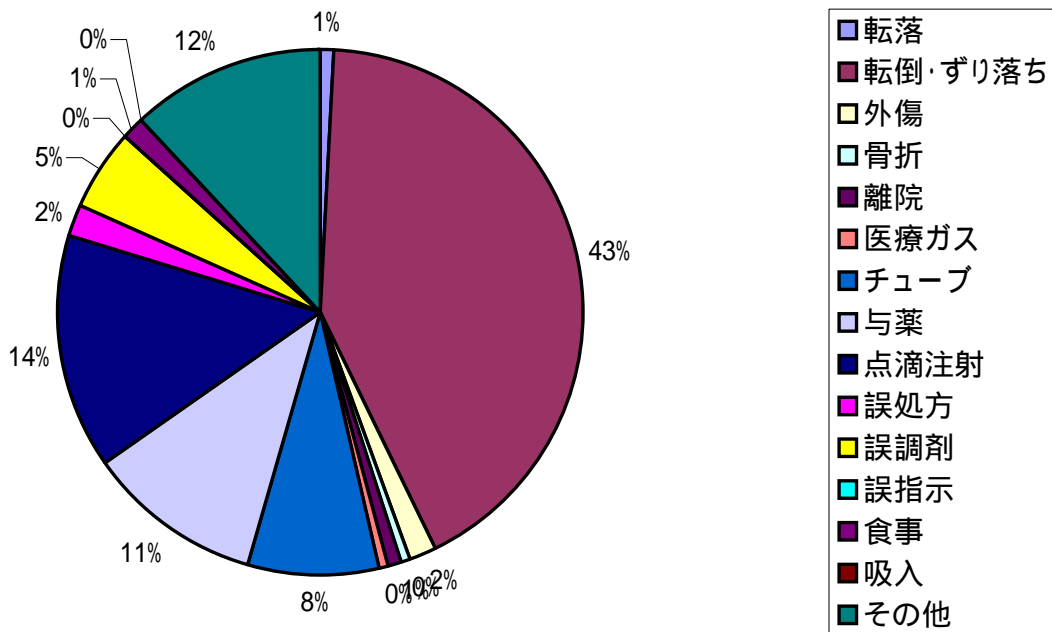
	癌発見数	内早期
食道	5	1
胃	15	5
大腸	45	34

# 医療事故統計

平成17年度中件数

内容		件数	順位
内訳	転落	2	
	転倒・ずれ落ち	119	1
	外傷	5	
	骨折	1	
	離院	3	
	医療ガス	1	
	チューブ	23	
	与薬	31	2
	点滴注射	41	5
	誤処方	5	3
	誤調剤	14	4
	誤指示	0	
	食事	4	
	吸入	0	
	その他	34	
合計		283	

内訳



# ・業績

## 学会・研修会・誌上発表

### 内 科

#### 「医の倫理」・・・講演

安東良博：済生会境港総合病院研修会 2005. 5.20 境港

#### 「糖尿病をもっと知ろう」・・・講演

安東良博：糖尿病友の会 2005. 6.14 日南町保健センター

#### 「高齢者を支えるもの」・・・講演

安東良博：県西部民生児童委員協議会福祉問題研究会 2005. 8.24 町文化センター

#### 「ローカルガバナンス・どう守る、住民の健康」・・・シンポジスト

高見 徹：自治体学会 - 地域の保健・福祉・医療 - 2005. 8.25 鳥取

#### 「一般演題 - 管理運営 6 - 」・・・座長

高見 徹：全国国保診療施設地域医療学会 2005. 9. 9 札幌

#### 「高齢化社会における地域看護とは何か」・・・シンポジスト

高見 徹：第36回日本看護学会 - 老年看護 - 2005. 9.16 鳥取

#### 「病気とのかしこいつきあい方」・・・講演

安東良博：県行政相談員協議会西部支部会 2005. 9.21 ふるさと日南邑

#### 「認知症の理解・取り組みと心構えについて」・・・講演

安東良博：なかやま安全協力会研修会 2005.10. 3 米子市

#### 「高齢化社会の地域医療・看護」・・・講義

高見 徹：鳥取大学医学部保健学科 2005.10.20 米子市

#### 「先進地地域医療」・・・特別講演

高見 徹：第29回徳島県国保診療施設地域医療学会 2005.10.23 徳島

#### 「町はおおきなホスピタル」・・・寄稿

安東良博：国診協雑誌「地域医療」 43 2005. 2・・・データリンク

#### 「三日熱マラリア原虫の鞭毛放出・雄性生殖体」・・・誌上発表

青木智宏：臨床雑誌「内科」第97巻 第4号(2006年4月号)・・・データリンク  
(鳥取県立中央病院検査科 井上睦子氏との共同発表)



## 外科

- 「にちなんおろち 100km マラソンにおける救護体制について」・・・誌上発表  
平岡 裕：臨床雑誌「日本臨床給医学会」Vol.8, No.4, 2005・・・データリンク  
(鳥取県西部広域行政管理組合消防局 渡辺勝也、武本和之氏との共同発表)

## 小児科

- 「乳幼児の観察ポイント - 安心子育てのために - 」・・・冊子監修・・・データリンク  
竹茂幸人：新見保健所愛育委員会 2006. 2. 1 発行

## 看護部

西部自治体病院看護部研究発表会 2005.12. 3

\*\*\* 内容 \*\*\*

## その他

- 「一葉」・・・寄稿、安東良博：日野上小学校同窓会報「銀杏」 第 26 号 2005  
「黒百合」・・・寄稿、安東良博：鳥取大学医学部・米子同窓だより 第 79 号 2005  
「あかね色」・・・寄稿、安東良博：にちなん文化 第 26 号 2005  
「父の死」・・・寄稿、安東良博：にちなん文化 第 26 号 2005  
「鳥取県の芭蕉塚」・・・寄稿、安東良博：鳥取県医師会報 606 号 2005  
「大山祇命」・・・寄稿、安東良博：にちなん老春学園「あゆみ」 第 29 号 2005  
「へぼ碁の効用」・・・寄稿、高見 徹：国診協雑誌「地域医療」 1Vol.43 2005

## 院内研修会

### 1. 研修委員会

- 院内研修会 2005.8.23 「これからの日南病院」・・・安東良博管理者  
接遇研修会（第1回） 2005.10.26 「あいさつについて」・・・(株)エバルス 吉田講師  
接遇研修会（第2回） 2005.12.16 「電話応対について」・・・(株)エバルス 吉田講師  
院内研究発表会 2006. 2.15  
§ 1 （座長：山中信江）  
「身体拘束解除に向けた取り組みが経口摂取につながった症例」・・・療養 田中美恵香  
「看護ケアに苦慮した ALS 患者の1例をとおして」・・・一般 藤原歩美  
「コスト削減しても給食の質を維持するための検討」・・・栄養管理科 田辺美加代  
§ 2 （座長：花房和夫）  
「EDTA 依存性偽性血小板減少症について」・・・臨床検査科 青戸俊輔  
「リハビリ利用者の意識調査」・・・リハビリテーション科 田辺大起  
「病室撮影時における同室患者の被ばくについて」・・・診療放射線科 青木良人  
接遇研修会（第3回） 2006. 3.14 「実践場面での対応」・・・(株)エバルス 吉田講師

### 2. 医療安全管理委員会

- 医療安全研修会（第1回） 2005.11.29 「医療未収金について」・・・医事課 花倉幸江  
医療安全研修会（第2回） 2006. 2.28  
「血液製剤の適正使用について」・・・県赤十字血液センター 安田氏

### 3. 褥瘡対策委員会

- 褥瘡研修会 2005.11.29  
「在宅患者の褥瘡」・・・外来 矢田貝双美  
「栄養ケアマネジメントについて」・・・栄養管理科 田辺美加代  
「褥瘡材の保険適用について」・・・医事課 高柴博昭

### 4. 防災委員会

- 火災避難訓練 2005.11.17  
火災通報連絡訓練 2006. 3. 1  
防火研修会 2006. 3. 6

### 5. その他

- 人事考課研修会 2005.9.125 「人事考課研修」・・・(株)日本経営 横井氏  
診療報酬改定研修会 2006.2.23 「診療報酬改定の概要」・・・(株)サンキ 宮本氏  
セクシャルハラスメント研修会 2006. 2.27 (日南町主催)  
「いきいきと働くことのできる職場づくりをめざして」 県男女共同参画センター 繁原相談員  
同和問題職場研修会 2005. 7.29, 8.9, 8.11, 8.18 (5回)(日南町主催)

## 看護部の活動

### 【業務委員】

2006. 5 看護フェア開催      2006. 7 院内七夕行事      2006.12 クリスマス行事

### 【記録委員】・・・看護記録のマニュアル作成への取り組み

### 【医療事故対応マニュアル作成委員会】

- ・医療事故対応マニュアルをレベル別に作成
- ・医療事故報告書の監査（マニュアルに沿っているか）

### 【マナー向上委員会】・・・マナーブックの作成

### 【研修委員】

2005. 6. 2 第13回西部自治体病院看護部会（日野病院）  
2005. 6. 7 安東良博管理者講話、看護部各委員の本年度目標確認  
2005. 6.29 個人情報保護法について  
2005. 7.26 「外から見た日南病院」 日南福祉会 山内紀代美在宅課長  
2005. 9.20 「人工呼吸器について他」 内科 青木智宏医長  
2005.10.12 第14回西部自治体病院看護部会（日南病院）  
2005.11. 4 「口腔・嚥下障害について」 内科 山脇美香医師  
2005.11.26 第2回西部自治体病院研究発表（日南病院）  
2005.11.29 院内研究発表検討会  
2006. 1.15 第14回西部自治体病院看護部会（西伯病院）  
2006. 2. 9 内規鏡（CF、GIF）勉強会  
2006. 2.24 各委員会反省、看護部長講話

### 【療養病棟の年間行事】

4月：花見、ボール遊び、誕生会  
5月：園芸、看護フェア、誕生会  
6月：レク、誕生会、園芸  
7月：七夕祭り、レク、誕生会、カラオケ  
8月：盆踊り、誕生会、レク  
9月：レク、誕生会、散歩  
10月：カラオケ、誕生会、運動会  
11月：カラオケ、ビデオ鑑賞、誕生会  
12月：レク、クリスマス会  
1月：福笑い、誕生会、カラオケ  
2月：紙芝居、体操、ビデオ鑑賞  
3月：ひな祭り、ハンドベル、誕生会、レク



療養病棟クリスマス会

# リハビリ利用者の意識調査

リハビリテーション科 理学療法士 田辺大起

## 【抄録】

リハビリテーション（理学療法）サービスの向上を目的に平成18年1月16日から2月10日の間に当院リハビリテーションを受けた患者様または、ご家族を対象にアンケート調査を実施した。その結果、配布数67、内回収数41回収率は61.2%だった。当院リハビリテーションサービスについての満足度は高く、大変満足と満足を合わせると78%を占め、大変不満は該当者がいなかった。しかし、のこり22%は普通（8名：20%）と、やや不満（1名：2%）を選択した利用者であり、不満の理由は待ち時間が長いであった。次に今後の要望としては、土日もリハビリサービスを受けたいとの意見が最も多く、ついでパワーリハ、デイケア、などが続いた。

待ち時間の対策と土日のサービス提供に関して検討した。その結果、待ち時間については自主練習や物理療法の併用で対応していく。また土日の診療については、リハビリの定員（個別定員36単位/日）は平均で103%（H18年1月実績）であることに加え訪問リハビリも始めており、現在の二人体制では対応困難、来年度技師の増員を待って再検討することにした。今後ともサービスを向上するために絶えず情報収集して改善していきたい。

## 【資料】

基本統計		回収の内訳		当院リハ満足度		問2の理由・記述式	
配布数	67	入院	10	大変満足	18	大変満足	優しい、対応が良い、器具にも満足
回収数	41	外来	25	やや満足	14	やや満足	対応が親切かつ適切、自分で歩ける。
回収率(%)	61.2	家族	2	普通	8	普通	足が悪く十分出来ない、先生に良いようにしてもらっている
		無記入	4	やや不満	1	やや不満	待ち時間が長い
				大変不満	0	大変不満	該当者無し

	満足の内訳			
	入院	外来	家族	無記入
大変満足	3	10	2	3
やや満足	3	10	0	1
合計	6	20	2	4
不満に対する割合	60%	80%	100%	100%

	不満足の内訳			
	入院	外来	家族	無記入
普通	4	4	0	0
やや不満	0	1	0	0
大変不満	0	0	0	0
合計	4	5	0	0
満足に対する割合	40%	20%	0%	0%

## 今後に期待する事及び要望選択式

	デイケア	パワーリハ	相談窓口	土日診療	訪問リハ
入院	2	3	2	6	3
外来	4	5	5	6	1
家族	1	0	1	0	0
無記入	2	1	1	2	1
合計	9	9	9	14	5

## 要望記述式

土曜日もリハを受けたい(3)  
呼吸リハ(肺理学療法)を受けたい  
機械的な方法はないか

(2月3日現在)

# リハビリ利用者の意識調査結果

- 利用者の満足度・今後の要望 -

リハビリテーション科  
理学療法士 田辺大起

## 【目的】

より良いリハビリテーション（理学療法）サービスを提供するための情報収集。

## 【趣旨】

現在、当院では理学療法士2名助手1名体制でリハビリテーション業務を行っている。その中で外来、入院、訪問理学療法を提供している。そして、日南町においてサービス提供施設は本施設のみである。そのため利用者が不満足を感じて他の病院へ行く事は地理的な困難を伴うことから、利用者数の推移では満足度が捉えにくい。

次にリハビリの処方される患者数が多く日々の業務が煩雑になる傾向があるなか高品質なサービスを提供するためには、効率的な資源の活用が重要と考える。

これらのことから、利用者に本院リハビリテーションに関する思考調査を行い、現サービスの満足度と問題点を明らかにし運営方針の一資料とする。

## 【方法】

期 間：平成18年1月16日～平成18年2月10日の間

対 象 者：本院リハビリテーションサービスを受けたことのある患者と家族で、コミュニケーションが可能な者。

聴取方法：対象者に質問紙を渡し、自宅またはリハビリスタッフがいない場所にて記入。ただし書字が難しい対象者には看護スタッフが聴取し記入。個人が特定できないように無記名で回収BOXにて回収する。

回収方法：院内に設置してある意見箱へ自由に投函していただく。

質問方法：選択、記述式を混合した質問紙にて行う。資料参照

集 計：統計処理は、柳井久江：4 steps エクセル統計．オーエムエス出版．1998 を使用。

## 【結果および考察】

配布数67、に対し回収数は44（回収率65.7%）でアンケート調査において母集団を反映するといわれる60%を上回る回答を得た。（表1）

回収された回答のうち入院10、外来25、訪問0、家族2、記述なし4であった（表2）。訪問に関して期間内に訪問リハがあったが件数が少なくかつ時間的な問題で実施していない。

表1：基本統計

配布数	67
回収数	44
回収率(%)	65.7

表2：内訳

立場	回収数
入院	10
外来	25
訪問	0
家族	2
記述なし	4

## 1.満足度について

当院リハビリテーションサービスについての満足度は、大変満足と満足を合わせると80%を占め、大変不満は該当者がいなかった。しかし、のこり20%は普通(8名:18%)と、やや不満(1名:2%)を選択した利用者であり、改善の必要性を認めた(図1・表3)。

差満足の理由は、『優しい』『対応が良い』などスタッフの対応に関する理由が多く、不満の理由は『待ち時間が長い』であった(表4)。それぞれの立場ごとに満足度を見ると入院で普通に該当する者が多いものの統計学的に優位差は認められなかった(図2)。

この結果について満足度に影響している因子として現在行っている、完全担当制が影響していると推測している。この担当制により各患者様の状況把握が経時的に捉えやすく個別対応が行いやすい事が対応の良さにつながっている。しかし、突発的に来院される外来の患者様に対しては対応しきれず、待っていただく場面が多いことから不満足の原因にもなっている。これについては、完全担当制に加えリハビリ処方される患者数が入院・外来だけで月平均37.2名(H18年1月実績)と許容量を慢性的に上回っていることや患者数の変動が激しい事も大きく影響している(図3)。患者数の変動は主に外来患者数の変動で予測が難しい。これについては、完全予約制の導入も考えられるが、対象者は交通弱者が多く時間の設定が難しいことでこれまで導入していない。

Q あなたは、日南病院のリハビリサービスに満足していますか？

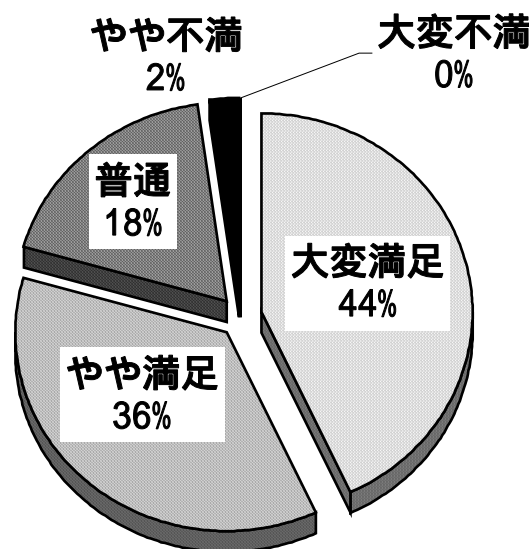


図1：満足度

表3：満足度の内訳

満足度	合計	内訳			
		入院	外来	家族	不明
大変満足	19	4	10	2	3
やや満足	16	3	12	0	1
普通	8	4	4	0	0
やや不満	1	0	1	0	0
大変不満	0	0	0	0	0

表4：満足度の理由

大変満足	優しい(5)、対応が良い(2)、器具にも満足、 家では出来ないので毎日満足
やや満足	対応が親切かつ適切(3)、自分で歩ける 自分の思っているようにしてもらえる
普通	足が悪く十分出来ない、先生に良いようにしてもらっている リハビリが楽しみ
やや不満	待ち時間が長い
大変不満	該当者無し

( )内は同じ意見の数

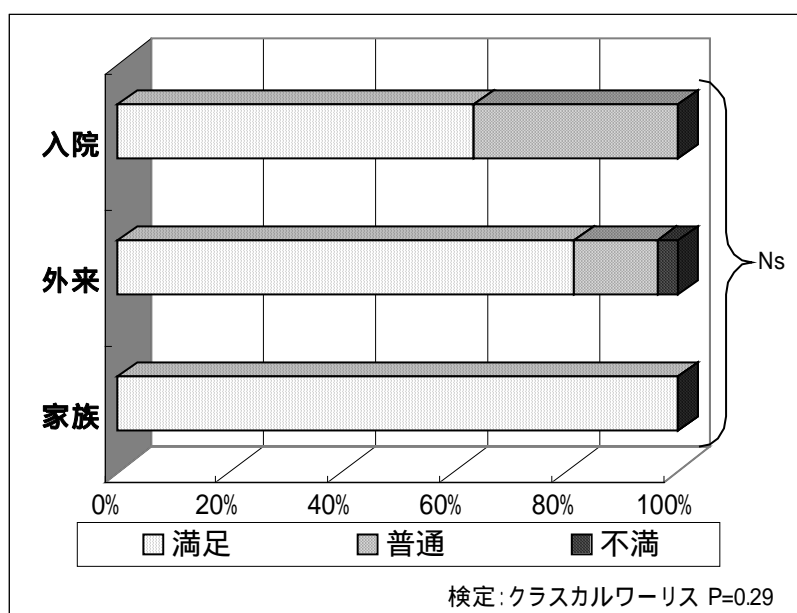


図2：立場の差



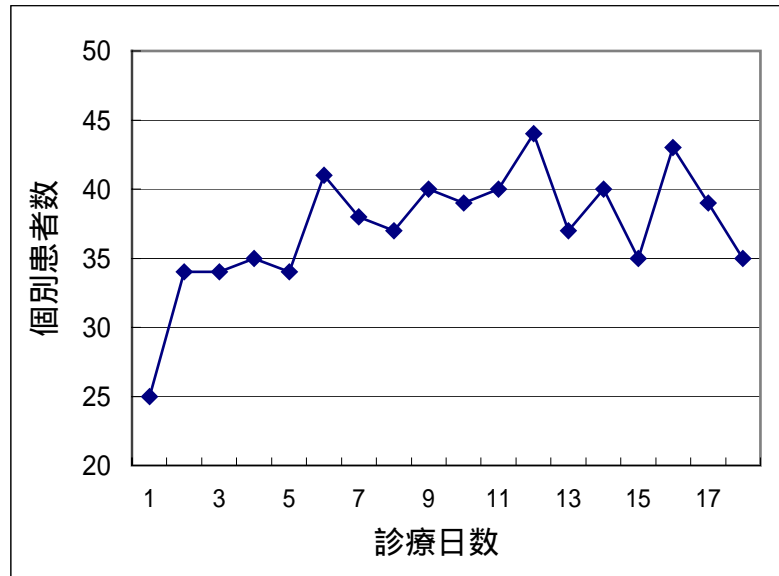


図3：患者数推移（H18年1月実績）

## 2.今後の要望について

次に今後の要望としては、土日もりハビリサービスを受けたいとの意見が最も多く、ついでパワーリハ、デイケア、などが続いた（図4）。

立場別に見ると入院外来ともに土日の要望が多いが、入院で訪問リハが、外来ではパワーリハと相談窓口に要望が集中していた（表5、図5）。このことから、入院では入院中から退院後も継続的なりハビリを、外来では最近話題となっているリハビリに関心が高い事が推測される。

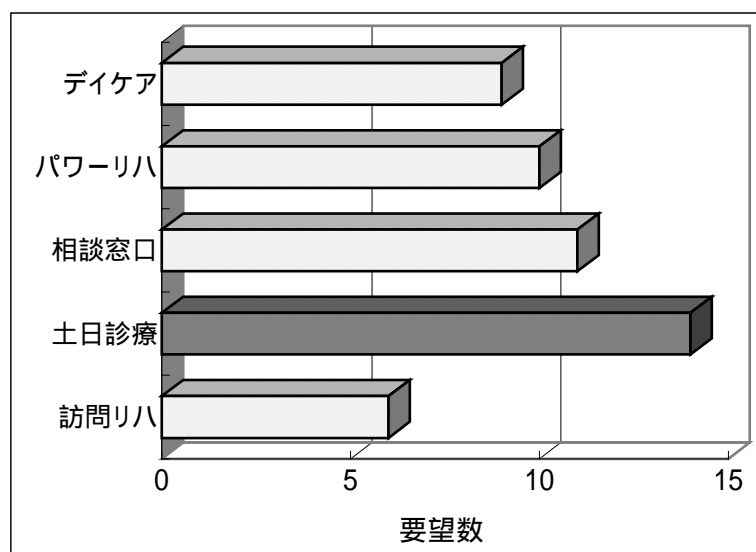


図4：今後の要望

表5：今後の要望

	デイケア	パワーリハ	相談窓口	土日診療	訪問リハ
合計	9(18%)	10(20%)	11(22%)	14(28%)	6(12%)
内訳					
入院	2(13%)	2(13%)	3(19%)	5(31%)	4(25%)
外来	4(17%)	6(26%)	6(26%)	6(26%)	1(4%)
家族	1(50%)	0(0%)	1(50%)	0(0%)	0(0%)
記述なし	3(25%)	2(17%)	2(17%)	3(25%)	2(17%)

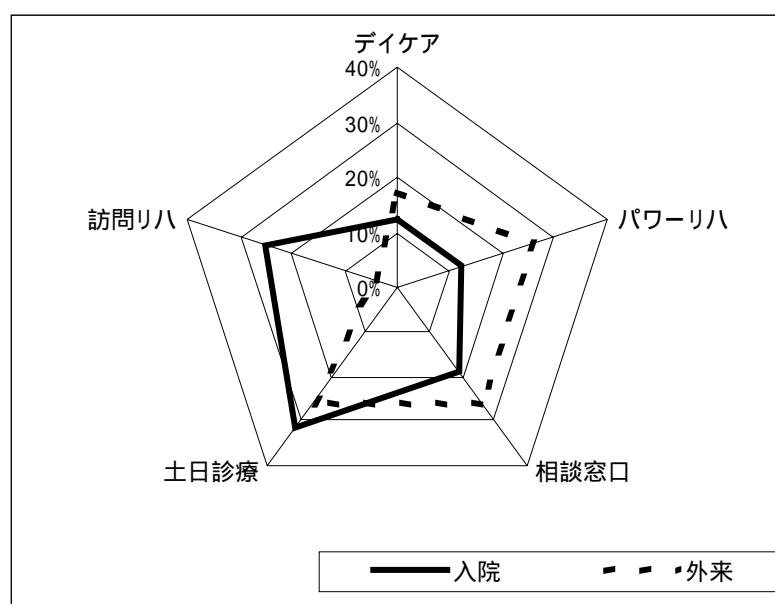


図5：立場別の要望

### 3.満足度向上にむかって

待ち時間の対策と土日のサービス提供に関して検討する。

待ち時間の対策としては、物理療法または自主練習をあらかじめ設定しておき待っていただいている間実施していただく事が現実的と考える。しかし、問題となるのが、初期評価で時間がかかる初診時の対応であり、今後の課題として再検討していく。

次に土日の診療については、意欲のある患者様が5名以上いる場合土曜日入院に限りリハビリ業務を行うことが考えられる。しかし、リハビリの定員（個別定員 36 単位/日）は平均で 103%（H18 年 1 月実績）であることに加え訪問リハビリも始めており、時間的な余裕が無く福祉用具や治療用具の作成や研修などは土日に行っておりこの時間の確保が難しくなることや、技師の休養の観点から二名体制では困難である。来年度技師の増員により技師 3 名体制となれば診療業務以外の業務負担を分担する事が可能となるため、土日の診療について再度検討することとする。

## 【最後に】

今回の調査で、利用者の満足度と要望を知ることができた。多くの利用者が満足と答える一方普通、またはやや不満足との回答もあった。より満足していただくためには、土日の診療と待ち時間の短縮が望まれている。また今後の要望として入院では訪問リハが、外来ではパワーリハの要望が多い。しかし、これらに対応するためには、技師数の増員が必要と結論付けた。

忙しい業務の中で高い満足度であったことは朗報となったが、今後も気を緩めず努力していきより、質の高いサービスを提供していきたいと考える。また、今回の調査は自らのサービスの質を知ることができると共にニーズを把握することが出来、有意義であった。今後世代の推移とともにニーズの多様化が予想され、より調査の重要性は高くなると考える。

今後ともサービスを向上するために絶えず情報収集して改善していきたい。

事例報告

# にちなんおろち100kmマラソンにおける 救護体制について

平岡 裕 渡辺 勝也 武本 和之

日本臨床救急医学会雑誌 別冊  
日臨救医誌 (JJSEM) Vol. 8, No. 4, 2005

禁複製

## にちなんおろち 100km マラソンにおける 救護体制について

平岡 裕 渡辺 勝也<sup>1</sup> 武本 和之<sup>1</sup>

**【要旨】** 平成16年6月20日に行われた“にちなんおろち100kmマラソン”において、日南病院職員を中心とする救護部を編成し参加選手の救護にあたった。マラソンコース内に4カ所の常設救護所を設置、さらにコースを8区間に分割、巡回救護車を各1台ずつ配備した。参加選手は592名、完走選手は441名で、うち救護を必要とした選手は101名であった。内訳は、熱中症14名、筋肉痛、肉離れなど50名、靴擦れなど10名、足底豆8名などであった。ほとんどは軽症で、コース上での簡単な処置を行った後レースに復帰することが可能であった。熱中症14名中9名は救急車で当病院に搬送し、輸液などの治療を行った。夏場のロードレースには、熱中症に対する救護体制と、冷却、点滴などの迅速な処置が必要であった。また、致死性不整脈に対する除細動器の配備などに留意し、安全に大会を運営することが重要である。

索引用語：ウルトラマラソン、救護体制、熱中症

### はじめに

平成16年6月20日に第4回天体界道100kmにちなんおろちマラソン全国大会が鳥取県日南町で開催された。日南病院職員を中心とした救護部は、鳥取県江府消防署生山出張所（以下、生山出張所）の応援を得て、軽症例を含め101名の選手に創処置、点滴などを行い、大会を無事に終了させることができた。本大会における救護体制の概要、救護内容、今後の課題について報告する。

### 救護体制の概要

マラソンコースは日南町をほぼ一周する全長

The First Aid System in “Nichinan Orochi 100km Marathon”  
Hiroshi HIRAOKA, Katsuya WATANABE<sup>1</sup> and Kazuyuki  
TAKEMOTO<sup>1</sup>

Nichinan Municipal Hospital, <sup>1</sup>Tottoriken Seibu  
Kouikigyouseikanrikumiai Fire Department

日南町国民健康保険日南病院外科, <sup>1</sup>鳥取県西部広域行政管理組合消防局

[原稿受付日:2004年9月21日 原稿受理日:2005年7月19日]

100km、高低差約600mの山岳コースで制限時間は14時間30分である（図1）。同時に100kmコースの一部を使用した全長37kmのサブレースも行われ、制限時間は8時間である。

### 1. 常設救護所（4カ所）と医療器具

まず救護本部をスタート/ゴール地点に設置、さらに36km地点、63km地点、85km地点の3カ所に常設の救護所を設置した（図2）。これら救護所には、医師、看護師、医療スタッフの3名を配置し、輸液、気管挿管、人工呼吸などの蘇生処置が行える器具を配備した（表1）。63km地点の第2救護所には、除細動器を1台配備し、致死性不整脈等に対して現場で迅速な救命処置が取れるように留意した。救護本部には、日南病院の救急車を1台、3救護所にはストレッチャーを装備した患者搬送用のリフトバスを常備し、状況に応じ医師同乗のもとに、傷病選手の搬送が行えるようにした。救護本部から生山出張所までは約0.5km、約1分、さらに日南病院までは約2km、約4分の距離である。

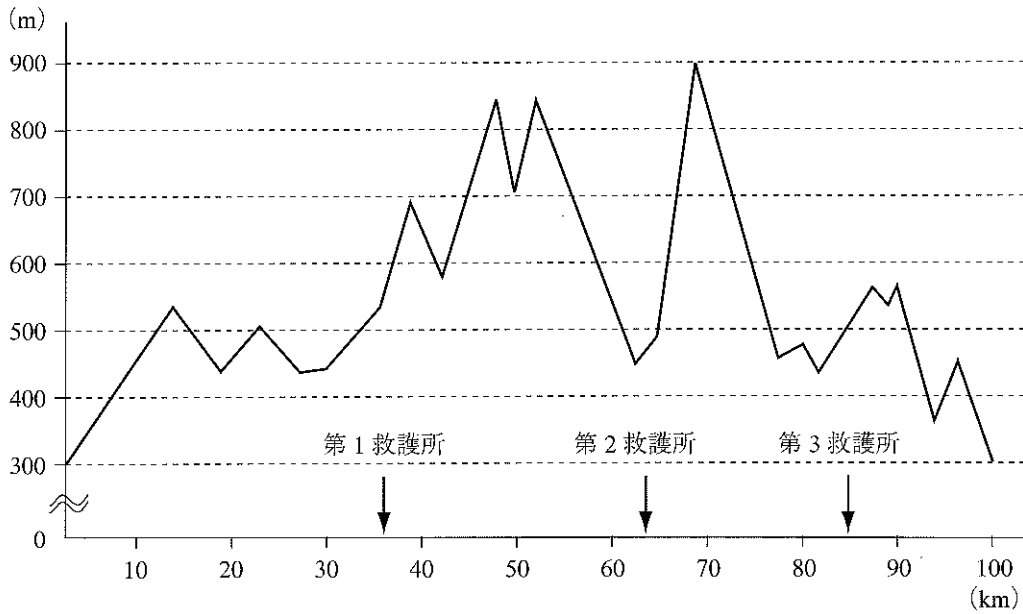


図1 コース高低図

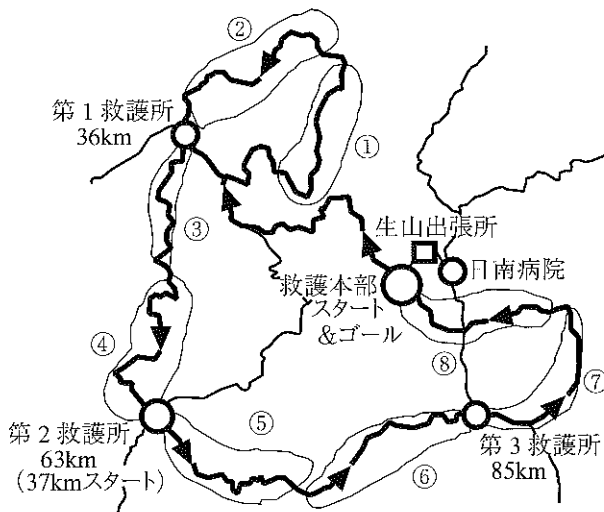


図2 救護所、巡回救護車の配置  
○：救護車の巡回範囲

表1 救護所、救護車の主な配備器材

医療機器	一般用品
◎輸液セット	◎ビニルシート
◎酸素吸入セット (酸素ボンベ)	◎担架
◎挿管セット (足踏み式吸引器)	タオル
消毒、創処置セット	洗浄用水
固定用シーネ、テーピング	(生理食塩水など)
テープ、シップ、スプレー	冷却用氷
など	うちわ
(除細動器)	

(◎は救護所だけに配備)

## 2. 巡回救護車 (8 区間-8 台)

さらにマラソンコースを8区間に分割し、巡回救護車を各1台配備、運行した(図2)。巡回救護車には、看護師、医療スタッフの2名が乗車、軽い外傷、筋肉痛などの処置が可能な医療機器、薬品を携行させた(表1)。

## 3. 搬送、連絡方法

巡回救護車で処置が不可能な選手については、

現場での応急処置を行った後、最寄りの常設救護所へ搬送することとした。それ以上の処置が必要な選手に対しては、原則として生山出張所の救急車で、日南病院へ搬送した。搬送時間の短縮のため、現場のスタッフの判断で随時救急車の要請を行うようにした。各救護所、巡回救護車間の連絡には携帯電話を使用した。

表2 救護選手の内訳-1

	熱中症	筋肉痛		靴擦れ		足底部痛		関節痛	外傷	その他	合計	救護車 走行距離	対応時間
		肉離れ	股擦れ	股擦れ	足底豆								
大会本部	6 (6)	11	2	3							22	—	14:30
①救護車		5	1								6	85	4:30
②救護車				3						2	5	134	4:50
第1救護所		2				1				8	11	—	6:00
③救護車		8	2							1	11	150	8:00
④救護車	2	10	2	1						1	16	101	8:00
第2救護所	2 (1)	1		1					1	3	8	—	7:00
⑤救護車											0	156	7:15
⑥救護車											0	116	9:00
第3救護所	2 (2)										2	—	9:00
⑦救護車	2	1				2					5	87	8:07
⑧救護車		12	3								15	105	8:40
後送車											0	100	14:30
合計	14	50	10	8	3	1	15	101				1034	

( ) 内は救急車で病院に搬送された選手

表3 救護選手の内訳-2

	熱中症		筋肉痛		靴擦れ		足底部痛		関節痛		外傷		その他		合計
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	
年齢/性別	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	
～29	2		6										1		9
30～39	2	1	15	1	2		1		1				3	1	27
40～49	4	2	10	2	7		5		1	1			5	1	38
50～59	2		10	1			1		1				2	1	18
60～	1		5		1		1						1		9
合計	14		50		10		8		3		1		15		101

## 結 果

### 1. 救護選手の概要

本大会当日は天候、晴れ、平均気温27℃、湿度67%。参加選手592名。完走選手は441名で、救護所で処置、搬送などを指示した選手は合計101名であった。内訳は熱中症に対して冷却、点滴などの処置を行ったものが14名、筋肉痛、肉離れなどの軽症例に対してマッサージ、スプレー、貼付剤等の処置を行ったものが50名、靴擦れ、股擦れなどに対して創処置を行ったものが10名、足底豆に対する処置が8名などであった(表2)。救護を必要とした選手につ

き、年齢別、性別に検討を加えたが、それらによる、傷病発生の明らかな傾向は認められなかった(表3)。処置を受けたほとんどの選手は軽症で、救護所、救護車で処置を受けた後、レースに復帰することが可能であった。

### 2. 熱中症の選手について

嘔気、脱力感など熱中症の症状を呈した14名の選手のうち9名は輸液などの処置が必要で、救急車で日南病院に搬送された。日南病院に搬送された9名のうち6名はレース終了後に嘔気、脱力などの異常を訴えた選手で、上位入賞を果たした女子選手もこ

のなかに含まれていた。

### 3. 実際の選手の搬送について

ここで、この救護体制を運用した実際の収容選手の搬送の流れについて報告する。距離37km参加の37歳、男性選手。スタート約4時間後、20km(第3救護所から約3km先)を走り終えたところで、四肢の筋肉の有痛性の痙攣、多量の発汗などを訴え、救急の要請があった。救護本部から⑦区間担当巡回救護車に現場に向かうように指示をした。到着した看護師は現場での対応が不可能と判断。ただちに、約3km手前の、第3救護所に搬送した。救護所において医師による診察、輸液などの処置を受けた後、生山出張所の救急車で日南病院に搬送され、迅速、適切な処置が施された。

### 4. スタッフの勤務時間

各スタッフは、マラソンスタートの午前5時30分から、終了の午後7時まで、おのおの、数時間から最長14時間30分にわたる救護活動を遂行した。限られた人員のため、途中の交代要員は十分に確保することができなかった。各巡回救護車の走行距離はそれぞれ、100kmから150km前後で、後送車を含む延べ走行距離は、1,034kmであった。

## 考 察

マラソンは特別なスポーツというより、一般大衆化した国民的スポーツ<sup>1)</sup>となってきた。一方、一般市民参加のロードレースの増加に伴い循環器系疾患を有する選手のレース中、レース前後の医療事故が新たな問題となってきた<sup>2)</sup>。本大会もこれらの事実を踏まえ、安全にレースが終了されるような救護体制を要請された。

救護部では、参加者約7,000余名の諏訪湖マラソン大会における救護体制<sup>3)</sup>に準じる医師6名、看護師16名、医療スタッフ12名他を各救護所、巡回救護車に配置しその他の大会役員とともに参加選手、沿道ボランティアなどの不測の事態に備えた。救護所の配置については、救護本部以外は、走行距離、コースの高低差、救護所の設置スペースなどから、3カ所の救護所を配置し、救護本部からは15分から20分

到着が可能な場所とした。各救護所には、重症選手に備えて救命処置の行える医療機器に加え、医師、看護師他を配置した。今回は使用することがなかったが、第2救護所には、万一に備え、除細動器も配備し、大会を、無事に終了させることが可能であった。さらに、緊急での運用はなかったが、ストレッチャー搭載可能のリフトバスは救急機材の輸送も可能で、常に多台数の救急車の応援が望めない状況において、救護体制を支える有用な選択肢と考える。

配備された巡回救護車の担当距離は、おのおの約10kmで計算上は10分前後で救護を必要とする選手のところまで到着が可能である。実際には、車同士のすれ違いができない狭い箇所もあり、さらに時間のかかる場合があったが、概して、迅速に、円滑な運用ができたものとする。

各救護所、巡回救護車間の確実な連絡体制は救護遂行の重要なポイントと考える。本大会では、各救護所、巡回救護車、救護本部の間を携帯電話で連絡、さらに生山出張所との緊密な連携のもと、参加選手の救護を行う体制を取った。通常、救護を必要とする選手が発生した場合は、まず、救護本部に連絡が入り、続いて、各救護所、巡回救護車に指示が伝わるようにした。これは、情報の重複、混乱を防ぎ、救護活動を円滑に遂行するうえで重要なことである。さらに定期的に各巡回車からの位置情報の連絡を受けることにより、迅速な救護活動の展開と担当区間を飛び越えた、巡回救護車の効率的な運用が可能であった。本大会では、マラソンコース全体が、中山間地<sup>注1)</sup>で、携帯電話の不応地区が約30%あり、一部救急連絡が取れない地区が存在した。将来も不応地区が解消される見込みは薄く、今後は部分的に無線、衛星携帯電話の導入が必要と考える。一方、日南病院と生山出張所の間には、救急自動車医師同乗システム<sup>4)</sup>で培った緊密な信頼関係があり、事前に出動要請の方法、主な出動地点への経路確認などの検討を加えてあり、確実な連絡、スムーズな搬送が可能であった。距離の長いロードレースでの救護を担当する場合、当該消防との密な連携が肝要と考える。

救護の対象は、筋肉痛、外傷などはもちろんのことであるが、高温、多湿の環境下での長時間、過酷



なレースのため、熱中症と心臓突然死に対する医療体制とくに留意した。本大会で筋肉痛などの軽症以外では、熱中症に対する処置がとくに重要であった。熱中症に対しては、手軽なうちわ、氷、冷水等に加え、輸液セットなどを用意した。熱中症は処置が遅れることにより、体温調節機構の破綻、臓器障害をきたす<sup>9)</sup> ことがあり、原則として、ただちに日南病院に搬送、治療を行った。熱中症に対しては、早期に点滴などの処置を行い、臓器障害をきたさないようにすることが肝要とされるが、今回、搬送された熱中症の選手は救急車の到着前に最寄りの救護所で医師の診察、点滴などの処置が施行されており、病状の重症化を防ぐことが可能であった。距離100kmに及ぶロードレースでは、分散した救護所と、それらを有機的に結合する巡回救護車に加え、確実な連絡、搬送のシステムが重要である。

ところで、最近のロードレースにおける心臓突然死<sup>2)</sup> が問題となり、除細動器の配備の必要性が強調されてきている。ロードレース中の心臓突然死はゴール直前のラストスパートに起因して起こることが多い<sup>6)</sup> とされるが、中間点付近で起きたとの報告<sup>1)</sup> もあり、本大会では63km地点の第2救護所に除細動器を配備した。救護本部から約0.5kmの生山出張所救急車、約2.5kmの日南病院にも各1台、合計3台配備したが、尼崎シティ国際マラソンのように、15台もの自動体外式除細動器（以下、AED）を配備する<sup>7)</sup> ことはできなかった。今大会では、突然の心停止をきたした選手はなかったが、競技終了後に気分不良、嘔気などの異常を訴える選手もあり、除細動器、AEDのさらなる配備が必要とされる。今後、マラソン大会での選手の安全確保と、医療体制に注目が集まるとともに、レンタル可能なAEDの普及が望まれる。

20km以上のランニング大会で、レース中の突然死を救命することは困難<sup>6)</sup> との意見もあるが、救護スタッフ、大会役員に加え、沿道ボランティア、さらに出場選手の協力による安全な大会運営は必須のことである。本大会では、“どうする熱中症”というA4版のリーフレットを作製しエイドステーションなどに配布、協力を要請した。しかしながら、致死性

不整脈に対する初期治療の周知までには手が回らなかった。今後は参加選手のレース前のメディカルチェックはもとより、すべての大会関係者に対するCPR教育<sup>1)</sup> が必要と考えられた。

交代要員が十分に確保されないなかでの数時間から最長14時間30分にわたる身体的、精神的拘束は苛烈で、スタッフのなかから“選手として出場、リタイアして休みたい”という発言が出るほどの激務であった。今後は個々の大会を越えた医療支援体制、医療ボランティアによるサポート体制の確立が緊要と考える。

注1：都市から離れた山と山の間地域。過疎と高齢化が特徴。

本論文の要旨は第7回日本臨床救急医学会総会（横浜、2004年）において発表した。

最後に、日常診療、看護、介護の激務のなか、疲労の極地にありながらも快くスタッフとして協力していただいた日南病院職員をはじめとする全スタッフに深く、深く感謝いたします。

## 文 献

- 1) 山澤文裕：スポーツ時の心臓突然死とその予防；ロードレースの場合。救急医療ジャーナル 2004；8；13-6.
- 2) マラソン中3人死亡。山陰中央新報 2003年10月27日付.
- 3) 上条幸弘，高木範男，矢沢和虎，他：諏訪湖におけるMass Gatheringの救護活動。日集団災医会誌 2004；8；191.
- 4) 渡辺勝也，高見徹，竹茂幸人，他：地方における救急医療体制の新しい挑戦；日南町方式救急自動車医師同乗システム。日臨救医誌 2003；6；300-7.
- 5) 夏のスポーツ障害；熱中症。日経メディカル 2002；8月；123-6.
- 6) 岡野裕：減らないレース中の死亡事故；ランナーへの心配蘇生術の普及を。ランナーズ 2004；FEB；69.
- 7) もう起こさない！レース中の急死，突然死（記事）。ランナーズ 2003；MAR；66-8.

◀Photo Report▶

三日熱マラリア原虫の鞭毛放出・雄性生殖体

青木智宏 井上睦子

臨床雑誌「内科」第97巻 第4号〔2006年4月号〕別刷

南 江 堂

## 三日熱マラリア原虫の鞭毛放出・雄性生殖体

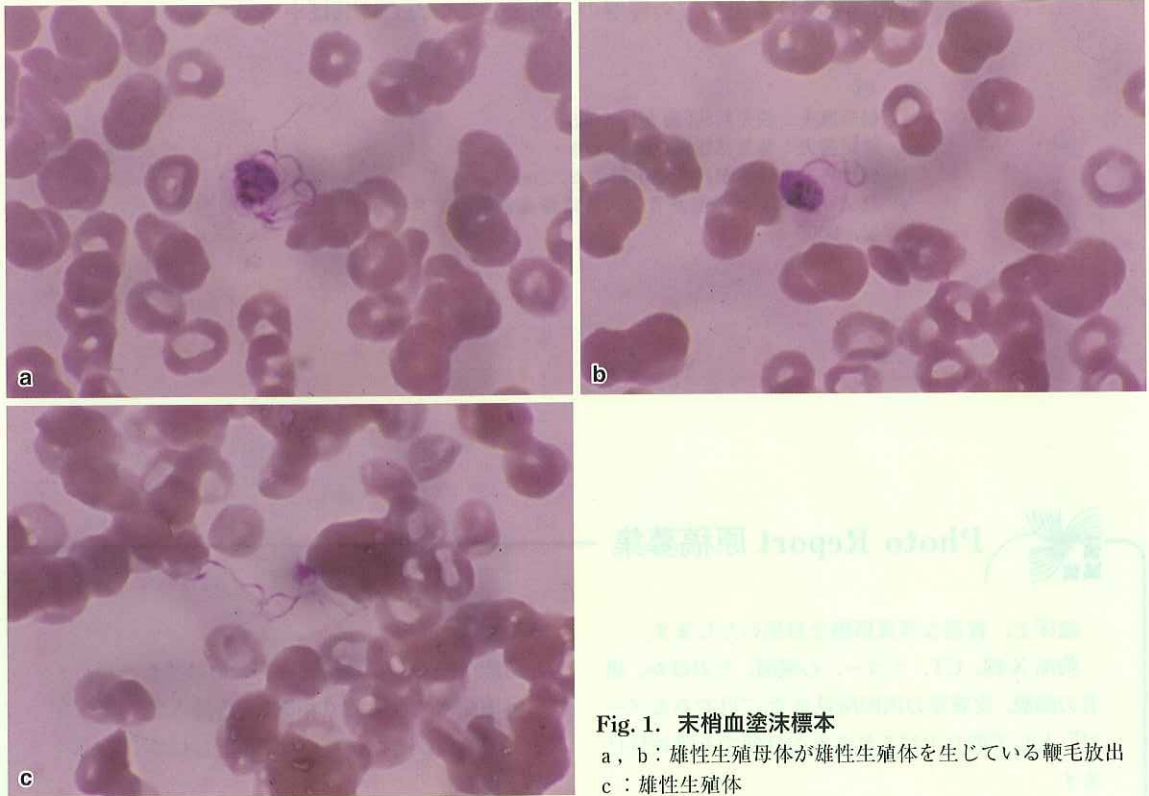


Fig. 1. 末梢血塗沫標本

a, b: 雄性生殖母体が雄性生殖体を生じている鞭毛放出  
c: 雄性生殖体

**症例** 26歳, 男性. 2年4ヵ月間, インドネシアのスマトラ島に滞在. 日本に帰国し, 24日後より突然, 悪寒, 戦慄を伴う発熱が出現したため受診. 末梢血塗沫標本に三日熱マラリア原虫を認めたことで三日熱マラリアと診断した.

経過中の末梢血塗沫標本を示す (Fig. 1). これは, 雄性生殖母体が雄性生殖体を生じている鞭毛放出である. 人体内では雄性生殖母体は早晚死滅するため, この鞭毛放出は生じない. これは蚊の中腸の中で成熟し生じる形態である. 蚊の体内でしかみられない鞭毛放出と雄性生殖体を認めた貴

重な塗沫標本であった. この原因として, 採血後から標本を作製するまでの時間経過で, 採血管内において成熟したと考えられた.

### 文 献

- 1) 青木智宏ほか: 播種性血管内凝固症候群 (DIC) を合併した三日熱マラリアの1例. 内科 87: 604, 2001

日南病院内科

(☎689-5211 鳥取県日野郡日南町生山 511-7)

鳥取県立中央病院検査科

青木智宏

井上睦子

portion”の心で、大小を的確に判断して物事に対処することである。冷静に真偽を見分ける目を養いたいものである。「根源的な議論」は避けて通れぬ「目下の急務」である。

この連載を、一日も早い対策の整備と、患者やその家族、また不安をもつ人々から相談を受ける先生方の理解の一助としていただければ幸いである。

#### 文 献

- 1) 樋野興夫：読売新聞「論点」, 2005
- 2) 樋野興夫：新農林技術新聞, 2005
- 3) 樋野興夫：日本がん疫学予防学会, 2005
- 4) 経済産業省：経済産業省の所管に係る企業のアスベストによる健康被害の状況の結果について, 2005



## Photo Report 原稿募集

临床上、貴重な写真原稿を募集いたします。

胸部 X 線, CT, エコー, 心電図, そのほか、患者の顔貌、皮膚等の肉眼所見まで、“目でみるページ”として取り上げられるものは何でも受け付けます。

1 枚でも、貴重なものであれば採用いたしますので、奮ってご応募ください。

- ・規 模：写真 1~2 枚  
解説 400 字以内
- ・掲 載 号：随時(増大号をのぞく), 受付順
- ・採 否：『内科』編集委員会にて決定。
- ・応募要領：写真は紙焼きにてお送りください(カラーも可)。  
原稿は、写真も含め、正副 2 通をお送りください。

#### 表紙体裁

表題, 執筆者名(3 名まで), 所属, 住所(大学病院以外の場合)

#### 本 文

可能な限り、フロッピーをお付けください。

外国語はできる限り和訳し、外国人名、また、和訳しえない外国語のみ欧文表記としてください。

#### 写 真

写真中に必要な文字、矢印などはトレーシングペーパーに記入してください。

#### 文 献

記載順序は出処順とし、1), 2), 3) 式としてください(3 個以内)。

#### 掲 載

筆頭執筆者に本誌 1 部および別刷り 30 部を謹呈いたします。また、二重投稿は堅く禁じます。

本誌に掲載される著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は、株式会社南江堂が保有いたします。

#### 原稿送付先

〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42 番 6 号  
(株)南江堂 『内科』編集室



# 町は大きな ホスピタル

鳥取県・日南町国保日南病院事業管理者  
／社会福祉法人日南福祉会理事長

安東良博

日南病院の院是は「町は大きなホスピタル」である。「である」というのはいささか気が引けて、実は本年4月に制定したばかりである。他病院の院是やモットーを参考にさせてもらって、十数件の候補のなかから全職員の投票で、院長の提案によるものが選ばれた。

日南町では、以前から、日南病院が中心になって保健センターや社協とともに地域包括ケアを実践してきていることは全国的にも知られている。「町の道路は病院の廊下」であり、「患者さんの自宅は病院のベッド」を合言葉に在宅ケアを推進してきており、文字どおり「町は大きなホスピタル」といってよく、日南病院にふさわしい院是が制定された。

往診車や訪問看護車、ホームヘルプ車に混じって、平成13年からは救急車に当院医師が同乗するドクターカーも町内の「廊下」を走り、これらのことが住民の安心と信頼につながって、結果として、昭和58年から22年間連続しての病院の健全経営につながっている。

平成4年に自治大臣表彰と保健文化賞、平成14年に総務大臣表彰の栄に浴したのは、病院が、というよりは大きなホスピタルの町が、といったほうが適当だろう。限られたマンパワーで、大きなホスピタルを支えている職員のがんばりには頭が下がる。

「町は大きなホスピタル」は「地域包括ケア」と同義といってもよい。病院は99床（一般59床、療養40床）を許可されているが、在宅療養中の患者さんや家族の安心のために、満床にはせず、つねに空きベッドを用意している。このことは、在宅ケアを推進するう

えで重要なポイントである。平成16年度の往診件数は延べ1,482件、訪問看護は延べ1,324件に達した。

6診療科（内科、外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科）を標榜しているが、常勤医師は内科4、外科1、小児科1の計6名である。この秋には新医師臨床研修制度による大学病院の関連施設として、地域保健・医療分野の研修を引き受けることになっている。

このたび、院是を制定したのには理由がある。最大の理由は、4月から実施された日南病院に対する公営企業法の全部適用（全適）である。全適は、単町自立を選択した町の行財政改革に沿うものであるが、さらに、病院自立を視野に入れたものでもある。自立のためには職員の意識改革が必要であり、職員が力を発揮しやすい環境づくりと、力を結集しやすい組織づくりが求められる。そして、人材育成が図られなければならない。その手始めが院是の制定というわけである。

「ホスピタル」にはキュアとケアの両方の意味が含まれるので、町全体が一つのホスピタルであるという概念は、高齢化率44%に達する日南町のまちづくりの指針にも合致する。高齢化の著しい町で安心して生活するために必要なことの一つは、連携のとれた医療と福祉のサービスである。社会福祉法人日南福祉会が設立され、特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどを擁する「介護福祉センター・あかねの郷」の運営が4月から、それまでの町営から法人に移されたのも、行財政改革をとおして「ホスピタル」の安定と充実を図ったものである。特別養護老人ホームにはユニットケア方式が採用されていて、「町は大きなホスピタル」は院是であると同時に町是でもあり得る。

平成18年度には診療報酬と介護報酬の両方の改定が予定されている。増え続ける医療費と介護費の抑制が意図されているが、病院も介護施設も運営がますますむずかしくなるなかで自立をめざすためには、全職員の知恵と工夫と努力が必要である。制定された院是は、その困難に立ち向かう勇気と希望を与えてくれる。

面積においては県内第1位の座を新生・鳥取市に譲ったものの、約340平方キロメートルの日南町は広くて大きい。その町の空をあかね色に染めた、文字どおり「大きなホスピタル」を実践する新しい挑戦が、日南病院とあかねの郷で始まっている。

# 乳幼児の 観察ポイント

安心子育てのために



新見保健所愛育委員会  
新見市愛育委員会  
岡山県新見保健所  
新見市



## 発刊にあたり

我が子がすこやかに成長してほしいのは全ての親の共通の願いです。

お母さん、お父さん、そして子育てにかかわる全ての人が安心して日々を過ごせるように、この冊子を作成しました。

乳幼児の体調の変化は、日々の生活の中で気づくことが出来ます。

乳幼児は、自分では症状を訴えることができないので、保育者が乳幼児の“いつもと違う様子”に、気づくことができるようになります。

そのために、日頃の子どもの生活を知っていることが大切です。

この冊子が、保育者の方々の子育てに、お役に立つよう願っております。

# 目次

## 1 チェックポイント

- (1) 元気よく飲んだり食べたりしますか ..... 1
- (2) 普段の体温は何℃ですか ..... 1
- (3) おしっこやうんちの回数はどうですか ..... 2
- (4) かかりつけの医師は決まっていますか ..... 2
- (5) よりよい受診の仕方 ..... 2

## 2 気になる状態

- (1) 熱が出た時 ..... 3
- (2) ひきつけた時 ..... 4
- (3) 吐いた時 ..... 5
- (4) おなかが痛い時
  - 下痢の時 ..... 6
  - 便秘の時 ..... 7
- (5) 夜泣き・不機嫌な時 ..... 7
- (6) 激しく泣く時 ..... 8
- (7) その他のワンポイント
  - 鼻血がでた時 ..... 8
  - 咳がでる時 ..... 8
  - アトピー性皮膚炎 ..... 9
  - 中耳炎 ..... 9
  - 脱水症 ..... 9
  - 熱中症 ..... 9
  - 救急車の呼び方 ..... 10

## 3 事故の予防 ..... 11

## 4 応急手当のしかた

- (1) けがをした時 ..... 12
- (2) 誤飲した時 ..... 12
- (3) やけどをした時 ..... 13
- (4) 常備しておいたらよいもの ..... 13

## 5 相談窓口・医療機関など ..... 14~17



# 1 チェックポイント

## (1) 元気よく飲んだり食べたりしますか

顔色、機嫌、元気（運動あるいは活発さ）、食欲などを観察しましょう。

病気のはじまりとして「顔色がいつもより悪い」「何となく元気がない」「ぐずる」「食欲がない」といった症状で、異常に気づくことがありますので、日頃から、健康な時の状態をみておきましょう。



## (2) 普段の体温は何℃ですか

お子様の日頃の体温は \_\_\_\_\_ ℃

体温は、測定する体の部位によっても多少変動します。また、食事のすぐ後や、体を動かしたり、お風呂上がり等では高めになります。

日頃おむつを替える時、抱っこをした時などにお子さんの体に直接ふれることで、お子さんの健康時の体温を感じとっていると、「何となく熱がありそうだ」「発熱かな」と直感できます。その時は体温を測ってみましょう。

### [乳幼児の体温は]

大人より高いのが普通で、37度ぐらいあります。脇の下をよくふいて体温計をはさみ、腕の上から押さえて測りましょう。



### (3) おしっことうんちの回数はどうですか

#### <おしっこ>

乳幼児のおしっこの量は、水分のとり方、汗のかきぐあいなどによりかなり差がありますが、乳児はおむつのぬれ具合でみましょう。病状によってはおしっこの量の減少は、脱水を意味するといえるくらい大切なことです。日頃からおしっこの量や間隔を気をつけて観察しましょう。

#### <うんち>

人工栄養に比べ母乳栄養の方が便が柔らかいので、回数や性状を日頃からよくみて知っておきましょう。離乳食が始まると便の性状が変わります。うんちの回数は生後10ヶ月～1歳頃になると1日に1～2回ですが、個人差があります。

#### 《うんちの観察》

- **形や色**：多少ゆるいのが普通です。色は黄色から薄緑までさまざまです。  
白い粒が混じるのは脂肪のかたまりです。
- **におい**：ミルクの赤ちゃんは母乳栄養児より臭気が強いものです。
- **灰白色のうんちや血便の時は**、赤ちゃんの機嫌が良くてもおむつごと持参して、診察を受けましょう。

### (4) かかりつけの医師はきまっていますか

病気にかかった時うろたえないように、かかりつけの医師を決めておきましょう。  
ふだんの子どもの状態を知ってもらっておくと安心です！

### (5) よりよい受診の仕方

- |                |   |
|----------------|---|
| <b>受診前</b>     | <ul style="list-style-type: none"><li>● 電話は早めにしましょう。</li><li>● メモをしておきましょう。(症状の経過、尋ねたいこと)</li><li>● 母子手帳を持って行きましょう。</li><li>● 気になる便は持参しましょう。</li><li>● おしっこは検査をすることがあるので、おしっこをする前に尋ねましょう。</li></ul> |
| <b>病院を出る前に</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 薬をもらったら、中身を確認しましょう。<br/>飲み方や使い方など分からないことは、尋ねておきましょう。</li><li>● 次回受診日の確認をしましょう。</li></ul>  |
| <b>帰宅後</b>     | <ul style="list-style-type: none"><li>● 診てもらった先生に症状など経過を報告しましょう。<br/>報告に対する先生からのアドバイスが子供の回復にとって大切になります。</li></ul>   |

## ② 気になる状態

### (1) 熱が出た時

小児科医を受診する乳幼児の約半数は発熱です。そして、そのほとんどが風邪などの感染症によるものです。

#### 【対応】

1. 発熱した場合には、顔つき、機嫌、元気、食欲などの全身状態を注意深く観察して、早めにかかりつけの医師を受診しましょう。  
診察時間外や夜間に発熱したときには、機嫌や元気もよく食欲もあれば、水分（湯冷まし、お茶など）を十分に与えて、診療時間開始まで待って受診しましょう。
2. 熱性けいれんや、てんかんなどひきつけたことがある場合は、かかりつけの医師に急な発熱に備えて熱を下げる薬やひきつけを予防する薬をもらっておき、保存の仕方や使い方を聞いておきましょう。
3. 発熱の経過中に汗をかいた時は、下着をこまめに着替えさせましょう。
4. 発熱がある時は、水分を多めに与え、消化のよい食事（よく炊いたおかゆやうどん等）や口あたりのよい食べ物（りんごのすりおろしやぬるめにあたためたミルク等）をあげましょう。
5. 着せすぎたり、くるみこまないようにしましょう。
6. 熱を下げるための冷やし方を工夫しましょう。（首、股の内側、脇の下を冷やすと有効です。）

■一口メモ：朝の体温は病気のめやすになりません。

病気で夜間に発熱している時でも朝のうちは一時的に体温が下がることがよくあります。この時は午後になってまた発熱してきます。夜間に熱が出なくなるまでは、病気が治ったと判断しないように注意が必要です。



#### こんなときはすぐ受診を!!

- 生後3カ月未満で38℃以上の発熱
- 水分がとれない
- ぐったりしている
- 月齢に関係なく41℃以上ある場合
- 様子がおかしい



### (3) 吐いた時

乳幼児は消化管の発達が未熟なので、年長児に比べて嘔吐しやすいものですが、胃や腸の病気、脳や髄膜などの病気の始まりのこともあります。次のことを観察して適切に対応しましょう。

#### 【観察のポイント】

- ①食事や授乳と吐いた時の間隔はどうか。
- ②何回吐きましたか。
- ③どんな物を吐きましたか。(お乳をそのまま、お乳の固まり、濃緑色やコーヒーのよ  
うな色、血が混じっている等)
- ④吐くときの様子はどうか。(噴水状、だらっと等)
- ⑤顔色、機嫌、元気はどうか。
- ⑥発熱、下痢、腹痛、頭痛、けいれんなど他の症状はないですか。

#### 【対応】

1. 吐く時は、斜めうつぶせの姿勢で顔を横に向かせて、吐物による窒息や誤飲がないよ  
うにしてあげましょう。
2. 嘔吐が続く時は、できれば吐いた物を持って早めにかかりつけの医師に受診しましょ  
う。



#### こんなときはすぐ受診を!!

- 血液が混じっている
- ひどく機嫌が悪い
- 激しい腹痛
- 唇が乾いている
- おしっこの量が少ない
- ぐったりしている
- 高熱がある

## (4) おなかが痛い時

子どもの急性腹痛には、時に至急手当が必要な疾患がかかっていることがあります。腹痛の部位、痛みぐあい、嘔吐・下痢を伴っていないか等の症状に注意しましょう。



### こんなときはすぐ受診を!!

- 血性嘔吐、あるいは血便  
(赤、もしくはチョコレート～黒色)
- 緑色の嘔吐物
- 意識状態の低下、浅く早い呼吸
- 重篤感  
(いままで見たことがないくらいしんどそうな時)
- 異物を誤飲した可能性がある時

## ● 下痢の時

乳幼児の下痢は、脱水を起こしやすいので、下痢の状態、水分の摂り具合などよく観察して相談の時伝えられるようにしましょう。

- ① 便の性状：2ページ「うんちの観察」を参照
- ② 回数：1日10回以上の時は受診を
- ③ 他の症状：発熱、嘔吐、腹痛、食欲等

### 【対応】

1. 下痢が続く、水分が充分摂れず、おしっこの量や回数が減っているときには、早めにかかりつけの医師に受診しましょう。  
受診するときは、便を持って行きましょう。
2. 嘔吐がなく水分が摂れるようであれば、湯冷ましや番茶などを少しずつ飲ませて様子を見ましょう。
3. 食欲に合わせて、消化のよい物（脂肪やタンパク質の少ない炭水化物を中心に、水分の多いやわらかく炊いてさましたもの）を与えましょう。
4. 乳幼児はおしりがただれやすいので、お湯で洗うなどして清潔にしましょう。
5. トイレの後やおむつを替えた後は、石けんでよく手を洗いましょう。

## ●便秘の時

便秘のためおなかが張ったり、便が硬くて排便に痛みが伴う場合や粘膜が傷ついて便に血が付く時などは治療が必要です。

### 【便秘解消法】

食 事：便秘かなと思った時は、柑橘類を少しずつためてみましょう（すりおろし、汁状の物）。やわらかくしたさつまいもや根菜類なども交互にあたえてみましょう。

マッサージ：おへそを中心に「の」字マッサージ、優しく繰り返してなでてください。腸の動きを活発にし、排便を促します。

#### \*マッサージしても出ないとき

綿棒にベビーオイルをつけて、肛門から2センチ位奥を軽く刺激します。排便の神経が刺激されて5分以内にうんちが出ます。

浣 腸：かかりつけ医に相談して浣腸の仕方を学んでおきましょう。

## (5) 夜泣き・不機嫌な時

生後2週間から3ヶ月くらいの間に起こりやすいものです。

### 【観察のポイント】

- おむつは汚れていませんか。
- 母乳やミルクは十分に飲んでいますか。
- 風邪の症状はありませんか。
- どこか怪我をしていませんか。
- 何か変わったものを口にしていますか。
- 衣類が体に触れる状態や着せ方で刺激になっていませんか。（暑すぎず・寒すぎず）



こんなときはすぐ受診を!!

長時間泣き続けるときは、他の症状とあわせてかかりつけの医師に相談しましょう。



## (6) 激しく泣く時

乳幼児はおなかがすいた時・眠い時・おむつが濡れた時などに泣いて知らせてくれます。虫さされや、おむつかぶれ等が原因のこともありますので、全身をよく観察してみましょう。激しい泣き方が続いて原因が思い当たらない時は医師に相談しましょう。

**こんな時はすぐ受診を！ 大至急病院へ！ 夜中なら救急外来へ！**

### 気をつけたい腸重積症

[主な症状]

発熱のあるなしにかかわらず

- 顔色が悪く、ぐったりとしてきげんが悪い
- 激しい嘔吐（噴水状に吐いたとき）や下痢がある
- ケチャップ状の血便が出た
- 5～10分おきに激しく泣いたり、腹痛を訴える



特に、月齢の低い赤ちゃんでは、激しく泣くことが腹痛を訴えている場合があります。

血便を伴うときは大至急病院へ行きましょう。

## (7) その他のワンポイント

### ● 鼻血がでた時

対応：両眼の間で鼻のつけ根を圧迫してみましょう（最低20分間）

鼻の粘膜や血管に原因がある時は、出血の回数が多くてもすぐに止まることが多いです。

原因が血液にある時は、なかなか止まりません。→ 検査が必要です！

### ● 咳が出る時



**こんなときはすぐ受診を!!**

- ぐったりしているなど様子がおかしい時
- 顔色が悪い時
- 乳幼児が犬の遠吠えのような咳をする時
- 咳き込みが激しくて水分が摂れない時
- 咳のため睡眠が取れない時

■ 一口メモ：喘息発作による咳はその重症度について、普段から主治医とよく相談しておきましょう。

## ●アトピー性皮膚炎

**特徴：**かゆみのある慢性の湿疹（ほほや顔など）です。生後1～6ヶ月ごろから首筋やひじ・ひざの裏など皮膚のこすれあう部分がひどくなります。

乳児期は湿潤、学童期は乾燥するなど、年齢で症状が変化します。

**対応：**乳児の初めての湿疹は、アトピー性皮膚炎とは限りません。

本当にアトピー性皮膚炎なのか、きちんと診察を受けて治療していきましょう。

## ●中耳炎

**対応：**風邪でなくても、不機嫌、耳に手をやる、激しく泣く、微熱がある時は耳鼻科を受診しましょう。

## ●脱水症

**特徴：**●体液は大人では体重の60%、子どもは70～80%で、大人よりはるかに水分が多いので、わずかな異常でも水分が不足し、脱水状態になりやすいです。

●食べられなくても、水分がとれていれば大丈夫です。

**対応：**●発熱時、食欲不振時、下痢、嘔吐、暑い時、入浴後等には、水分の補給が大切です。

●水分を少量づつ頻回に与えましょう。

## ●熱中症

**症状：**体温の上昇、頭痛、吐き気、生あくび、めまい等があった後、汗が出なくなり、顔面が青くなったり、意識がなくなり、脱水症状となります。

**対応：**意識の状態を確認しましょう。（名前を呼ぶ・肩を叩く等で応答が出来るかどうか）

呼吸・脈拍・顔色・体温のチェックをして、かかりつけ医に相談しましょう。

1. 安静にさせましょう。
2. 涼しい場所で休ませましょう。

**すぐ受診を：**意識がない・反応が悪いなどの場合は**119番通報**を行いきましょう。



**おこさない為に**

1. 閉め切った暑い部屋や車の中に、長い時間いることがないようにしましょう。
2. 夏の暑い日に戸外で強い直射日光を、頭やうなじに浴びないようにしましょう。

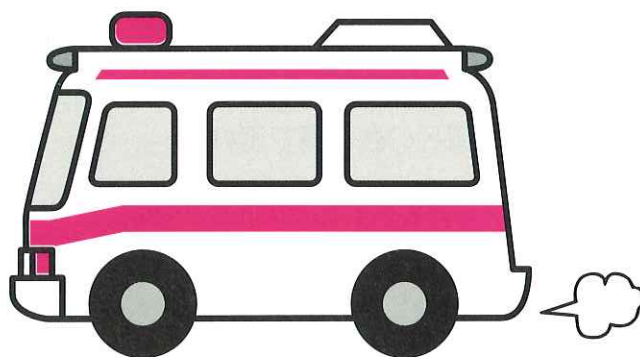


## 救急車の 呼び方

まず、落ち着いて下さい!!

次に **119**へ電話する→「**救急です。**」と言う。

- 次に
- 自分の氏名
  - 所在地（目標物）
  - 電話番号 患者の名をはっきり言う。
  - いつ・どこで・どうしたか 今の状態を見たまま話す。



# 3 事故の予防 (家の中・家の外)

幼児の死亡原因の第1位は不慮の事故です。保護者が忙しくしている時間によく起こっています。普段から子どもが事故にあわないよう、目を離さないなど気配りが必要です。また、家の中や庭など目を離しても常に安全な環境になるように気をつけましょう。

## ◆家の中の危険

**誤飲** ● 吸い残しのタバコを食べる。

- 大人の菓を食べる。
- 調理用のお酒を飲んでしまう。
- ピーナッツなどを誤飲して気管につまる。

(6歳以下の子供には与えないくらいの注意が必要です。)

食物に限らず乳幼児の小指大の物は全て危険です。手の届く所には絶対置かないようにしましょう

**外傷** ● 先の尖った物は持たせないようにしましょう。特に箸など棒状の物を口にくわえたまま転んだりしないように気をつけましょう。

**溺水** ● 風呂の残り湯で溺れる。

- 水を入れた洗濯機をのぞきこんで転落し溺れる。

(顔を横にして鼻孔が水につかる深さがあれば溺れる危険があります。)

**転落** ● ベッドの柵を下ろして転落する。

- 階段、縁側で遊んでいて転落する。

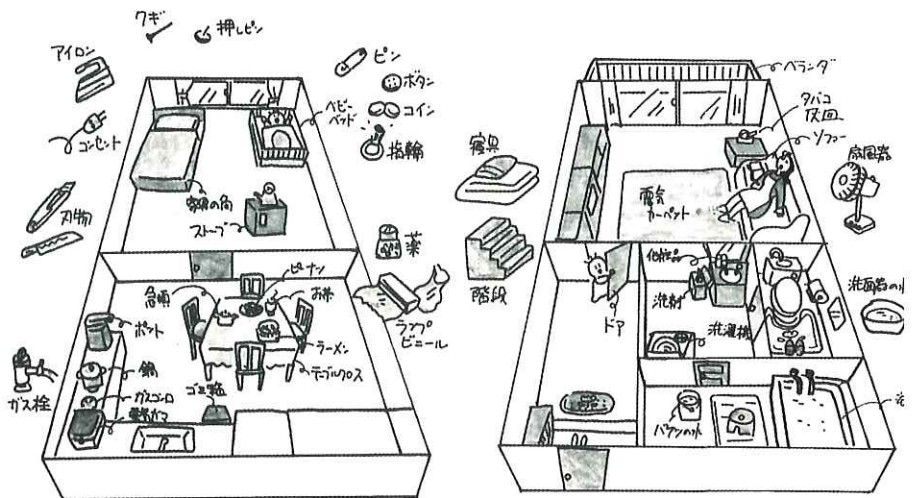
**火傷** ● 風呂の熱湯で全身火傷する。

- テーブルクロスを引っ張って熱い汁物をかぶる。

## ◆家の外も

### 危険でいっぱい

- 日射病、熱射病になる
- 犬、猫にかまれる
- 虫に刺される
- 川、海、池などで溺れる
- 交通事故にあう
- ブランコやすべり台から転落する
- 自転車の荷台に乗っていて落ちたり、自転車ごと倒れる …など



◆もう一度家の中や周囲を  
総点検しましょう！

# 4 応急手当のしかた

## (1) けがをした時

### ◆頭を打った



### こんなときはすぐ受診を!!

- いつもと様子が違う
- 意識がおかしい
- 何回も吐く
- 出血が多い
- 耳から出血する
- 手足を動かさない

### 様子を見る (48時間観察)

- すぐ泣いた
- たんこぶ程度

### ◆骨折・脱臼と思われる時

座布団などでくるみ、医師のところへ連れて行く。やたらに動かさないようにしましょう。

### ◆すりきず

水道水でよく洗い、清潔にして、その後に消毒薬を塗っておきましょう。

## (2) 誤飲した時 (タバコ・薬物・異物)

「吐かせてよいもの」と「いけないもの」があるので注意しましょう。

### ◆吐かせてはいけないもの：①揮発性の強いもの

ベンジン・シンナー・灯油・除光液・マニキュア

②酸アルカリの強いもの

漂白剤、トイレ用洗剤、カビ取り剤

③とがった固形物や電池

### ◆吐かせるべきもの：①たばこは水やジュース等に溶けたものは少量でも危険。

②香水・しょうのう・ナフタリン・防虫剤



### こんなときはすぐ受診を!!

- 嘔吐、頻脈、顔面蒼白がおきた時

※飲んだものの容器や説明書を持参しましょう

### ◆牛乳を飲ませてはいけないもの(※)：しょうのう・ナフタリン・防虫剤

【吐かせ方】吐かせるときは水や牛乳(※牛乳はだめなものもあります)を飲ませます。

口に指を入れ、舌の奥を広げるように押すと吐きやすくなります。



### (3) やけどをした時

①やけどをした時は、どんな原因であっても最低、20～30分は水で冷やし続けます。冷やす時間は長いほどよいといわれます。

**手 足**：水道の水を出したままにして冷やします。(直接やけどの部位にあたらな  
いように。)

**顔**：洗面器などの水につけたり、水を入れたビニール袋などをあてて冷やしま  
しょう。

**体(広い範囲)**：水を入れた浴槽などに全身を入れて冷やしましょう。

②衣服の上から熱湯を浴びたような時は、脱がせずにそのまま冷やします。先に脱がそうとすると、衣服にこもっている熱湯で、やけどの範囲を広げてしまいます。無理に脱がせないようにしましょう。

③衣服は冷やしながら脱がせますが、水ぶくれを破ってしまいそうな時や脱がせにくい時は、惜みずにはさみで衣服を切り裂きましょう。

④冷やした後は、タオル、バスタオルなどのやけどの範囲に見合った清潔な布で包みます。この場合、包帯などできつくしばってはいけません。包んだ布の合わせ目を洗濯バサミなどではさんで、ふんわりと包むことが大切です。包むだけでかなり痛みが和らぐものです。

… 以上のことを行い、受診しましょう。

### (4) 常備しておいたらよいもの

- 母子健康手帳・保険証・診察券などはひとまとめにしておき、ある程度の現金も一緒にしておくと便利です。
- 救急箱の中も期限切れがないかどうか常に点検して補充しておきましょう。  
(三角巾・包帯・消毒液・ガーゼなど常に補充を)
- 浣腸(便秘の時かかりつけ医に相談して、浣腸の仕方を学んでおきましょう)

## 乳幼児の観察ポイント 安心子育てのために

2006年2月1日発行

監修 日南町国民健康保険 日南病院

小児科 竹 茂 幸 人

鳥取県日野郡日南町生山511-7

発行者 新見市愛育委員会・新見保健所愛育委員会

発行所 新見市・岡山県新見保健所



この冊子についてのご意見等は

岡山県新見保健所保健課 TEL 72-5691

新見市健康づくり課 TEL 72-6129 へ

お知らせください!

## 編 集 後 記

年報第2号(平成17年報)の特徴を列記しておきます

巻頭言は新しく就任された安東管理者にお願い致しました。是非とも第1号の高見院長の巻頭言とあわせて読み比べてください。巻頭言をじっくり読めば年報の7割は読んだことに匹敵すると思います。

資料が増えました。学会研修関係の充実。タイトルだけでなく内容も掲載しました。

第1号とともに病院 Website 上でも読むことができます。昨年は思いもかけない読者がいることがわかり、改めて年報の意義を確認できました。

情報図書管理委員長 竹茂 幸人

### 情報図書管理委員

竹茂幸人  
林 弘子  
花房和夫

中曾森政  
河上千草  
長崎司朗

青木美由紀  
白根悦子  
高柴博昭

遠藤由佳  
日下美恵子  
木下順久

八津川千代美  
北垣祐輔

発 行

日南町国民健康保険 日南病院

〒 689-5211 鳥取県日野郡日南町生山 511-7

0859-82-1235 Fax0859-82-1341

<http://nichi-hp.town.nichinan.tottori.jp/>